

Research report on a study of volunteers
at KOBE MARATHON 2024

『神戸マラソン 2024』
ボランティアに関する調査報告書

2025 年 1 月

兵庫体育・スポーツ科学学会
ひょうご地域スポーツ振興プロジェクト
『神戸マラソン 2024 ボランティア調査グループ』

神戸マラソン実行委員会事務局

『神戸マラソン 2024』ボランティアに関する調査報告書

概要

1. 目的

本調査は、「神戸マラソン 2024」におけるボランティア参加者の意識と活動状況を分析することを目的としている。特に、参加動機、参加の阻害要因、来年の大会へのボランティア参加意図などを中心に分析を行い、今後のボランティアマネジメントに役立つ基礎資料とする。

2. 内容

- 1) 属性：性別、年代、職業、居住地
- 2) 本大会におけるボランティア活動について：
応募形態、担当業務、カテゴリー、情報源、応募のきっかけ、参加動機、参加の阻害要因、ボランティア参加後の全体的な満足度
- 3) 参加意図とこれまでの活動経験：
来年の神戸マラソンへのボランティア参加意図、これまでの神戸マラソンボランティア活動の活動経験
- 4) 全体的な満足度のクロス集計結果：
性別、年代区分、応募形態、活動場所、参加回数、来年の神戸マラソンへのボランティア参加意図
- 5) 再参加意図のクロス集計結果：
性別、年代区分、応募形態、活動場所、参加回数
- 6) 参加動機と再参加意図
- 7) 参加の阻害要因と再参加意図
- 8) 満足度の理由、再参加意図の理由、感想・意見・要望：自由記述

調査項目

要因群	項目	カテゴリー
属性	回答者の属性	1.性別 2.年代 3.職業 4.居住地
応募形態と 担当業務	応募形態	1.個人ボランティア 2.団体ボランティア(高校) 3.団体ボランティア(大学) 4.団体ボランティア(一般) 5.オフィシャルスポンサー
	カテゴリー	1.リレーラン(舞子中継地点) 2.リレーラン以外
参加状況	担当業務 (リレーラン以外)	1.コース沿道整理 2.給水・給食(コース沿道) 3.手荷物預かり・返却 4.更衣所管理 5.インフォメーション 6.ランナーサポート(トイレ誘導) 7.案内誘導 8.ランナーサービス
	情報源	1.友人 2.職場 3.学校 4.職場・学校以外の団体 5.新聞・雑誌 6.テレビ・ラジオ 7.地域の広報誌 8.ポスター・ちらし 9.神戸マラソンホームページ 10.SNS 11.その他
動機	応募のきっかけ	1.自分の意志 2.身近な人のすすめ 3.学校 4.学校以外の所属団体 5.その他
	ボランティア参加の 動機(20項目)	1.全く当てはまらない 2.あまり当てはまらない 3.まあ当てはまる 4.非常に当てはまる
阻害要因	ボランティア参加の 阻害要因(19項目)	1.全く妨げにならない 2.あまり妨げにならない 3.やや妨げになる 4.非常に妨げになる
満足	全体的な満足度	1.全く満足していない 2.あまり満足していない 3.まあ満足している 4.非常に満足している
参加意図	来年の神戸マラソン	1.参加したい 2.参加したくない 3.わからない
これまでの参加状況	ボランティア参加	1.初めて 2.2~4回目 3.5~8回目 4.9回目以上
活動後の感想	1.満足度の理由 2.再参加意図の理由 3.ボランティア活動に 対する感想・意見・要望	自由記述

3. 対象

母集団：「神戸マラソン 2024」において活動した登録ボランティア

登録ボランティア数：6,370名（エリアリーダー・個人リーダー60名、団体ボランティア5,343名、個人ボランティア967名）

※上記以外にも救護ボランティア、競技役員補助等611名が登録。したがって、今大会のボランティア総数は、6,981名

4. 回収方法

当日活動したボランティア6,169名に対して、活動終了後にアンケートフォームへの入力を依頼し、1週間後を期限として回答を得た。

5. 回収結果

有効回答数：393票

個人ボランティア（1名または4名以下）：217票

団体ボランティア（高校）：14票、（大学）：14票、（一般）：125票

オフィシャルスポンサー：23票

6. 分析方法

データの分析は単純集計とクロス集計を行い、有意差検定には χ^2 検定およびF検定を実施した。なお、グラフ等に表記した数値は小数点以下などを四捨五入しているため、内訳を足しても合計と一致しない場合がある。

7. 研究組織

1) 組織

兵庫体育・スポーツ科学学会 ひょうご地域スポーツ振興プロジェクト

2) 『神戸マラソン 2024 ボランティア調査グループ』メンバー

常行泰子（神戸市外国語大学）、松村浩貴、土肥隆、伊藤克広（以上：兵庫県立大学）、
船越達也（京都光華女子大学）、山口志郎（流通科学大学）、谷めぐみ（摂南大学）、
與那覇秀勲（流通科学大学）、三浦敬太（関西大学）

3) 連絡先

〒651-2187 神戸市西区学園東町9-1

神戸市外国語大学 常行泰子研究室

E-mail：tsuneyuki@inst.kobe-cufs.ac.jp

8. 調査協力

神戸マラソン実行委員会事務局

結果の要約

1. 性別は、女性が男性よりも少し割合が高かった。年齢層は、10歳代から20歳代の若年層が1割程度と少なく、50歳以上の中高年層は7割程度を占めた。職業は、「会社員・団体職員」が半数近くを占めた。居住地は、神戸市在住が6割強であり、9割以上が兵庫県在住の参加者であった。
2. 応募形態は、「個人ボランティア」が多く、「団体ボランティア（一般）」が3割強であった。
3. 担当業務は、「コース沿道整理」が半数近くを占め「給水・給食」「案内誘導」の順であった。また、リレーラン（舞子中継地点）の回答は2.0%であった。
4. 情報源は、「神戸マラソンのホームページ」が最も多く、「職場」「職場・学校以外の団体」が続いた。
5. 応募のきっかけは、「自分の意志」が7割を超え、「学校以外の所属団体」も2割弱であった。
6. ボランティアの参加動機は、「神戸マラソンの成功に役立つ」が最も多く、次いで「人のために役立つ」「日常では得られない経験ができる」「地域に貢献」の順に示された。一方、知人や友人からの勧誘・紹介やキャリアアップなどは低い傾向にあった。
7. ボランティア参加の阻害要因は、「ボランティア以外の用事」「活動場所までの移動時間」「長い活動時間」などが理由に挙げられ、「家族友人からの反対」や「友人家族の神戸マラソンボランティアへの関心の低さ」は阻害の理由として低かった。
8. ボランティア全体を通しての満足度は、「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値が9割以上であり、満足度は高い傾向が示された。
9. 来年の神戸マラソンボランティアへの参加意図をもつ人は、7割程度であった。
10. 神戸マラソンボランティア活動の経験は、初めての参加者が半数弱であり、5回を超えるリピーターは2割程度であった。
11. 「全体的満足のカロス集計」
 - 1) 満足度について性別の違いは示されず、「非常に満足している」はいずれも3割程度であり、「まあ満足している」と合わせると、いずれも9割以上のボランティアは満足している傾向にあった。
 - 2) 満足度について年代による違いは示されなかったが、高齢層よりも若年層の方が満足度が高いことが明らかになった。
 - 3) 満足度について応募形態による違いは示されなかったが、「団体ボランティア（高校）」の満足度が低い傾向がみられた。
 - 4) 満足度について「コース沿道」と「コース沿道以外」に分けた場合、「コース沿道」の方が満足度は高かった。
 - 5) 満足と参加回数は、「初めて」と「9回目以上」の参加者は、「非常に満足している」人は多い結果が示されたが、「5～8回目」の「非常に満足している」割合は低い傾向があった。
 - 6) 満足と再参加意図は、次も参加したいと考えている参加者は満足度も高く、再参加意図のない者は満足度も低い傾向が明らかになった。
12. 「再参加意図のカロス集計」
 - 1) 再参加意図と性別は、男性の再参加意図が女性・回答しないの群よりも高い傾向にあった。
 - 2) 再参加意図と年齢区分は、年齢の高い層が年齢の低い層より次年度も参加したいと思っている

人が多いことが明らかになった。

- 3) 再参加意図と応募形態は、「個人ボランティア」の約 8 割が再参加意図を持ち、「団体ボランティア（一般）」「団体ボランティア（大学）」も比較的強い再参加意図を持っていた。しかしながら、「団体ボランティア（高校）」は不明が 6 割近くを占め、再参加意図について不明な点が示された。
- 4) 再参加意図と活動場所は、「コース沿道」よりも「コース沿道以外」の方が再参加意図の高い傾向が示された。
- 5) 再参加意図と参加回数は、4 回までの参加者と比較して、5 回以上参加したボランティアの方が再参加意図の傾向は高いが、統計的に有意な差はみられなかった。

13. 「参加動機と再参加意図」

次回も参加したいと思っている参加者は、どのような動機をもって参加しているのかを調べるために、参加動機と再参加意図を分析した。「参加したい」と「参加したくない」で顕著な差がみられた項目は、「神戸マラソンに魅力を感じる」「ボランティアに興味がある」「神戸マラソンの成功に役立つ」「地域に貢献」「自分の成長・向上」であった。再度ボランティアに参加したいと考えている人の特徴として、今回、神戸マラソンに高いコミットメントを持ち、普段から恒常的にボランティアを行っている可能性が示唆される。

14. 「阻害要因と再参加意図」

次回も参加したいと思っている人と参加したくないと思っている人が、ボランティア参加の阻害要因にどのような違いがあるのかを調べるために分析を行った。「参加したい」と「参加したくない」で顕著な差がみられた項目は、「長い活動時間」「少ない休憩時間」が挙げられ、「ボランティア活動費（飲食・交通費）の負担」「ボランティア以外の用事」「スタッフとのトラブル」「希望する活動内容との不一致」などが示された。活動を行う際の時間・金銭面の負担や各自の日程調整、適切なスタッフ対応や活動内容を考慮することの重要性が示唆された。

1. サンプルの属性

1) 性別

性別は、「男性」が48.1%、「女性」が49.9%であり、「回答しない」は2.0%であった（図1）。

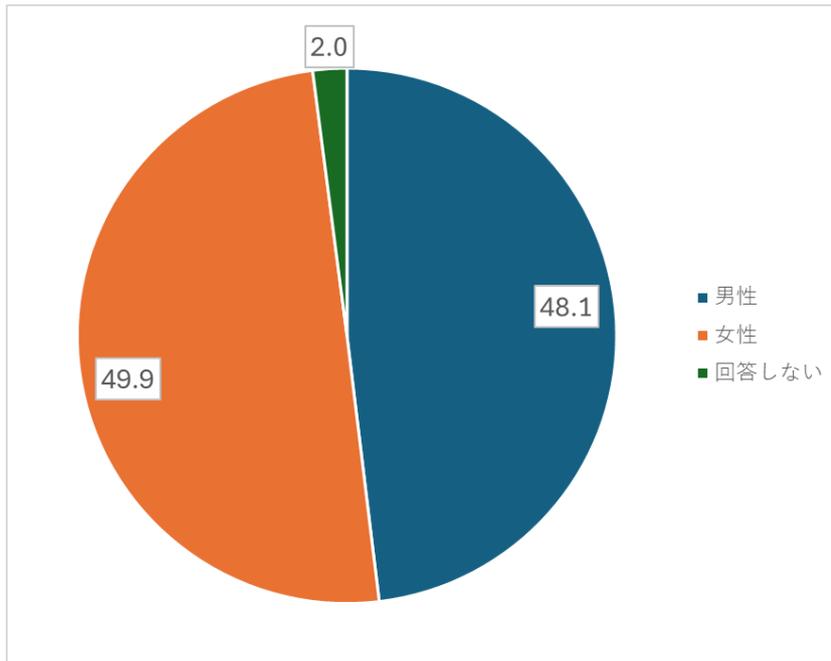


図1 性別 (n=393)

2) 年齢構成

年齢構成は、「50歳代」が31.6%と最も多く、次いで「60歳代」25.2%、「40歳代」14.5%の順であった（図2）。40歳以上の中高年が82.5%と多くを占めた。

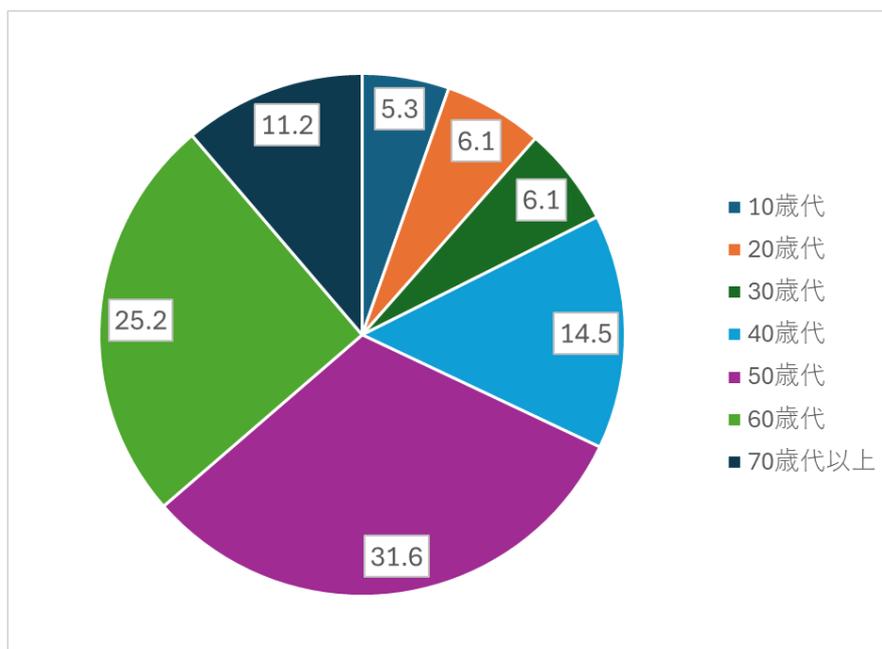


図2 年齢構成 (n=393)

3) 職業

職業は、「会社員・団体職員」が45.0%と最も多く、次いで「公務員」が12.5%であった(図3)。高校や大学の若年ボランティアは全体の1割程度であった。

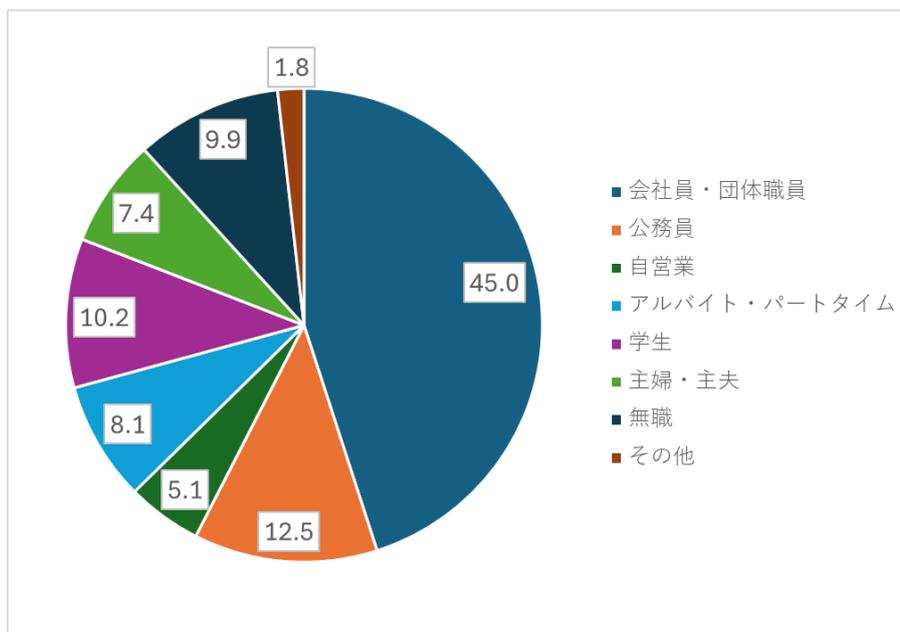


図3 職業 (n=393)

4) 居住地

居住地は、「神戸市内」が63.6%と最も多く、次いで「神戸市以外の兵庫県」が27.0%、「兵庫県以外」が9.4%であった(図4)。9割以上(90.6%)は兵庫県在住の参加者であったことがわかる。

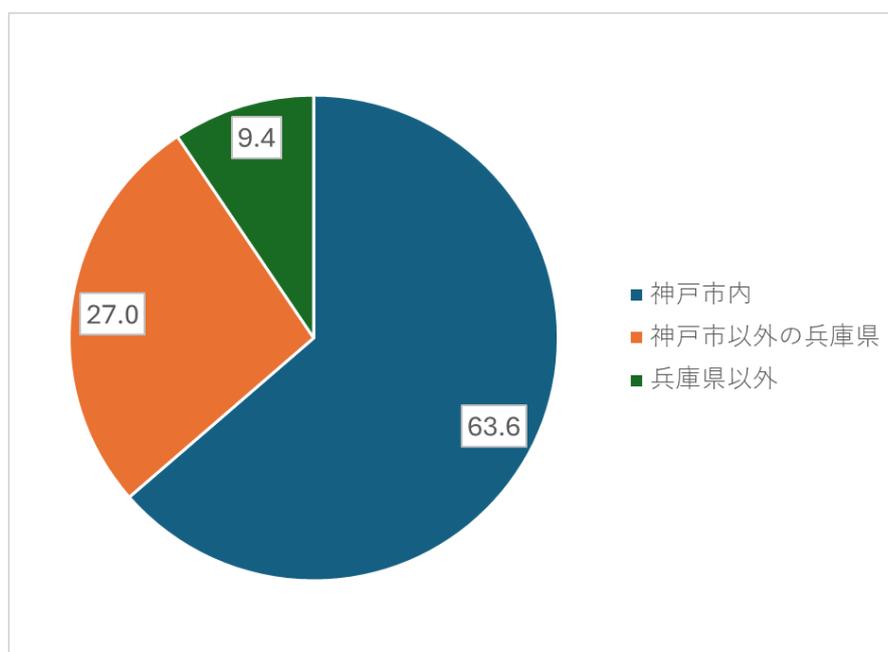


図4 居住地 (n=393)

2. 本大会におけるボランティア活動について

1) 応募形態

応募形態は、「個人ボランティア」が 55.2%と最も多く、次いで「団体ボランティア（一般）」が 31.8%であり、今回の調査では、高校・大学の団体ボランティアやオフィシャルスポンサーの回答は少なかったことがわかる。

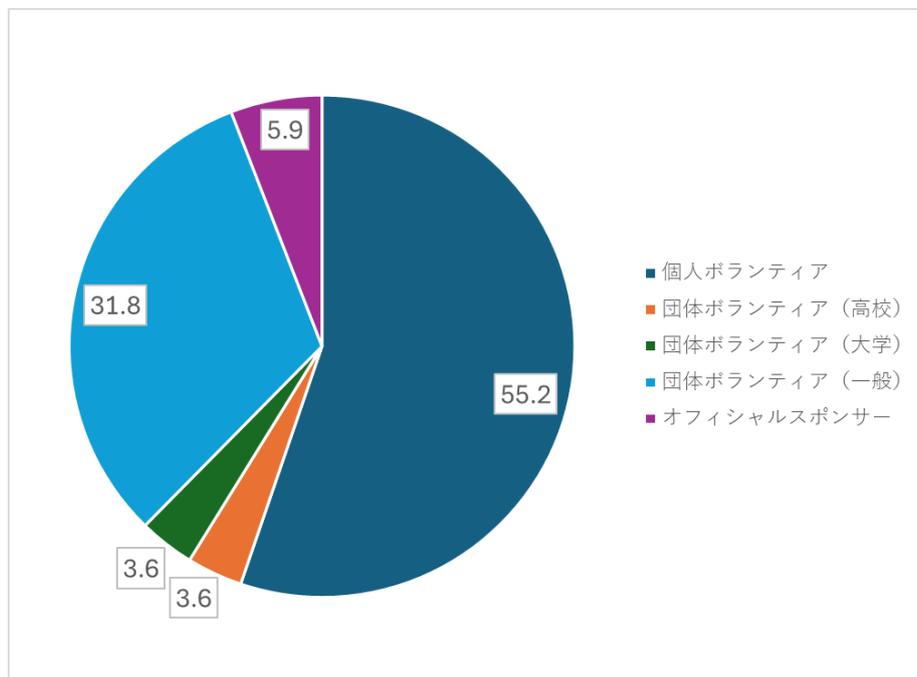


図 5 応募形態 (n=393)

2) カテゴリー

カテゴリーについては、舞子中継地点で活動するリレーランは 2.0%であり、リレーラン以外が 98.0%と多くを占めた。

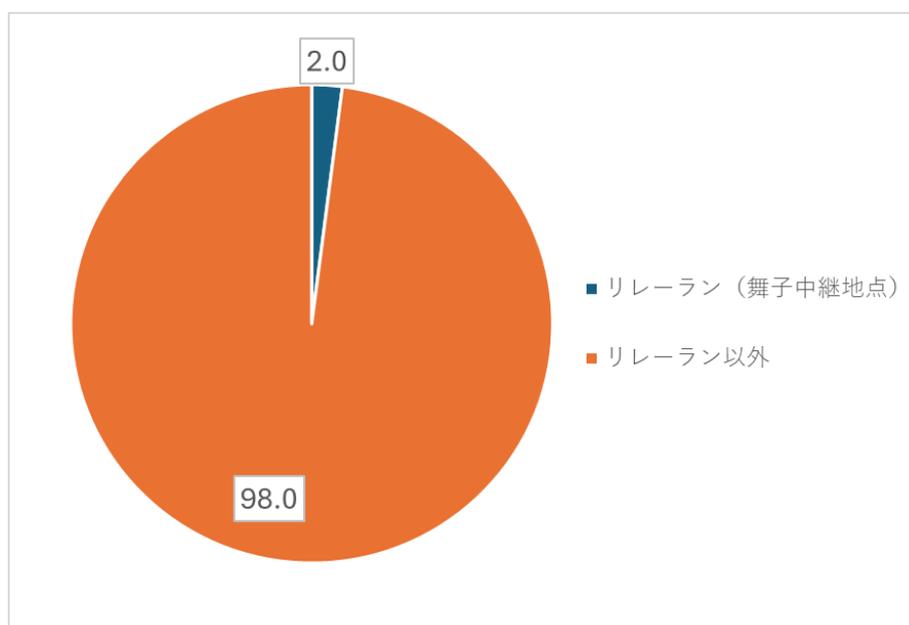


図 6 カテゴリー (n=393)

3) 担当業務

担当業務は、「コース沿道整理」が47.9%と最も多く、次いで「給水・給食(コース沿道)」が13.3%、「案内誘導」11.2%の順であった(図7)。

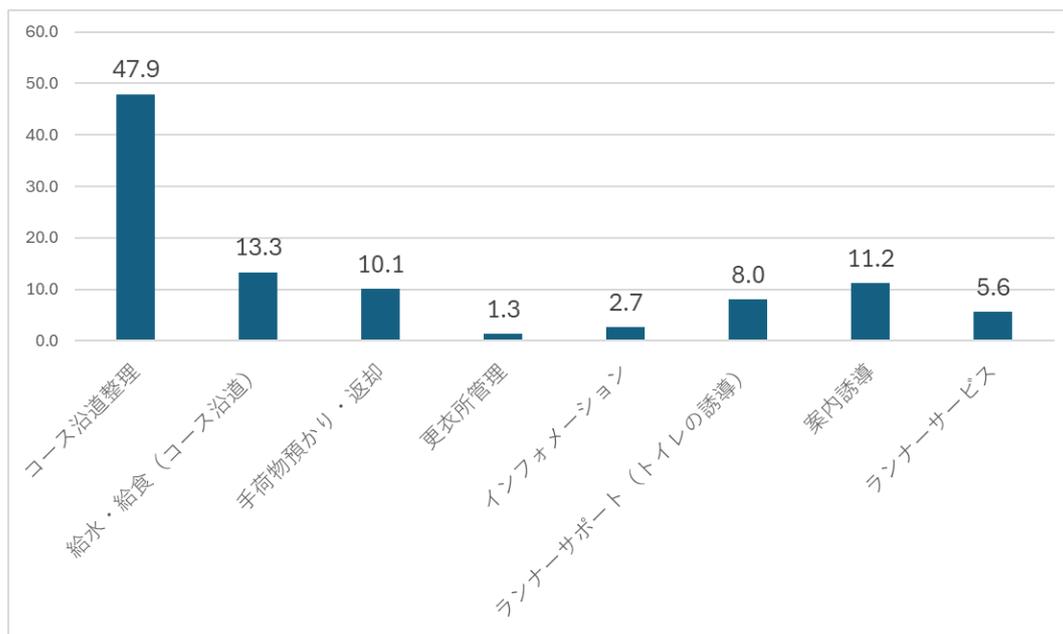


図7 担当業務

4) 情報源

ボランティアの募集情報における手段・方法(複数回答)については、「神戸マラソンのホームページ」と回答した割合が38.2%と最も多かった。次いで「職場」16.5%、「職場・学校以外の団体」15.0%、「友人」12.2%であった(図8)。

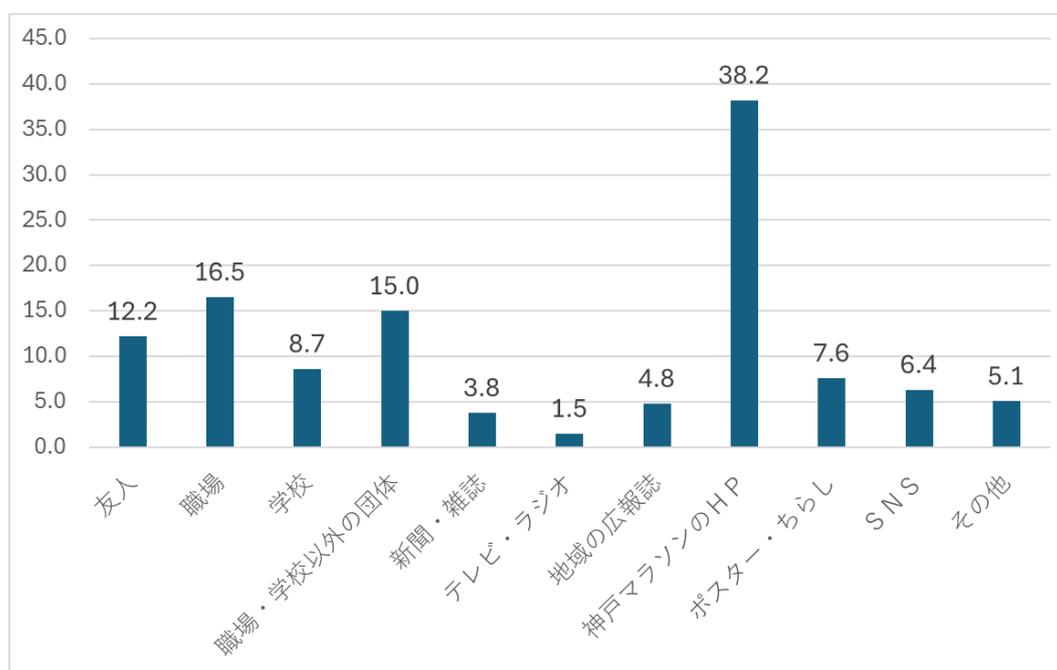


図8 情報源

5) 応募のきっかけ

ボランティアの応募のきっかけについては、「自分の意志」が最も多く 71.2%を占めた。次いで「学校以外の所属団体」が 17.3%、「学校」が 5.3%、「身近な人のすすめ」が 5.1%の順であった(図 9)。

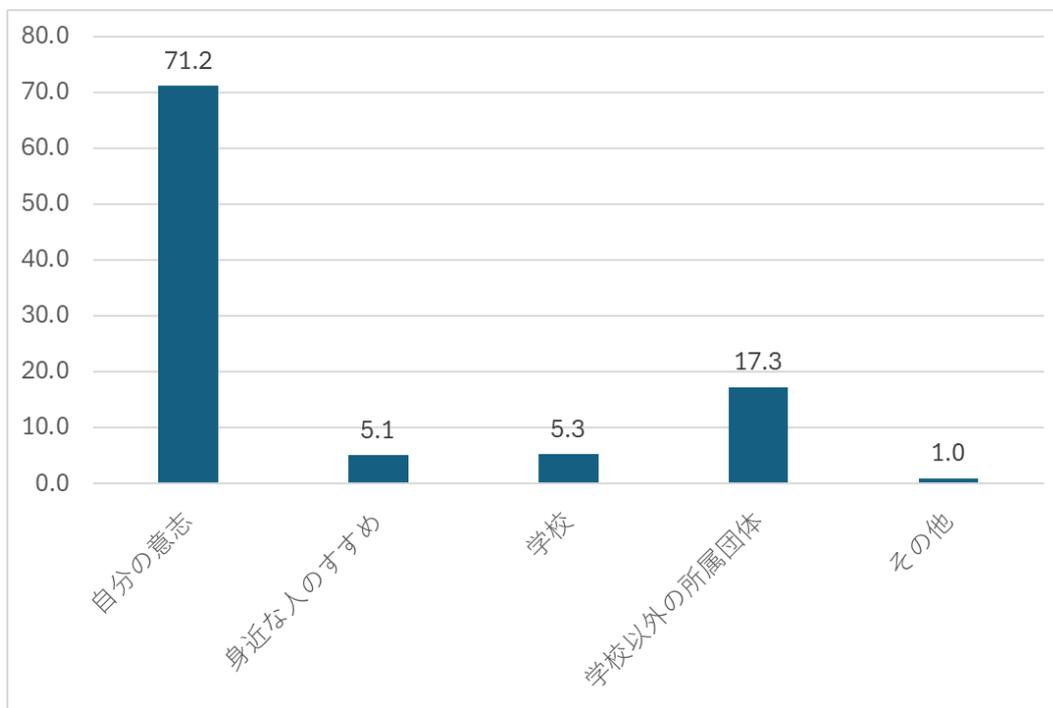


図 9 応募のきっかけ

6) ボランティア参加の動機

ボランティア参加の動機 20 項目を「1.全く当てはまらない 2.あまり当てはまらない 3.まあ当てはまる 4.非常に当てはまる」の 4 つの中から回答してもらった。平均値が最も高かったのは「神戸マラソンの成功に役立つ」が 3.44 であり、神戸マラソンに対するエンゲージメントの高さが伺える。次いで「人のために役立つ」と「日常では得られない経験ができる」は 3.41 であり、「地域に貢献」が 3.28 と続いた。一方、「知人や友人からの勧誘・紹介」は 2.07、「キャリアアップにつながる」は 2.26 と低い値を示した。神戸マラソンのボランティア参加者は、神戸マラソンへの思い入れが強く、人の役に立ちたい、非日常の経験ができる、社会や地域に貢献したいという志のボランティアが集まっている傾向が明らかになった。

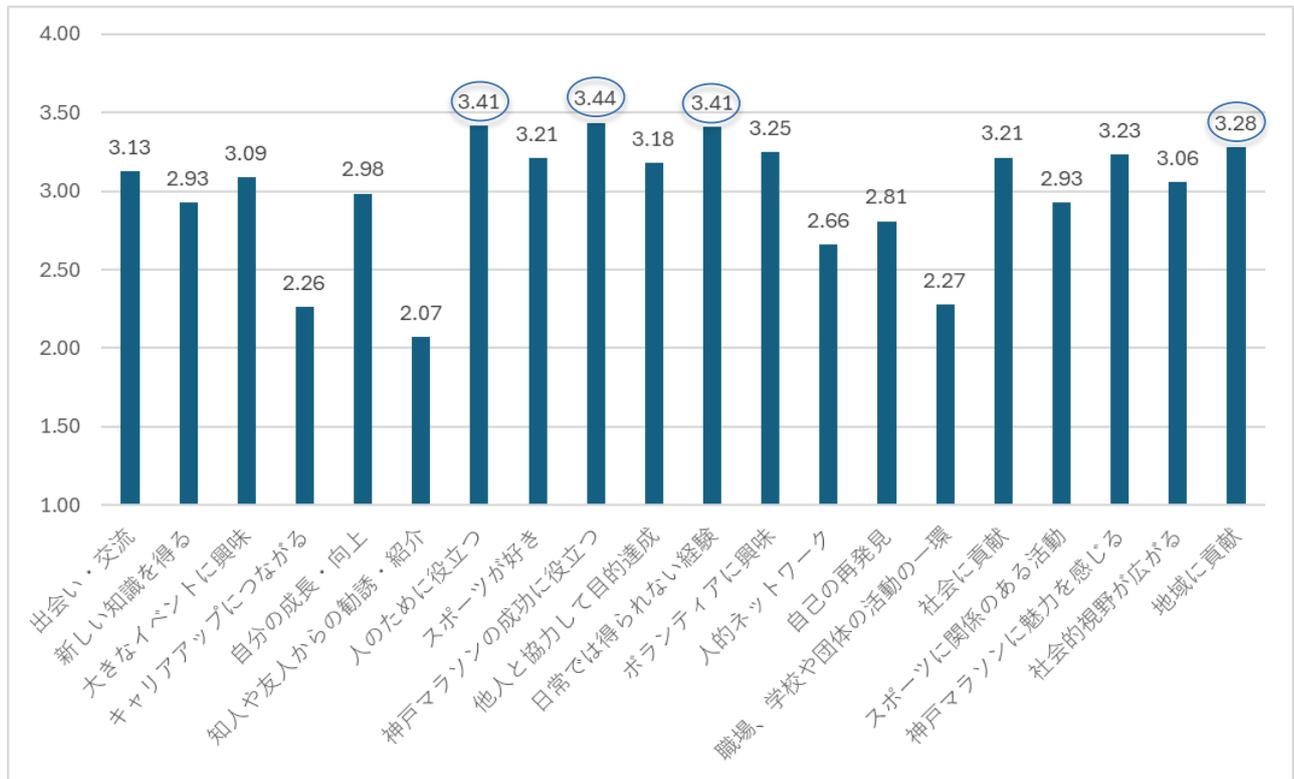


図 10 ボランティア参加の動機

7) ボランティア参加の阻害要因

ボランティア参加の阻害要因 19 項目について「1.全く当てはまらない 2.あまり当てはまらない 3.まあ当てはまる 4.非常に当てはまる」の4つの中から回答してもらった。参加の阻害要因として平均値が最も高かったのは「ボランティア以外の用事」2.83であった。次いで「活動場所までの移動時間」や「長い活動時間」「トイレの数」等が阻害とされていた。一方、「家族友人からの反対」や「友人家族の神戸マラソンボランティアへの関心の低さ」は 1.75 と最も低い値を示した(図 11)。

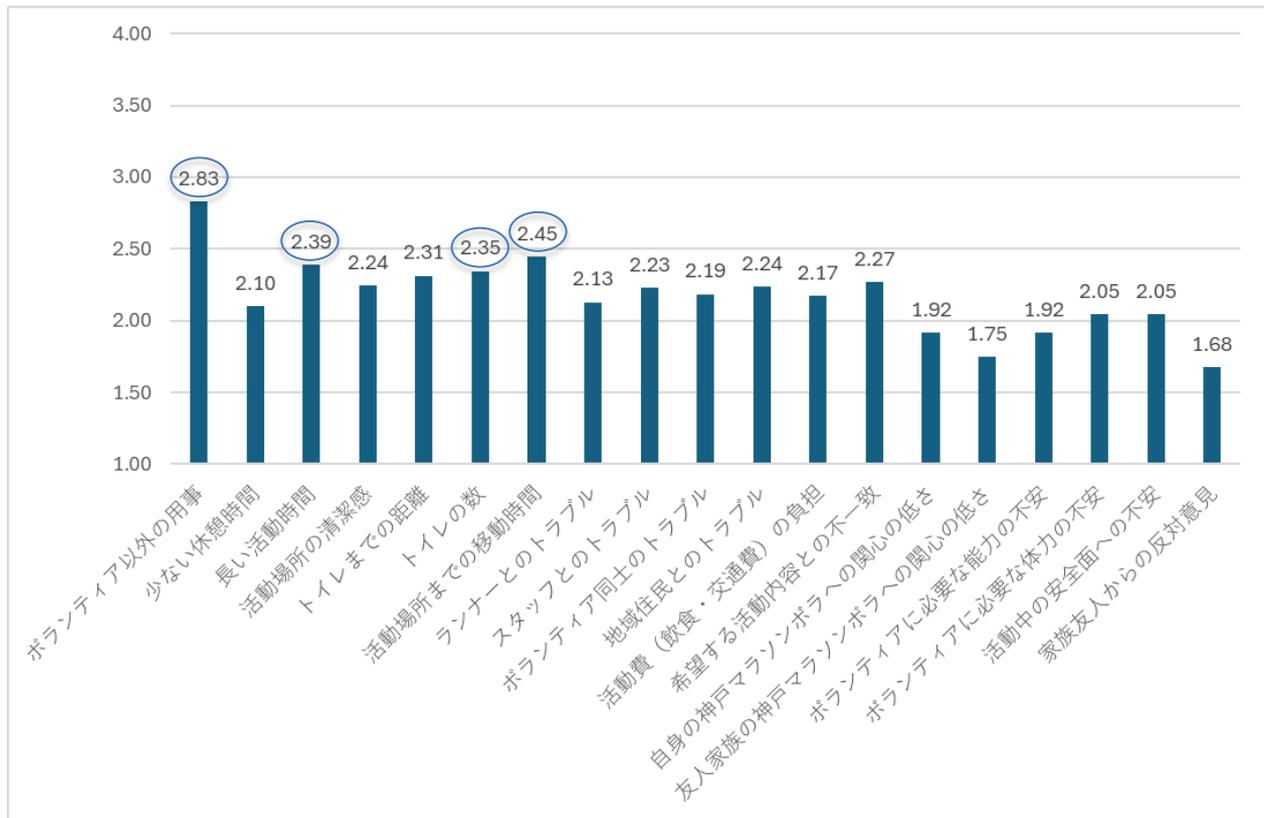


図 11 ボランティア参加の阻害要因

8) 全体的な満足度

今回のボランティア全体を通しての満足度を「非常に満足している」「まあ満足している」「あまり満足していない」「全く満足していない」の4つの中から回答してもらった。「非常に満足している」が31.8%、「まあ満足している」が59.5%、「あまり満足していない」が7.4%、「全く満足していない」が1.3%であった(図12)。「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値が91.3%であり、概ね満足度は高かったとみられる。

また、本設問に対し、自由記述で理由を聞く欄を設けた。「非常に満足」「まあ満足」と答えた人は、楽しさや交流に関する意見が多かった。満足していない意見については、運営やリーダーの役割に関する意見が一定みられた。

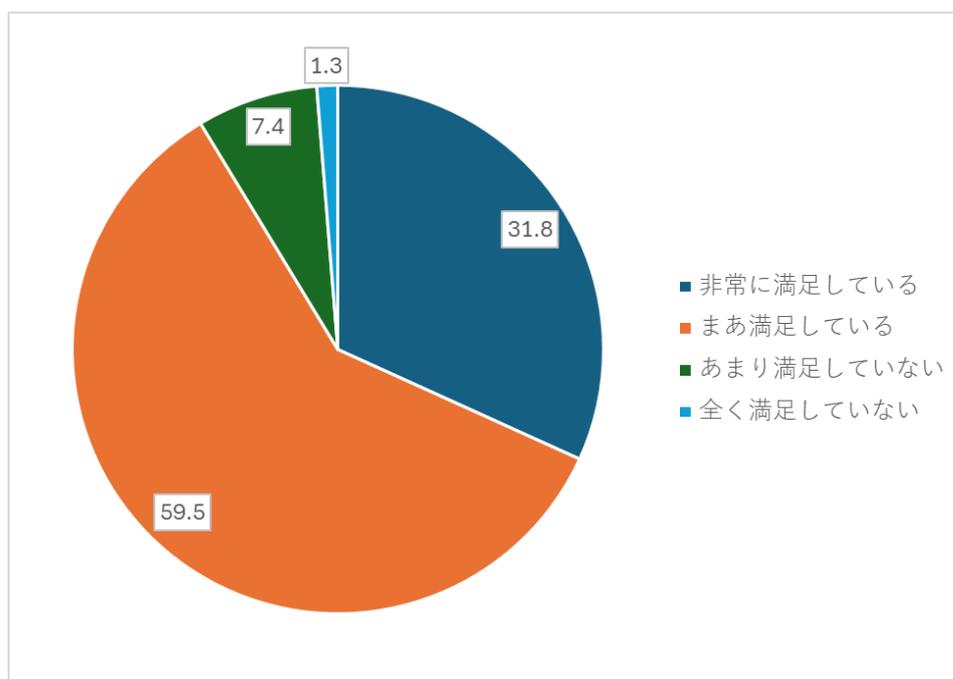


図12 全体的な満足度 (n=393)

3. 次回大会への参加意図とこれまでの活動状況

1) 来年の神戸マラソンボランティアへの参加意図

来年の神戸マラソンボランティアへの参加意図を「1.参加したい 2.参加したくない 3.わからない」の3つの中から回答してもらった。「参加したい」が70.0%、「参加したくない」が4.3%、「わからない」が25.7%であった(図13)。また、本設問に対して自由記述で理由を聞く欄を設けた。「来年も参加したい」と答えた人は、楽しさや交流、地域貢献などの意見がみられた。参加したくない人は、日程の都合以外に、仕事内容やスタッフの指示等に関する意見が示された。

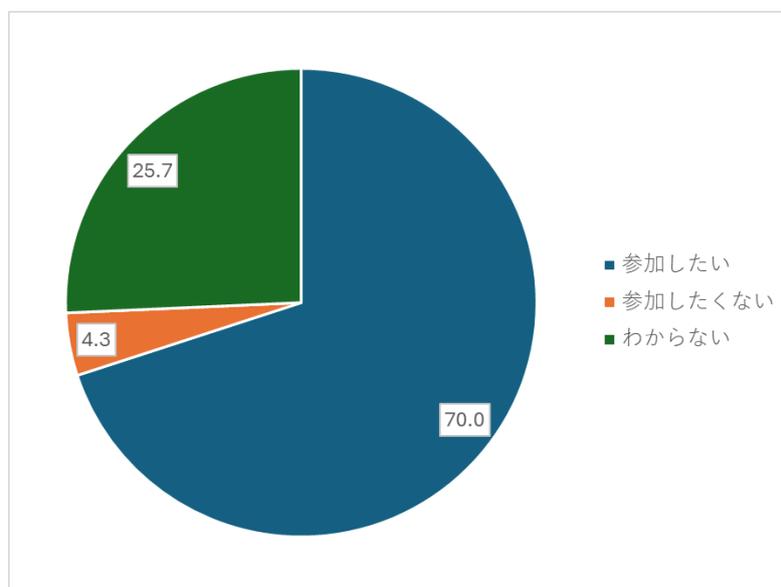


図13 来年のボランティアへの参加意図 (n=393)

2) 神戸マラソンボランティア活動の経験

神戸マラソンボランティアの活動回数を「初めて」「2~4回目」「5~8回目」「9回目以上」で回答を求めた。今回が初めての参加であった人は45.8%、2~4回目が34.1%、5~8回目が10.4%、9回目以上が9.7%であった(図14)。リピーターは半数程度とみられ、初回や少ない経験回数のボランティアにおける満足度を高める工夫やしかけが重要であると考えられる。

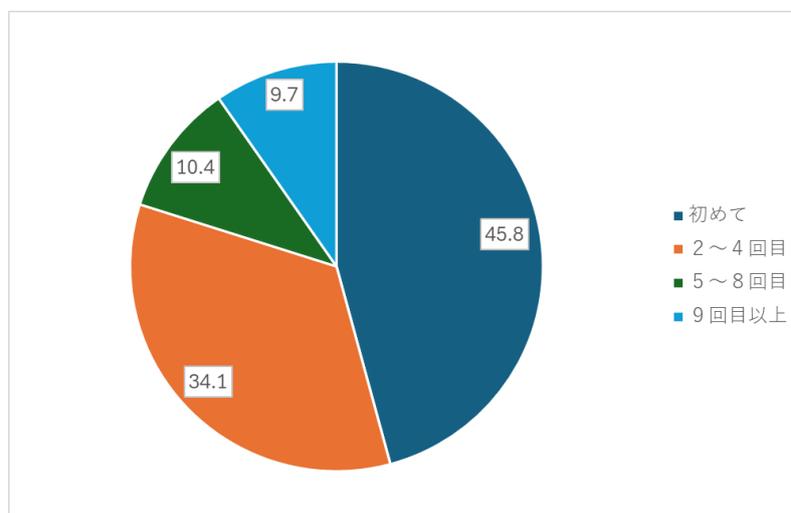


図14 神戸マラソンボランティア活動の経験 (n=393)

4. 全体的な満足度のクロス集計結果

1) 満足と性別

図 15 には、全体的な満足度を性別でクロス集計した結果を示した。その結果、「非常に満足している」はいずれも 3 割程度であり、「まあ満足している」と合わせると、いずれも 9 割以上のボランティアは満足している傾向にあった。全体的な満足度については、性別による統計的な有意差は示されなかった。

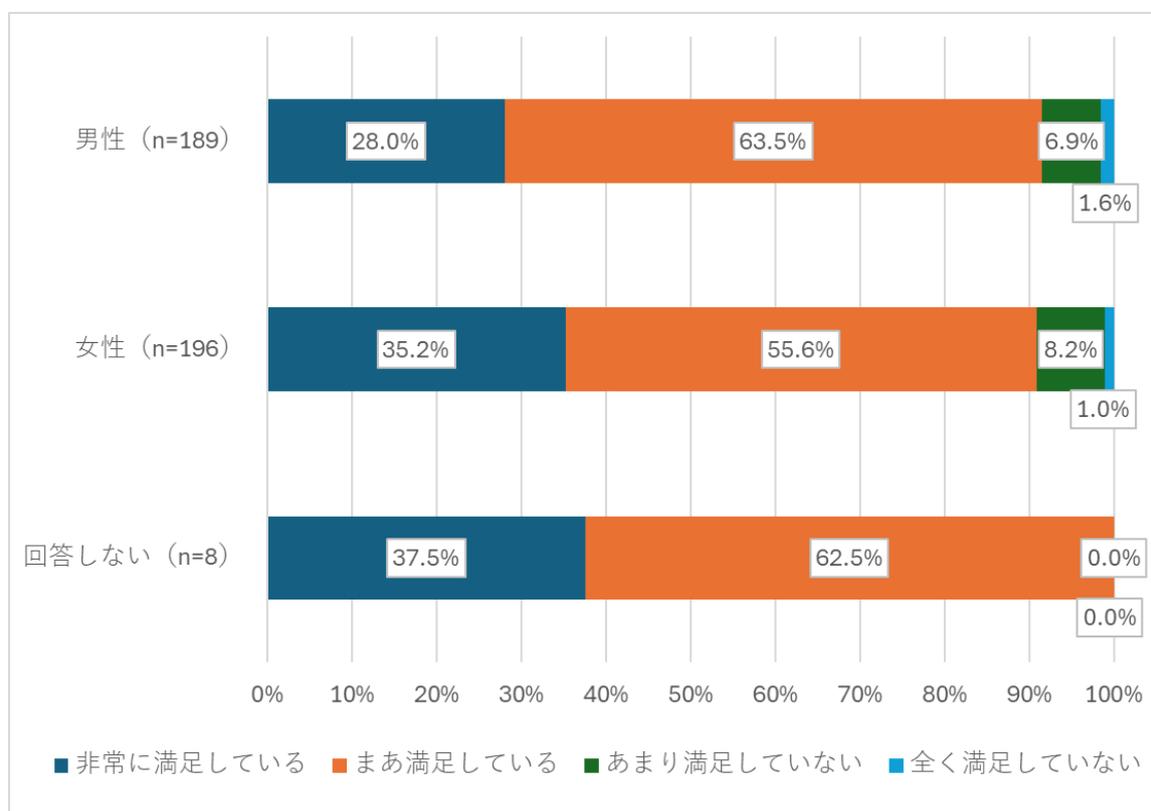


図 15 全体満足と性別 ($\chi^2=3.815, n.s.$)

2) 満足と年齢区分

図 16 には、全体的な満足度を年齢区分でクロス集計した結果を示した。年齢区分は「29 歳以下」、「30-59 歳」、「60 歳以上」の 3 つに区分した。「29 歳以下」は 45 名、「30-59 歳」は 205 名、「60 歳以上」は 143 名であった。

その結果、「非常に満足している」は 29 歳以下が 46.7%、30-59 歳は 30.7%、60 歳以上は 28.7% となり、29 歳以下が最も高く、60 歳以上が最も低かった。「まあ満足している」は 29 歳以下が 46.7%、30-59 歳は 61.0%、60 歳以上は 61.5% と 60 歳以上が最も高く、29 歳以下が最も低かった。「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した満足群をあらわす割合は、29 歳以下が 93.4%、30-59 歳が 91.7%、60 歳以上が 90.2% と若年層が僅かに高い傾向が示された。年齢区分においては、統計的な有意差はみられなかった。

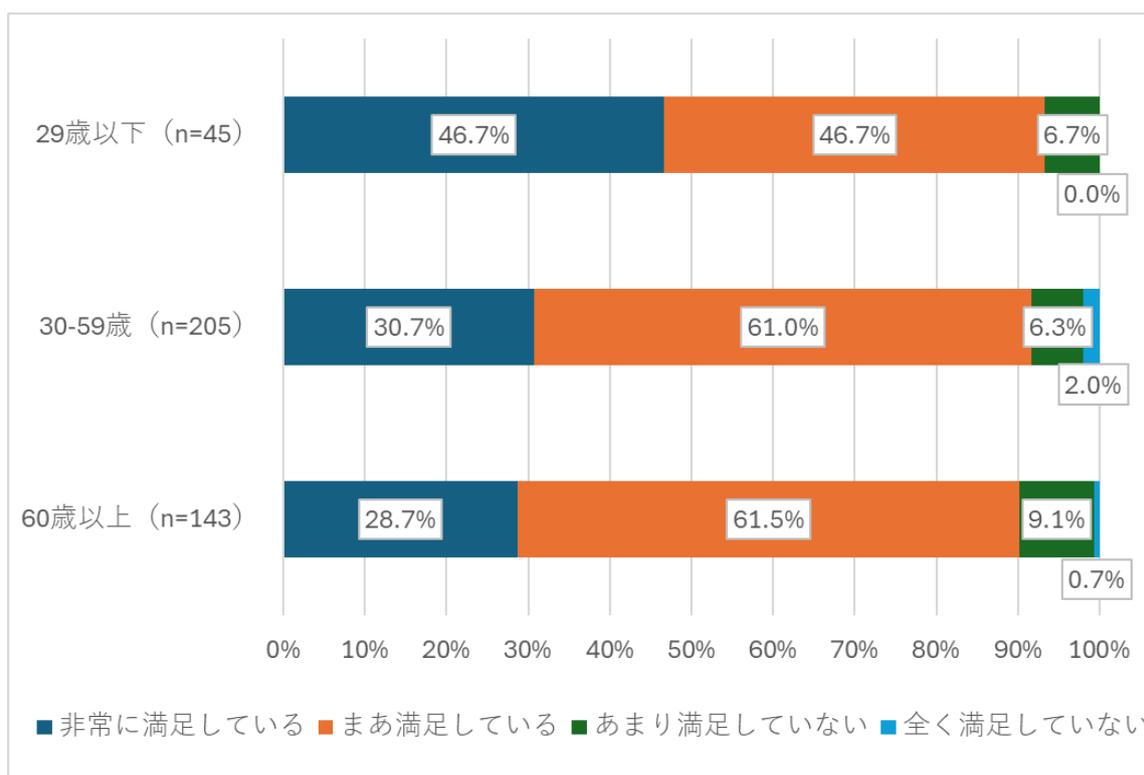


図 16 全体満足と年齢区分 ($\chi^2=7.642$, n.s.)

3) 満足と応募形態

図 17 には、全体的な満足度について応募形態でクロス集計した結果を示した。応募形態は、個人または 4 名以下のグループである「個人ボランティア」が 217 名、「団体ボランティア（高校）」が 14 名、「団体ボランティア（大学）」が 14 名、5 名以上の団体である「団体ボランティア（一般）」が 125 名、スポンサーからのボランティアである「オフィシャルスポンサー」が 23 名であった。

その結果、各応募形態で「非常に満足している」が高い値を示したのが、「団体ボランティア（大学）」35.7%、「個人ボランティア」35.5%、「オフィシャルスポンサー」34.8%であった。また、「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値が高かったのは、「団体ボランティア（大学）」100.0%、団体ボランティア（一般）」92.8%、「オフィシャルスポンサー」91.3%、「個人ボランティア」90.3%、「団体ボランティア（高校）」の 85.7%の順であった。いずれも統計的に有意な違いはなかった。

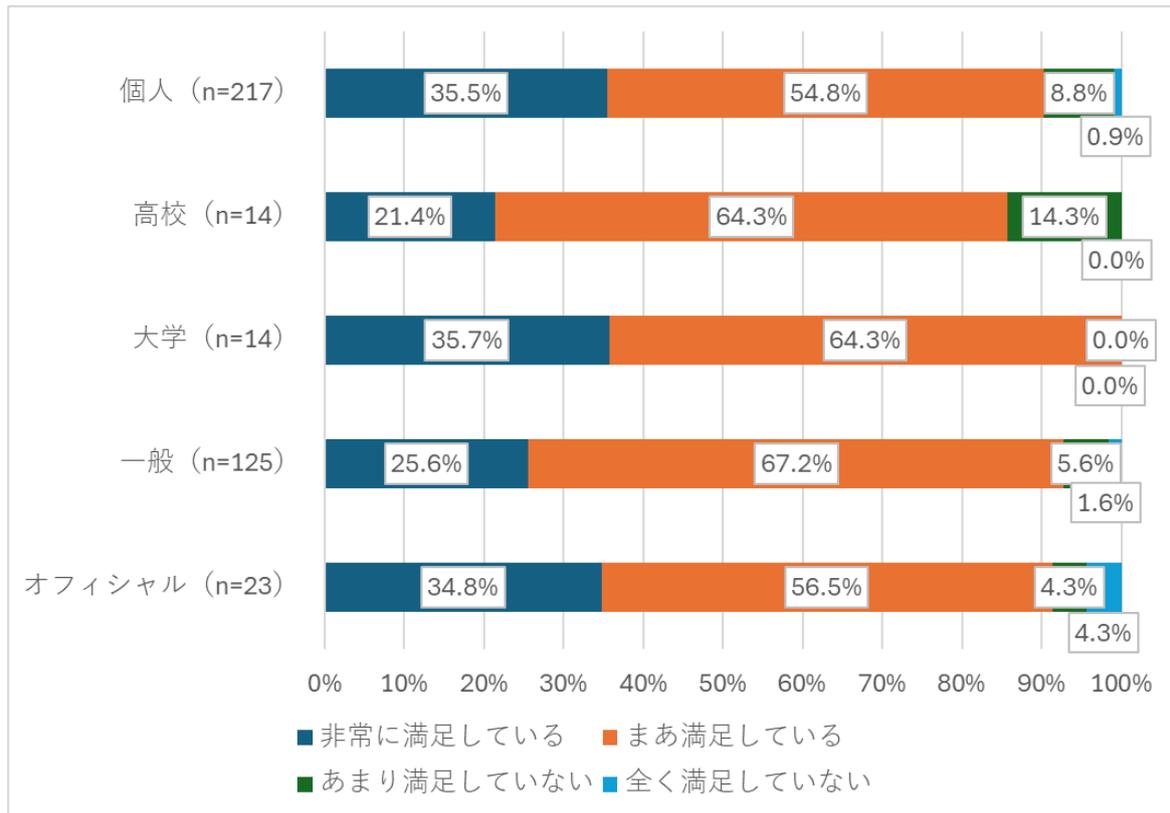


図 17 全体満足と応募形態 ($\chi^2=10.920, n.s.$)

4) 満足と活動場所

図 18 には、全体的な満足度を活動場所でクロス集計した結果を示した。活動場所は、担当業務の「コース沿道整理」「給水・給食」を「コース沿道」とし、残りの担当業務を「コース沿道以外」とした。「コース沿道」は 230 名、「コース沿道以外」は 146 名であった。

その結果、「コース沿道」の「非常に満足している」が 34.3%、「コース沿道以外」が 26.7%であった。「コース沿道」の「まあ満足している」は 59.6%、「コース沿道以外」は 61.0%であった。「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値は、「コース沿道」が 93.9%、「コース沿道以外」が 87.7%であった。統計的な有意差はないものの、コース沿道が全体的な満足度は高い傾向にあった。

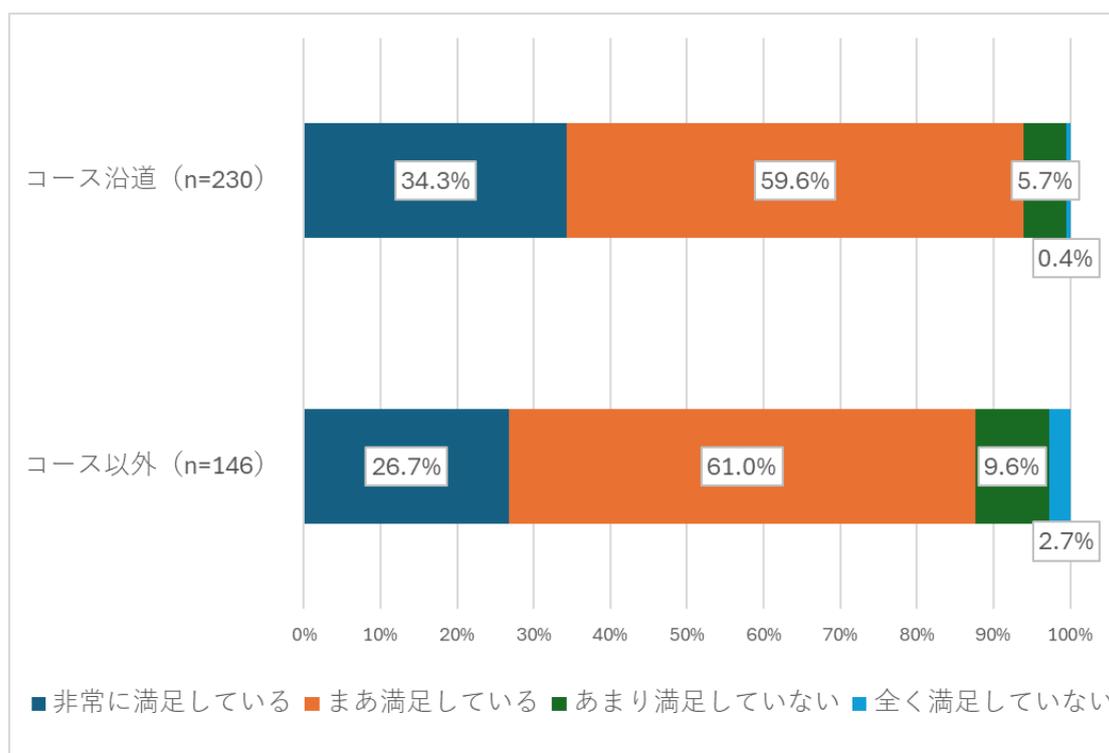


図 18 全体満足と活動場所 ($\chi^2=7.184$, n.s.)

5) 満足と参加回数

図 19 には、全体的な満足度を参加回数でクロス集計した結果を示した。参加回数は、ボランティア活動経験のデータをもとに、「初めて」「2～4回」「5～9回」「9回以上」の4つに分類した。参加回数は、「初めて」の参加者が180名、「2～4回」が134名、「5～8回」が41名、「9回以上」が38名であった。その結果、「非常に満足している」は、初めての参加者が40.6%、「2～4回」が25.4%、「5～8回」が14.6%、「9回以上」が31.6%であった。一方、「あまり満足していない」と「全く満足していない」を足した値は、初めての参加者が9.4%、「2～4回」8.2%、「5～8回」7.3%、「9回以上」7.9%であった。また、参加回数において有意な違いが示された。

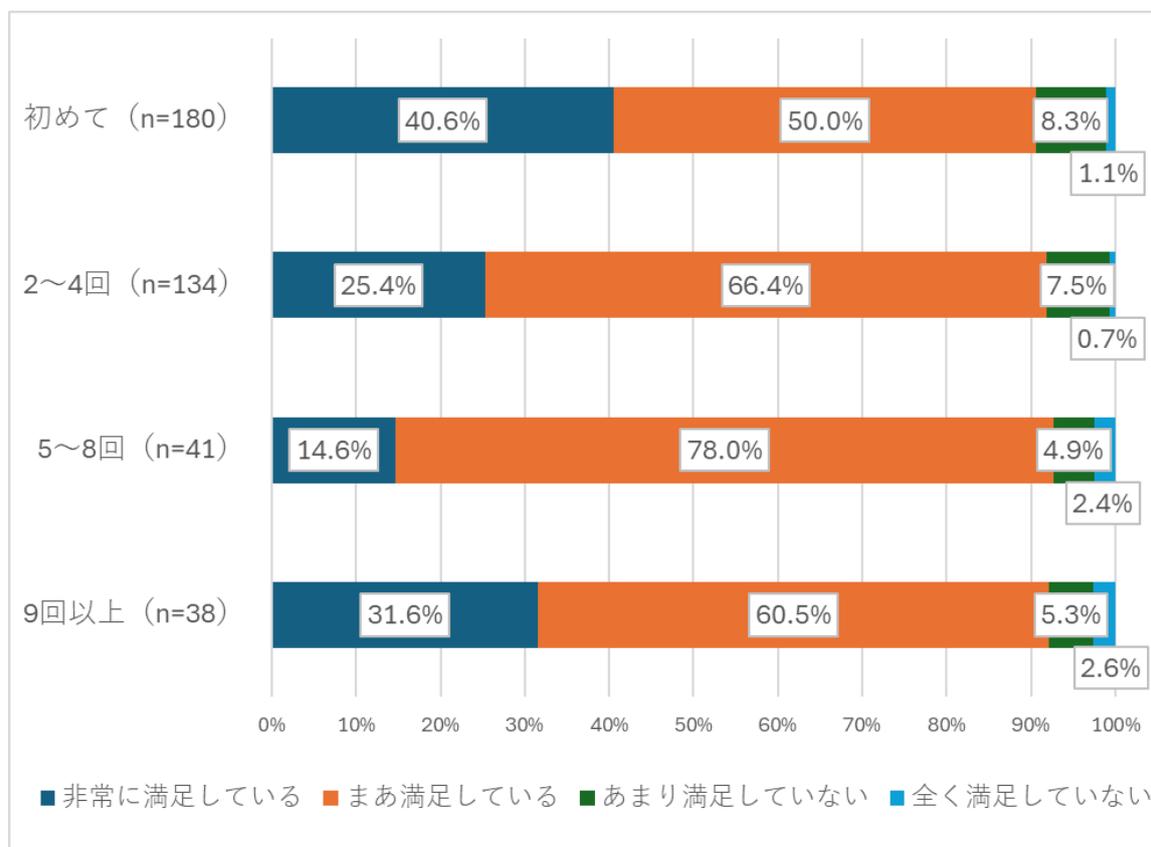


図 19 全体満足と参加回数 ($\chi^2=18.179, p<.01$)

6) 満足と再参加意図

図 20 は、全体的な満足度について来年の再参加意図でクロス集計した結果を示した。再参加意図は、「参加したい」と回答した参加者が 275 名、「参加したくない」が 17 名、「わからない」が 101 名であった。

その結果、「参加したい」と回答した参加者の「非常に満足している」は 36.7%、「参加したくない」と回答した参加者は 11.8%、「わからない」と回答した参加者は 21.8%であった。「参加したい」と回答した参加者の「非常に満足している」と「まあ満足している」を足した値は 96.7%、「参加したくない」と回答した参加者は 35.3%、「わからない」と回答した参加者は 86.2%であった。再参加意図においては、0.1%水準で有意差がみられた。

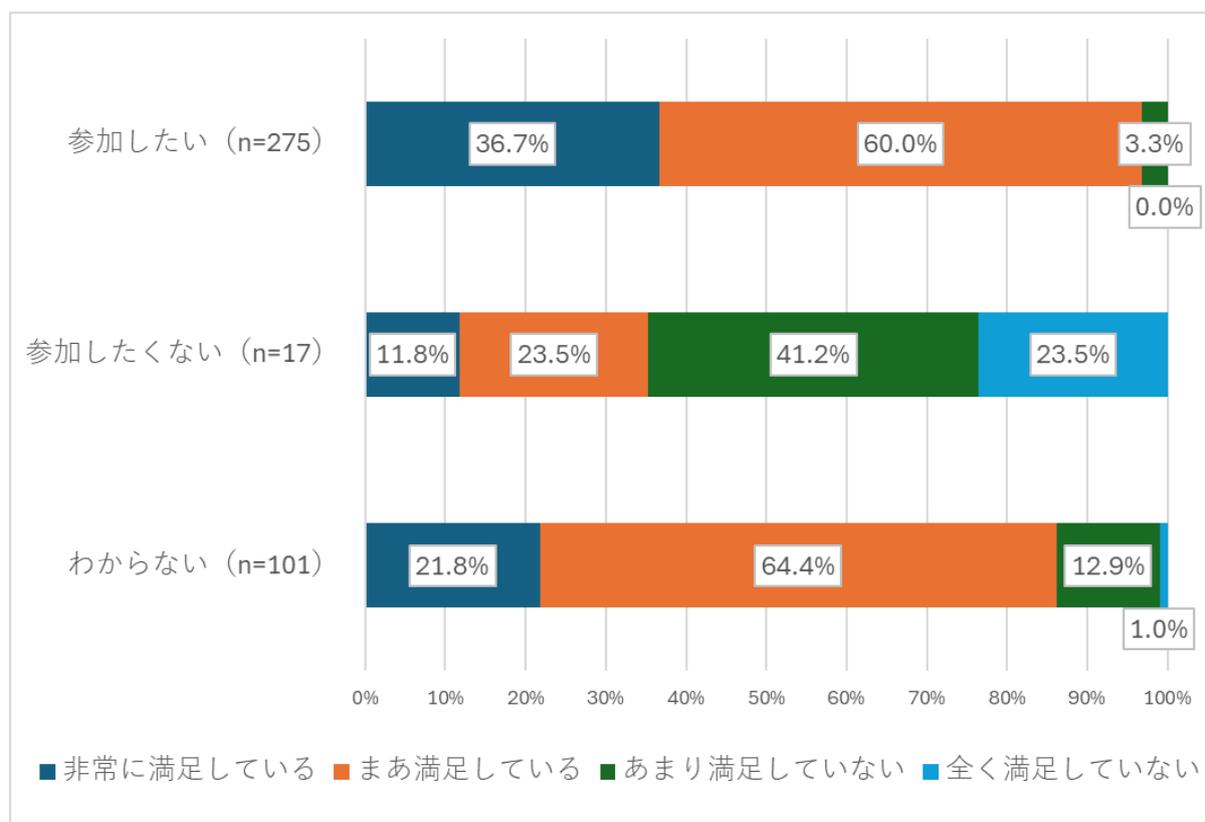


図 20 全体満足と再参加意図 ($\chi^2=118.020, p<.001$)

5. 来年の再参加意図のクロス集計結果

1) 再参加意図と性別

図 21 には、再参加意図を性別でクロス集計した結果を示した。「参加したい」と回答した来年の再参加意図のある人は、「男性」74.6%、「女性」66.8%、「回答しない」37.5%であり、男性参加者において高い値が示された。また、来年「参加したくない」と回答した人は、「男性」5.3%、「女性」3.6%、「回答しない」が0.0%であった。「わからない」と回答した人は、「回答しない」が62.5%と最も多く、次いで「女性」29.6%、「男性」20.1%であった。

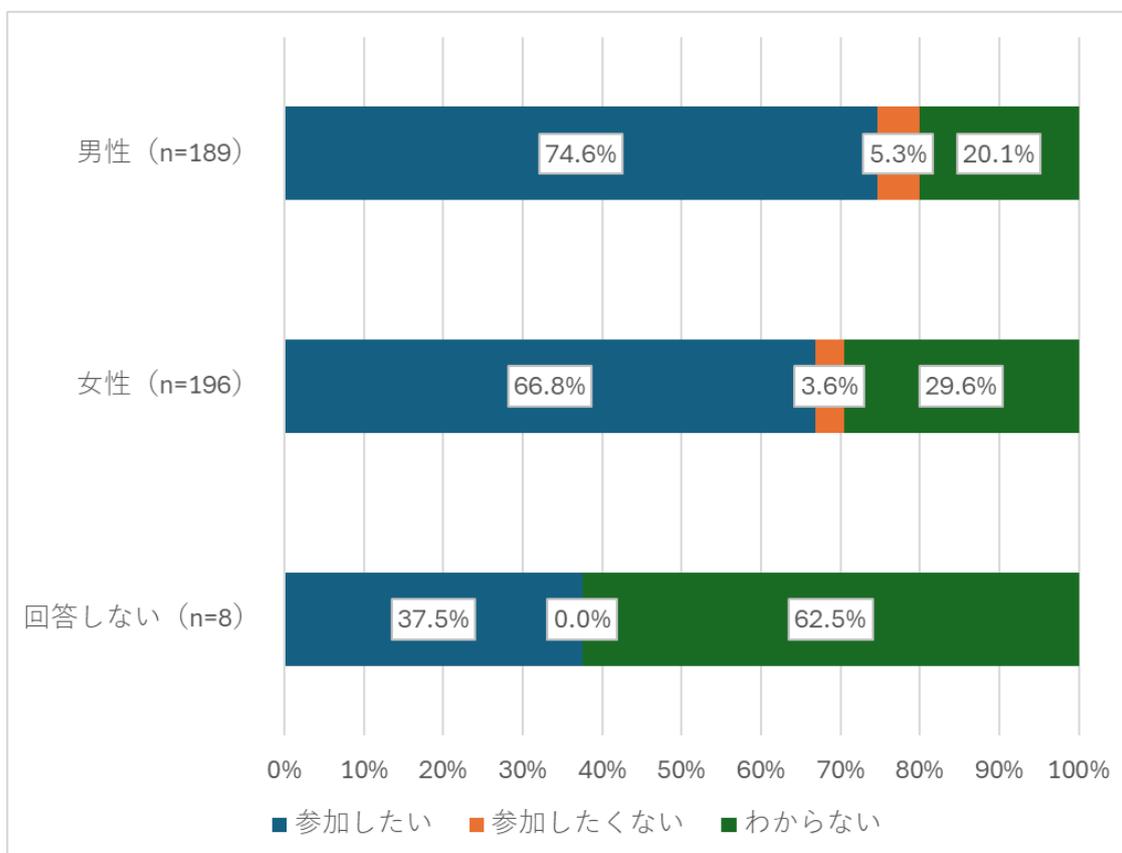


図 21 再参加意図と性別 ($\chi^2=10.743, p<.05$)

2) 再参加意図と年齢区分

図 22 には、再参加意図を年齢区分でクロス集計した結果を示した。「参加したい」と回答した再参加意図のある人は、「60 歳以上」が 80.4%、「30-59 歳」が 65.4%、「29 歳以下」が 57.8%であり、年齢の高い層の方が再参加意図が高かった。また、「参加したくない」と回答した来年の再参加意図のない人は、「29 歳以下」が 8.9%、「30-59 歳」が 4.9%、「60 歳以上」が 2.1%であり、29 歳以下の若年層が最も高い値を示した。年齢区分での集計では、年齢の高い層が年齢の低い層と比較して再参加の傾向が強い点が明らかになった。高年齢層の方が参加に積極的である傾向は、神戸マラソンにおけるボランティアの特徴であると思われる。

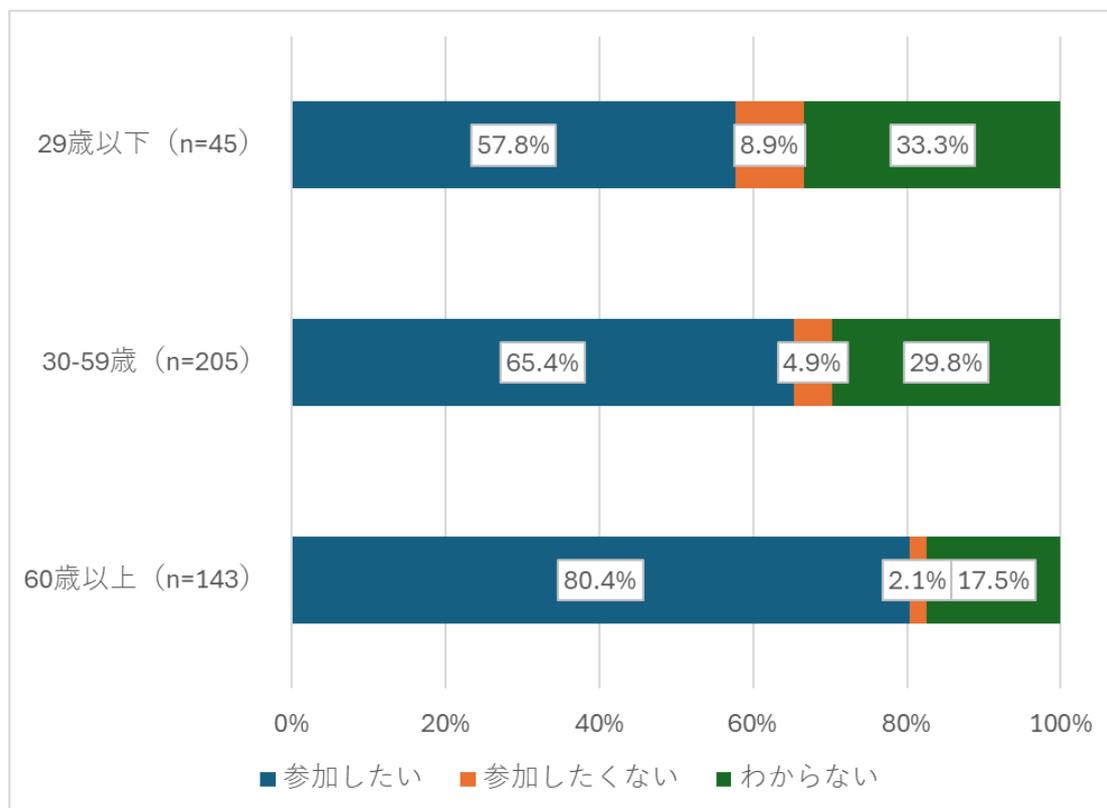


図 22 再参加意図と年齢区分 ($\chi^2=13.850, p<.01$)

3) 再参加意図と応募形態

図 23 には、再参加意図を応募形態でクロス集計した結果を示した。「参加したい」と回答した来年度の再参加意図のある人は、「個人ボランティア」が最も多く 75.6%、次いで「団体ボランティア（一般）」69.6%、「団体ボランティア（大学）」57.1%、「オフィシャル」47.8%、「団体ボランティア（高校）」35.7%であった。また、「参加したくない」と回答した再参加意図のない人は、「オフィシャル」が 8.7%と最も高い値を示し、次いで「団体ボランティア（高校）」と「団体ボランティア（大学）」が 7.1%であった。応募形態の集計においては、5%水準で有意差がみられた。

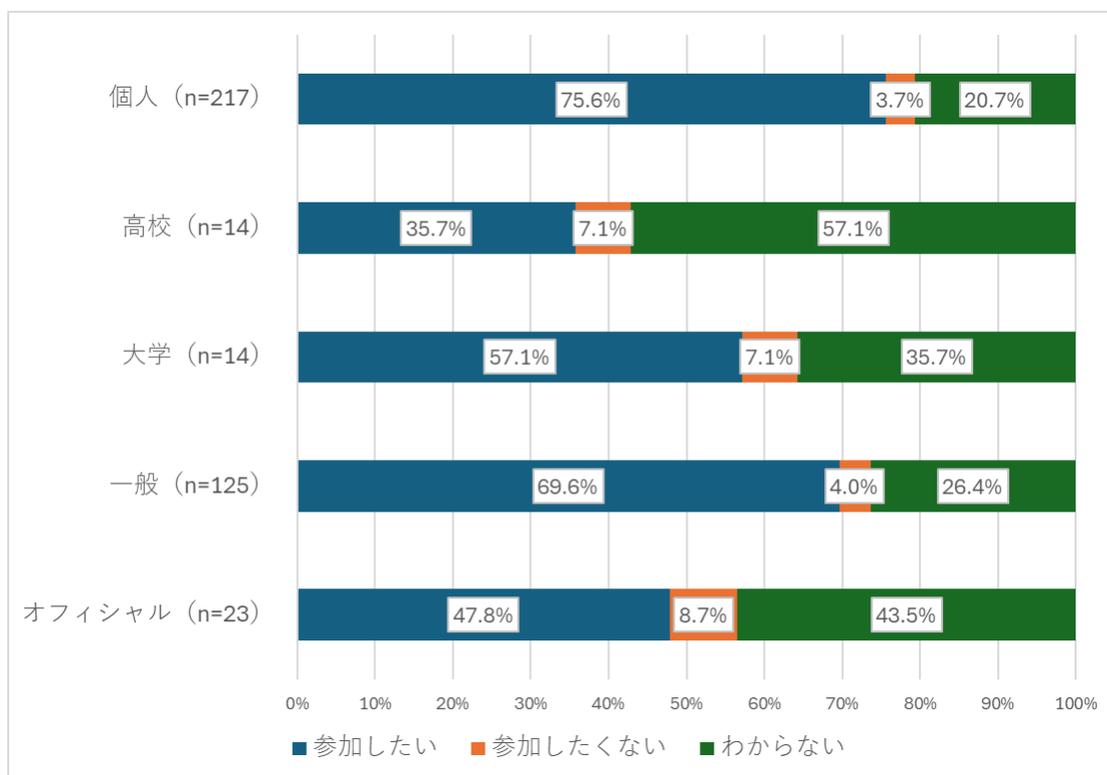


図 23 再参加意図と応募形態 ($\chi^2=17.894, p<.05$)

4) 再参加意図と活動場所

図 24 は、再参加意図を活動場所でクロス集計した結果を示した。「参加したい」と回答した来年の再参加意図のある人は、「コース沿道」が 68.7%、「コース以外」が 75.2%であった。「参加したくない」と回答した来年の再参加意図のない人は、「コース沿道」が 2.6%、「コース以外」が 8.0%であった。「わからない」と回答した参加意図を保留している人は「コース沿道」が 28.7%、「コース以外」が 16.8%であった。活動場所の集計では、0.1%水準で統計的な有意差が示された。

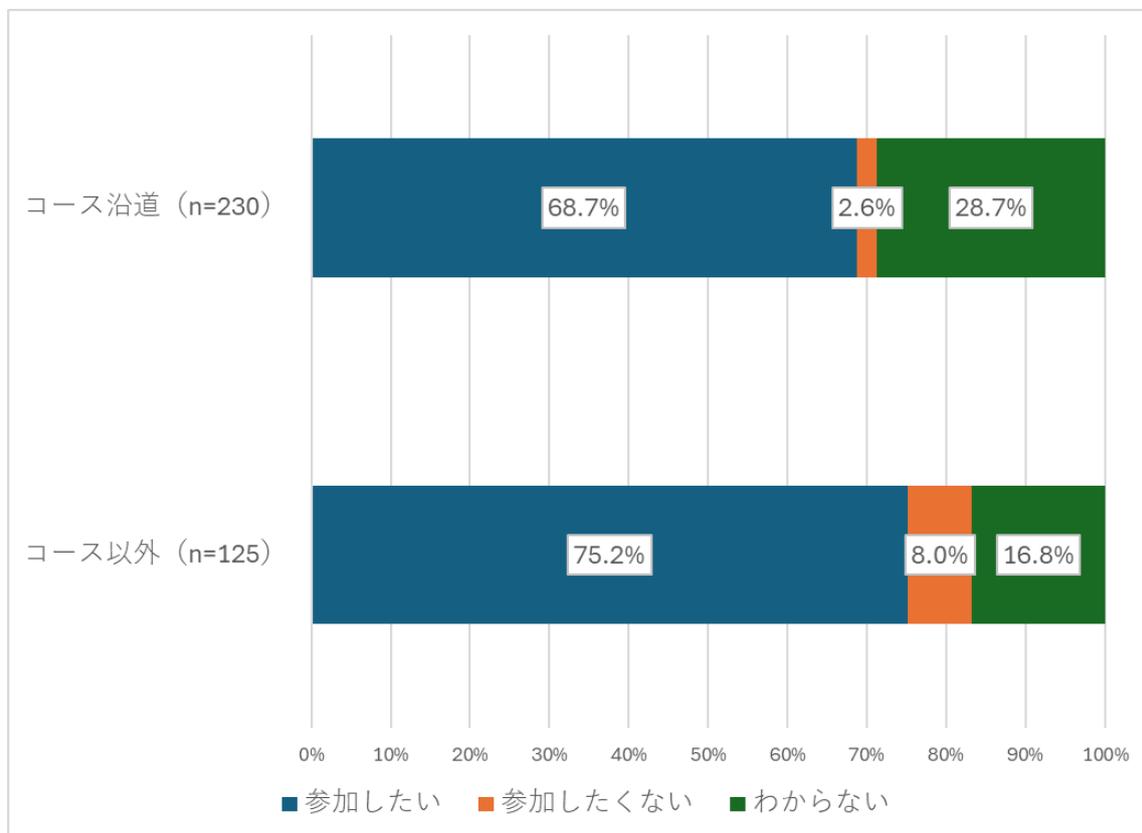


図 24 再参加意図と活動場所 ($\chi^2=10.382, p<.001$)

5) 再参加意図と参加回数

図 25 には、再参加意図を参加回数でクロス集計した結果を示した。「参加したい」と回答した来年も再参加意図のある人は、「初めて」の参加者が 69.4%、「2～4 回」の参加者が 65.7%、「5～8 回」の参加者が 78.0%となっており、「9 回以上」は 78.9%であった。また、「参加したくない」と回答した再参加意図のない人は、「初めて」の参加者が 5.0%、「2～4 回」の参加者が 3.0%、「5～8 回」の参加者が 4.9%、「9 回以上」が 5.3%であった。4 回までの参加者と比較して、5 回以上参加したボランティアの方が再参加意図の傾向は高いが、統計的に有意な差は示されなかった。

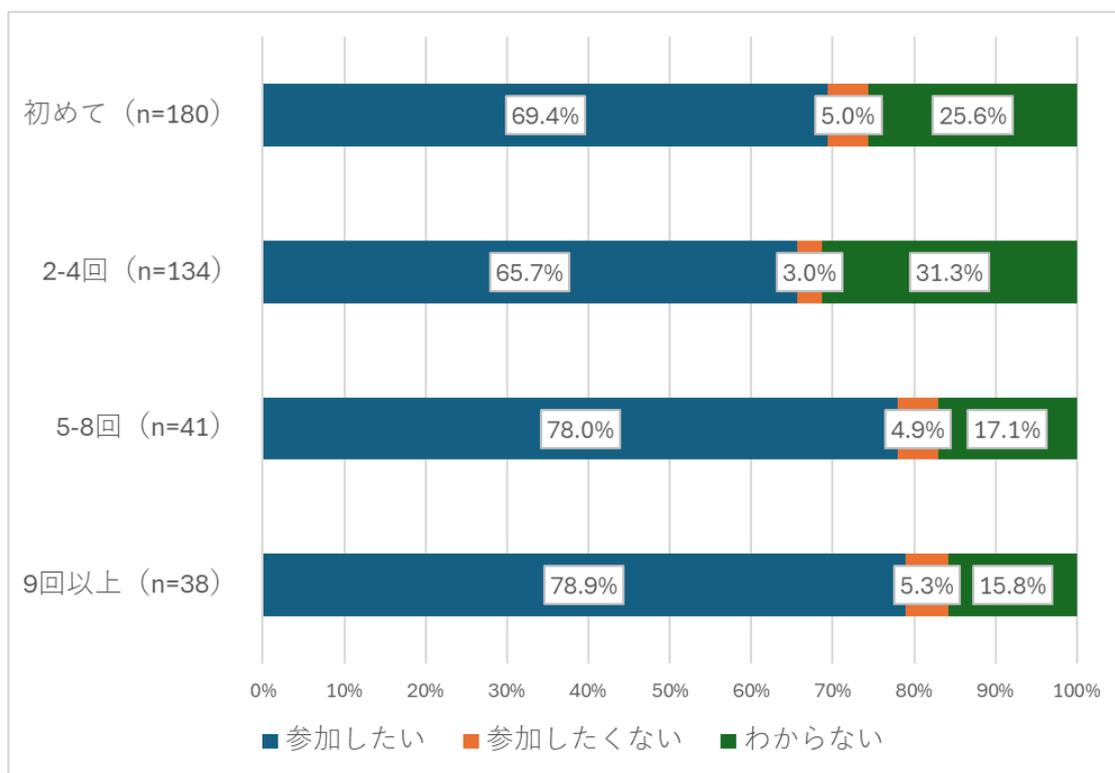


図 25 再参加意図と参加回数 ($\chi^2=6.335$, n.s.)

6. 参加動機と再参加意図

次回も参加したいと思っている参加者は、どのような動機をもって参加しているのかを調べるために、動機と再参加意図で一元配置分散分析を行った（表1）。その結果、20項目中19項目において有意差がみられ、多くの項目で「参加したい」が最も高い値を示し、「参加したくない」が低い値を示した。

有意差がみられた項目の中でも、F値の大きさから顕著な差がみられた項目を赤字で示した。赤字で示した項目をF値の大きかった順に列挙すると、「神戸マラソンに魅力がある」「ボランティアに興味がある」「神戸マラソンの成功に役立ちたい」「地域に貢献」「他人と協力して目的達成」「自分の成長・向上」等が示された。再参加に関する動機の特徴は、神戸マラソン自体が持つ魅力やボランティア活動、地域・社会への貢献、自己の内面に関するキーワードが挙げられた。

表1 参加動機と再参加意図

	参加したい	参加したくない	わからない	F-value	
人との出会い・交流	3.24	2.59	2.92	10.84	***
新しい知識を得る	3.02	2.41	2.75	8.15	***
大きなイベントに興味	3.20	2.88	2.82	9.58	***
今後のキャリアアップ	2.32	1.82	2.17	2.93	**
自分の成長・向上	3.11	2.12	2.80	15.25	***
知人や友人からの勧誘・紹介	2.04	1.71	2.22	1.96	
人のために役立つ	3.52	3.24	3.16	11.79	***
スポーツが好き	3.29	2.65	3.09	6.13	***
神戸マラソンの成功に役立つ	3.58	3.00	3.12	19.28	***
他人と協力して目的達成	3.32	2.65	2.90	15.75	***
日常では得られない経験	3.50	2.82	3.26	10.99	***
ボランティアに興味	3.40	2.88	2.88	20.28	***
人的ネットワーク	2.80	2.29	2.35	11.14	***
自己の再発見	2.91	2.29	2.63	6.35	***
職場、学校や団体の活動の一環	2.17	2.47	2.52	3.31	*
社会に貢献	3.33	2.94	2.93	11.60	***
スポーツに関係ある活動	3.04	2.35	2.72	8.26	***
神戸マラソンに魅力	3.39	2.35	2.94	28.22	***
社会的視野が広がる	3.19	2.29	2.83	14.22	***
地域に貢献	3.42	2.94	2.96	16.61	***

*p<.05 **p<.01 ***p<.001

7. 参加の阻害要因と再参加意図

次回も参加したいと思っている人と参加したくないと思っている人が、ボランティア参加の阻害要因にどのような違いがあるのかを調べるために分散分析を行った（表 2）。有意差が示されたのは 19 項目のうち 9 項目であった。

F 値の大きさから顕著な差がみられた項目を赤字で示した。赤字で示した項目を F 値の大きかった順に列挙すると、「長い活動時間」「少ない休憩時間」「ボランティア活動費（飲食・交通費）の負担」などが挙げられた。今後のボランティア維持・発展には、これらの負担を軽減する措置が期待される。

表 2 参加の阻害要因と再参加意図

	参加したい	参加したくない	わからない	F-value	
ボランティア以外の用事	2.72	3.24	3.07	7.32	**
少ない休憩時間	2.02	2.71	2.22	7.95	***
長い活動時間	2.27	3.00	2.61	10.54	***
活動場所までの清潔感	2.17	2.65	2.38	4.26	*
トイレまでの距離	2.31	2.59	2.28	0.94	
トイレの数	2.33	2.65	2.33	1.07	
活動場所までの移動時間	2.40	2.71	2.53	1.75	
ランナーとのトラブル	2.12	2.53	2.08	1.71	
スタッフとのトラブル	2.18	3.00	2.22	5.47	**
ボランティア同士のトラブル	2.14	2.53	2.26	1.61	
地域住民とのトラブル	2.20	2.47	2.30	0.84	
ボランティア活動費（飲食・交通費）の負担	2.08	2.76	2.34	7.68	**
希望する活動内容との不一致	2.22	2.88	2.31	4.94	**
自身の神戸マラソンボラへの関心の低さ	1.85	2.35	2.03	4.52	*
友人・家族の神戸マラソンボラへの関心の低さ	1.70	1.76	1.89	2.50	
ボランティアに必要な能力への不安	1.91	1.65	1.98	1.54	
ボランティアに必要な体力への不安	2.04	2.00	2.08	0.13	
活動時における安全面への不安	1.98	2.41	2.16	3.48	*
家族・友人からのボラ参加に対する反対意見	1.68	1.76	1.66	0.13	

*p<.05 **p<.01 ***p<.001

8. 自由記述

【満足度の理由】

個人ボランティア

○満足群

・楽しさ、充実感、感動

- 楽しんで活動できました (70 歳代以上 女性)
- 楽しかったけど暇だった (10 歳代 女性)
- ランナーの方々的一生懸命な姿に感動しました (50 歳代 女性)
- 楽しかったことと、ランナーの皆さんに感謝していただく機会が多かったため。(20 歳代 女性)
- 楽しく参加できました (60 歳代 女性)
- 新しい経験をもたらした (30 歳代 女性)
- 声かけて返してくれたり楽しかった (50 歳代 女性)
- 初めてだったので、新鮮だった (70 歳代以上 女性)
- 初めての参加でしたが、ボランティア活動を通して、元気になれたと感じます。(50 歳代 女性)
- 楽しかったです。(30 歳代 男性)
- 喜んでもらえて嬉しいです (70 歳代以上 男性)
- 通訳したり色々楽しかった! (60 歳代 男性)
- 楽しく参加出来ました (60 歳代 男性)
- 活動時間が長かったが人数も多く楽しかったと思う。(20 歳代 男性)
- 大会が選手、関係者、ボランティア、神戸市の住民の方、その方々を支える方々、そして私が想像できなくてここに書くことのできない方々の善意や誠意等とその方々達の活動を可能にする技術、資源、設備等が調和し合うと、こんなに素晴らしい事が可能になるんだなと実感できる一日だったので。(50 歳代 女性)
- 大変だったけど楽しかった。(50 歳代 女性)
- 参加できて非常に楽しかったです。(30 歳代 女性)
- 皆さんの走る姿に感動しました (60 歳代 男性)
- 楽しく走ってる人を間近で見れたから (50 歳代 男性)
- 大きなイベントに関わる事ができて、良い経験になった。日常から離れて楽しかった (50 歳代 女性)
- 私達のグループは当日 4 名の欠席者がいましたが、リーダー中心に残りのメンバーで声を出して頑張れました。気持ちいい汗をかく事が出来て良かったです。(50 歳代 女性)
- いつもはランナーで出ているが、裏方に周り、いつもとは違った経験ができた。(30 歳代 男性)
- いい経験になったし、ランナーから元気をもらったから。(10 歳代 女性)
- ものすごく近い距離で一生懸命走るランナーを観られて、感動した。(60 歳代 女性)
- チョット沿道に応援者が少ない場所だったので物足りなさがあったが、いい経験だった (60 歳代 男性)
- 今まで体験したことのない体験ができてよかった。リーダーの方の気遣いも素晴らしく楽しく活動できた。(40 歳代 女性)
- 私が担当した地区では、ランナー経験者が多く、休憩中にはどこがキツかった!!ここが良かった!!などたくさんのお話が聞けました。ランナーの方からありがとう。と言ってもらった時は本当に嬉しくてやりがいになりました。(20 歳代 女性)
- 神戸マラソンのボランティア活動の機会をいただき、大変貴重な経験ができました。年齢を問わず多様なメンバーで大会を作り上げる一部として参加でき、地域の活動に参加する楽しさや、多くの人へのサービスの大変さと共に周りの方と乗り越えることができた達成感を感じました。(20 歳代 女性)

・交流、感謝

- 新しい出会いや大変参考になる情報を得られたから (60 歳代 女性)
- 普段できないことをしたり、初めて会う人と話すことができて楽しかったから。(30 歳代 女性)
- ランナーやスタッフの方にとっても感謝されたし、忙しくて充実感があった。アンケート回収数を 100 以上目指すという、具体的な数値目標もあったので頑張れた。(40 歳代 女性)
- スタート地点で選手に手を振れた。選手とのコミュニケーションがあった。活動時間が短かった。第一希望の場所だった。(50 歳代 女性)
- ボランティアしながら知人も激励できた (50 歳代 男性)
- ボランティアのスタッフや、ランナーの方たちとの交流が楽しかった。ランナーの方のお役に、少しでも立ったと思う喜び (60 歳代 女性)
- いつもはランナーで色々な大会に参加していますが、また違った目線で大会の運営を感じる事が出来ました。活動を通じて新しい出会いもあり、良かったです。(60 歳代 女性)
- チラシ担当のボランティア活動当日で、初めて出会った方々と、ともに心を合わせて、神戸マラソンの成功を願いながら声を掛け合い良い活動ができた事、それは、私の心地の良い成功体験となって、自信となりました。(50 歳代 女性)
- ランナーやスタッフ、ボランティアと交流でき、マラソン大会成功に役立てた (50 歳代 女性)
- ランナーからのありがとうの言葉が嬉しかった (50 歳代 男性)

- ランナーはとりひとりへエールを送りながら活動ができた (50 歳代 女性)
- 自分自身の善意や、年齢関係なく色んな人と関わったこと。ランナーや地域住民に感謝の言葉をかけられたこと (20 歳代 女性)
- 選手を陰ながら応援神戸マラソンを盛り上げれるから (50 歳代 男性)
- メンバーさんとも話が出来たし、協力し合えたと思うから。ランナーさんからも元気を貰えたから (50 歳代 女性)
- 先輩ボランティアの方もいて安心して活動できました。簡単な自己紹介タイムがあるといいなと思いました。(30 歳代女性)
- その日限りのメンバーなのにみんなで協力して活動が出来た事 (60 歳代 女性)
- 様々な年代の方と活動でき、良い経験になりました。(40 歳代 女性)
- ランナーとして参加したことがあるので裏方としての活動に興味があったから。(50 歳代 男性)
- 初めての参加でしたが、ボランティアリーダーさんがしっかり作業コントロールしてくださったので、気負わずに取り組めたので。(60 歳代 女性)
- 応援の人たち、選手たち、ボランティアの人たちとステキな交流があったこと。(60 歳代 女性)
- 同じ班の人と交流を深めることができたから。(20 歳代 女性)
- ボランティアスタッフの方々と一体感や神戸マラソンの開催に少しは貢献できたと思うので (40 歳代 女性)
- 難解な作業も無く、楽しく人と接することができた。(60 歳代 男性)
- ボランティアリーダーの支えがあり、メンバーの皆さんともコミュニケーションが取れて神戸マラソンのランナーに貢献できた (40 歳代 男性)
- ボランティアリーダーの説明や気づかい等が優れていて不安無くスムーズに活動を行う事が出来たため。(60 歳代 女性)
- 初めて知り合う方ばかりですが、ボランティアをするという姿勢からか、協力しあえる人と活動できたのが心地よかったです。また、世界パラ陸上のボランティアで知り合った方と神戸マラソンボランティアで偶然再会できたこともいい思い出になりました。(50 歳代 女性)
- 同じ区画の他のボランティアの方 (団体と思われる) が親切だったから (50 歳代 女性)
- 同じ役割のボランティアスタッフとのコミュニケーション。ランナーさん達とのコミュニケーションも含めて円滑だったと感じたので (60 歳代 女性)
- とっても楽しかったし、ランナーの方と沢山コミュニケーションが取れてあっという間だった。(20 歳代 女性)
- 参加された方が気持ちの良い方が多かったです (50 歳代 男性)
- ボランティアをする方たちは自分の意思で参加されている方が多く活動中も互いを尊重しあって活動してできた (50 歳代 男性)
- はじめての参加でしたが、トラブルもなく有意義にすごせました。同じ班の方々も気持ちの良い方ばかりでいいご縁をいただきました。(50 歳代 女性)
- ランナーへの声かけに対して感謝の言葉をもらうなど、一体感をもってやり遂げられたことにより充実感が得られました。(50 歳代 男性)

・貢献

- 警備の方々との認識の違いはありましたが臨機応変に活動できましたので (50 歳代 女性)
- 人のために、役立ちたいから。(30 歳代 男性)
- みんな一緒に活動し、ランナーのためになれたから。(40 歳代 男性)
- 自分が住んでいる神戸で行われているマラソンイベントを運営する側に貢献できたことを嬉しく感じています。(50 歳代女性)
- 少しでもランナーの為になったと思える。(60 歳代 男性)
- 初めて参加し、神戸マラソンが多くボランティアに支えられて運営されていることを知ることができた。(40 歳代 男性)
- 笑顔で走者と励まし合えること、互いにはありがたいです。ただしそれだけなら、沿道で立っているのも同じでもあります。始めから終わりまで“見届けるだけ”で終わったのかもしれませんが、万が一の対応にはなれるのかと思っています。(50 歳代 男性)
- 季節のイベント神戸マラソンはとても楽しみです。そのお手伝いが出来て、沿道の皆さんの安全をまもりながら、共に楽しめることは喜びです。(70 歳代以上 女性)
- 大会運営に少しは貢献できた。(70 歳代以上 男性)
- 初めての参加でしたが、不慣れなりに貢献できて良かったです。(40 歳代 男性)
- 無事に仕事を終えられた (60 歳代 女性)
- 自分なりに全力で活動できた (50 歳代 女性)
- 何事も無く無事に終わりましたので。(50 歳代 女性)
- 初めての参加だったが持ち場では、トラブルもなく活動できた。(60 歳代 女性)
- 達成感はあるため (50 歳代 男性)
- 役に立つなら (50 歳代 男性)
- 役に立てた感じを得たため (50 歳代 男性)
- 特に問題はなく終わる事が出来た (50 歳代 女性)

・運営、業務内容、スタッフ関連

- もともと希望していたリーダーとしての活動ができた。(70歳代以上 男性)
- ランナーのみなさんがスタート地点がわからず、結構な人数の方に道を案内することができた(50歳代 男性)
- 配置場所が良かった(50歳代 女性)
- 皆さん非常に親切で楽しかった。マラソンを間近で見ることができてとても良かった。(50歳代 女性)
- 例年とはちがう仕事に取り組めたため。(20歳代 男性)
- 担当した地区のボランティアメンバーさんがとても親切で、初めて参加した自分に色々教えてくれたし、一緒に楽しさを共有できたから。(50歳代 女性)
- 同じ担当の人と仲良くなることが出来たし、皆が頑張っている姿を見る、応援することが出来たから。(10歳代 女性)
- メンバーさんがよかった。(40歳代 男性)
- 初めて会った人といろんな会話ができたから(40歳代 女性)
- 運営の裏側が見られたから(40歳代 女性)
- 準備も片付けも順調であった。無事にランナーが走って行った。応援の人とのトラブルもなかった。(70歳代以上 男性)
- 業務のシンプルさ(60歳代 男性)
- 大会の運営無事参加出来た。(70歳代以上 男性)
- 担当を全うしたから(60歳代 男性)
- 立ち仕事で腰が痛かったですが、充実感があった(60歳代 女性)
- ランナーとして参加させて頂いていた恩返しが少しでもできてよかったです。(50歳代 男性)
- 二回目で要領が分かっていた(70歳代以上 男性)
- まかせてもらった活動内容を、問題なく終えることができたからです。蛇足ですが、これまで神戸マラソンにランナーとして参加した際、ボランティアの皆さんにお世話になってきたので、今度は自分が何かランナーのお役に立ちたいと思っていました。それが叶ったので満足しています。(40歳代 女性)
- パナナ配布でしたが、女性だけで力仕事が多かったのも、大変だったと思います。(40歳代 女性)
- ランナーの方と身近で触れ合えることに充足感を覚えたため。(10歳代 女性)
- 慣れない活動でうまくこなせない部分があったため、完全に満足はできなかったが貴重な経験になりおおむね満足できたから。(10歳代 女性)
- ランナーサポート4班、リーダーの方(個人名)が優しくいろいろ教えてくれました。ボランティアの皆さんもいい人ばかりで協力できました。トイレ誘導でしたが、想像以上に多く人が並んでいました。トイレの数があと2つ程あると、よりスムーズかなと感じました。並び方ですが、各トイレ前で並ぶより、1列になって空いた所へ順次誘導する方法を取っていてとてもよかったです。(40歳代 女性)
- 個人エントリーのメンバーでチームとなったので活動がやり易かった。(60歳代 男性)
- 活動場所が変更になり~少し手持ち無沙汰でした。(70歳代以上 女性)
- 今回リーダーをさせて頂きましたが、全体として満足しております。個別には問題もありますが、クレームが無かったと思いますので、満足しております。(70歳代以上 男性)
- 全員が協力して活動した結果、大会が成功し終えたことで非常に満足しております。(60歳代 男性)
- 沿道の準備、片付けも、グループの協力で、テープはり、迅速、丁寧、に出来無事終え感謝です。(60歳代 女性)
- 活気あるイベントに参加出来た。(60歳代 男性)
- ゴール後が活動場所だったので、ランナーの満足度を感じることができた。(60歳代 男性)
- 昨年のリーダーとの資質の差を感じた。(60歳代 女性)
- 昨年と違って、運営スタッフ、ボランティアリーダーの方達がしっかりとされていて不安無くボランティアすることができた。ボランティアメンバーも年齢関係なく皆さんとても良い人たちで良かったです。(50歳代 女性)
- 沿道整理だったが、沿道整理の仕事はほとんどなく応援することに専念ができ、応援することでランナーさんに元気ももらえたから。(40歳代 男性)
- ランナーと近い持ち場だったため、声をかけ全力で応援できた。ランナーの皆様しんどい中笑顔で応えてくださり、ハイタッチしたり等触れ合いが嬉しかった！(60歳代 女性)
- 折り返し点に近かったので短時間で活動が終わり、又活気にあふれて元気をもらえた。(60歳代 男性)
- はじめての参加だったが無事終えた事(70歳代以上 男性)
- 自分の想定していた活動内容とは違っていたが多少なりとも役に立てたかなと思う。(70歳代以上 男性)

・その他

- ランナーの方々から若さもらいました。(70歳代以上 男性)
- 皆さんの頑張る姿に元気がもらえた。(40歳代 女性)
- 一般人からのランナーへの飲食物の提供シーンの目撃をしたが安全面が不安。警備員が業務内容を把握できていない(ラストの撤収タイミング)。(50歳代 女性)
- 活動がボランティア素人でもなんとかなる内容だった。(60歳代 女性)
- 初顔合わせの人達と協力しあえてランナーさんとも交流でき喜んでもらったこと(50歳代 女性)

- 頑張っているランナーに感動した。(50歳代 女性)
- 割りと上手くいった(60歳代 男性)
- 前回までとほぼ同じ。(70歳代以上 男性)
- 神戸マラソンに関わった事。(60歳代 女性)
- 今回初めて参加したため、テレビで見ていた神戸マラソンの運営に、ボランティアとして関わることができたという達成感があったものの、活動が午前中の2時間半ほどだったため、最初から最後までもっと貢献できたら良かったなと思い、「まあ満足している」を選択しました。(10歳代 男性)
- 景色が良かった。配布された、帽子と手袋とウェアが立派だった。(40歳代 回答しない)
- 走れなかったが、神戸マラソンに参加することができたから(40歳代 女性)
- ランナーの皆さんが気持ちよく走れたと思うから(40歳代 男性)

●不満足群

・運営、業務内容、スタッフ関連

- リーダーの「若い女性が水や給食を配ると喜ばれる」の発言にびっくりしたから。担当場所によっては休憩時間がなかったと聞いたから。(50歳代 女性)
- 今回山陽須磨駅近くの12区での参加になりましたが、リーダーの方からの指示や説明が、自由にやってくださいだけで、この人は何の為にここにいらっしやるのかが、分からず不安と不満の気持ちが出てしまいました。(50歳代 男性)
- 海外担当のボランティアスタッフが、かなりの剣幕で、他のボランティアを怒鳴りつけた事。あり得ません(60歳代女性)
- 9:00集合から16:20まで、実際に座って休憩できたのは15分だけでした。さすがにしんどかったです。(50歳代女性)
- 須磨ブロックの須磨浦公園近くの給水や軽食の提供をしていた高校生だと思われる団体が気になった。往路が閉鎖した後に、残っていたバナナなどをランナーが復路に走ってきているのに、往路上で食べたり、持って帰ったりする姿に違和感を感じた。ランナーも気にしている様子だった。指導者がいたようだったので、残念だった。(50歳代 女性)
- 立ち時間が長く腰がだるかった。体力の無さを感じた(50歳代 女性)
- ボランティア同士での交流ができなかったから(50歳代 男性)
- 警備員との役割分担(連携)がイマイチだった。(60歳代 男性)
- 指揮系統が曖昧で行動に戸惑うことが多かった。リーダーが「わからない」を多発でイヤそうにしていた。(60歳代 男性)
- ボランティア同士は協力してできたことで満足しているけど、スタッフの説明がとても小さい声だったり準備不足だったり知識不足だったりで何度もみんなが聞き返したり、またボランティアのリーダーも全く存在感なく、適切な指示や説明もなく自ら動くこともなく、やはり上の人達はしっかりと知識を持ってまとめてほしいと思った。(60歳代 女性)
- 活動ブロックの地図がわかりづらく、他のブロックとの境界線をその場で交渉した。最終ランナー通過後、終了までの時間が長すぎる。収容バスの到着が遅れ、長時間棄権ランナーが放置された。体が冷える、悪天候の場合など対応が必要。ガードマンと区長の活動内容の理解の相違による混乱(60歳代 男性)
- 場所によっては、トイレの場所が、遠すぎる(垂水、一区)は、場所まで15分かかります、若いと、走ればいいが、高齢者ボランティアは、少し無理がありました、宜しく。(70歳代以上 男性)
- したことがない活動場所だったので、新たな見解が得られた。(50歳代 女性)
- リーダーのレベルが低い(自覚が足りない)(50歳代 男性)
- ボランティアの方やランナーのサポートは楽しかったのですが、自分の活動が終わったら往路部分で写真をとる時や集合のかけ声で大声を出して騒ぎ、食事をしたりしていたので、ランナーたちが凝視する状況でした。苦しい中走っているランナーへの配慮のなさが際立っていました。その場面が残念です。参加している以上は自分の担当が終わってもランナーのサポートとしての立場はわきまえたほうがいいのではないかと思います。(50歳代 女性)
- 運営さんの運び方が、ボランティアリーダーやメンバーの自主性や底上げの、少し妨げになっているように見えるから。(50歳代 女性)
- 当日欠席があり手が足りなかった。リーダーの説明がわかりにくかった。もう少しうまく誘導できる方法があったのではないと思うから。(50歳代 女性)
- 私自身も楽しむことが出来たので満足している。ただ、ボランティアリーダーからの指示がほとんど出されずボランティア同士が確認しながら準備を進めなければならなかったのは、リーダーがいる意味が感じられず残念だった。また沿道用のごみ袋が用意されていることを最後の片付けまで誰も知らされず、個人が偶然持っていたビニール袋にランナーのゴミを集めることになったのは、少々疑問に思った。しかし全体としては、ランナーと共に貴重な時間の共有というこの経験をさせていただき感謝している。(40歳代 女性)
- 新長田駅への横断ができないことが地域住民に十分に連絡がされていなかったのが、何度も渡れないことに対して納得されてなかったため。(50歳代 女性)
- 本部(黒ジャンパー)、メンバー全員はとてもいい方でしたが、青ジャンパーの方がダメでした。質問に的確に答えてもらえず、待たされることが多く、ボランティアの活動がスムーズに行えない場面が多かったからです。(50歳代 女性)

- 職員の方とのコミュニケーションが上手く取れない。(70歳代以上 男性)
- リーダーのサポート (60歳代 男性)
- 担当場所にて大きなトラブルがなかったのがよかったです。一方、ボランティアリーダーさんがほぼ指示を出さない方で、当班のメンバーはかなり戸惑いました。(50歳代 女性)
- 15, 16日も参加しました。Tシャツ配布と誘導でした。ほとんど立ちっぱなしで鍛えてなければ、無理だと思いません。(70歳代以上 男性)
- ボランティアとして、応援しにくく感じてしまった (60歳代 女性)
- 16区でボランティア活動をさせていただきましたがボランティアリーダーが急な仕事を理由に来られませんでした。それによって16区全員休憩が全く取れませんでした。8時20分から14時ごろの活動をほぼ皆さん休憩なしで活動しました。隣の区のリーダーに聞いてもわからない的な対応でした。リーダー不在で機能しなくなるなら副リーダー制度もご検討いただきたいです。今年は暑かったです但し拘束時間の長い地区をみんな休憩なくしました。リーダー不在時の対応はしっかりと考えて頂きたいです。(40歳代 男性)
- 垂水エリアの沿道だったがコースが狭くランナーと接触する恐れがあった (60歳代 男性)
- 事前説明、当日説明が不十分で状況がわからない。持ち場毎に昨年の状況や具体的な説明がほしかった。リーダーが前回は途中から今回もエリアにいない。スタッフも常にエリアにいないので困った。南エリアの混雑も知らず、トイレが空いていると案内されて長い列に並び直す人もいてだまされたと言ってました。混雑している時こそ、巡回しているスタッフが調整(人を応援させたり、誘導したり足りないものを確認)が必要だと思いますがそういうのもなかった。持ち場を離れられる配置人数がトイレの数と合っておらず、助け合いもないため団体参加と比べ負荷が大きい。前回も同様で同じ作業していても休憩とれる班、働き続ける班、早く終わる班、終わらない班があっても誰も調整しないのが不思議でした。運営側全体が進めるというより個々でやってるイメージしかない。配置については男性トイレに男性を配置するように班を組まれた方が利用者にも整備する側にも親切かと思います。あと健常者でない方への配置場所は考慮されないのでしょうか。前回も今回も感じました。対話が難しいのに誘導や案内に配置は不親切に思いました。トイレトーパーは重たいです。一番南から広場までの移動は大変でした。持ち場にいた時と片づけの時には人数が減っていました。トイレが他より数が多く配置人数も少なく1度ですむところ2往復しました。スタッフにもお願いしましたが対応いただけなかった。持ち場が違っても助けられないルールでしょうか。ボランティアとはこんなものかと残念に思います。袋も事前に備え付けてあれば清掃も効率よく対応出来たと思います。カード、ゴミ、トイレトーパーと3種類別に回収するならそれぞれの袋も準備するか持参するものにゴミ袋を入れて欲しかったです。事前準備の最終列のカードも設置もれしてしまし、トイレ番号の誤りもありました。女性専用トイレの確認が結構ありました。更衣室出口にでも案内図はるなど(貼ってたらすみません)、広場からもわかるように(道路側からしかみえない箇所あり)してあげたら親切に思いました。(50歳代 女性)
- リーダーさんの指示不足・リーダーシップの無さ。休憩の無さ。(40歳代 男性)
- 10時から終わりまで休憩時間が15分程だけトイレ時間も含めて。区長とリーダーの連携が取れて無いか配慮が無い。ランナーから励まされていた。休憩を言われた時足が固まっていた。私の隣のボランティアさんも足が固まっていると言っていました。(70歳代以上 男性)
- 集合の時、リーダーを探さないといけない。リーダーは並んでほしい。(50歳代 女性)
- 活動時間が長い割に休憩は短く、ただ立っているだけで仕事がありません。他のスポーツボランティアでは、交通費の代わりにQUOカードや、飲み物、お弁当の配布があるが、神戸マラソンは全くなく、魅力に欠ける (50歳代 女性)
- スタッフとの連携不足 (70歳代以上 男性)
- 事前に頂いた資料と現場での乖離が大きい。加えてトラブルになりやすい環境だった。(50歳代 男性)
- ①当日集合時間が9時と書いてあったが実際はもっと遅かった。②説明会の説明は解りにくく不十分だった。資料だけでなく、実際の現場で確認したかった。活動内容ごとに分かれて詳しく説明欲しかった。③リーダーさんが5が初めての事で可哀想だった。④5スタッフ(青ジャンパー)の〇〇さん(個人名)が酷かった。頼りないし、リーダーさんや他ボランティアにきつく当たっていて可哀想だった (50歳代 女性)
- リーダーの指示があいまいでわかりにくかった。他の別のボランティアグループからクレームがあった (60歳代 男性)
- 前日の案内をしたが、終盤に袋が足りなくなり、あたふたしていた。聞けば今年が初めてのミスではないとのこと。運営会社の反省が必要であり、満足していないにした。(50歳代 男性)
- 当日は何をするか明確に指示がもらえず、皆右往左往していた。さして作業もないのに。集合時間が活動時間よりだいぶ前に設定されており、かつ休憩もなかった。何より、指示系統をはっきりしていただきたいかった。(40歳代 女性)
- リーダーの資質によりモチベーションの低下 配置の不可解さ (50歳代 女性)
- ボランティアリーダーが冷たかった。場数を踏めばそういうものなのかと残念な気持ちになった。(10歳代 女性)
- 拘束時間が長い。事前説明がわかりにくい。不親切な印象 (50歳代 女性)
- 担当者?リーダー共に酷かった。(50歳代 女性)
- 担務を希望できるようにしてほしい(受付会場)。(60歳代 男性)
- 荷物返却は、予想していたよりも力仕事が多く、単調な作業であった。(10歳代 女性)
- 事前の説明会での説明と違うことが多々あった。(50歳代 男性)

- 当日ボランティア分ではありませんが、15日の参加賞（靴下）配布担当で、12:15から午後8時過ぎ迄の活動でした。私達ボランティアは、12:30? 17:00に休憩時間は30分を1回だけというシフト表をリーダーさんが作り、たぶん全員その通り30分間だけ1回の実施でした。このような休憩ではタイヘンだと思いました。イスに座って対応する方・立ったままで対応する方・・・もう少し回数を増やしてほしいです。そのリーダーさんには、私以外にも不満がありました。リーダーさんはタイヘンだと思いますが・・・14日の封入作業のボランティアの時のリーダーさんは、休憩時間のシフトを1時間に15分ずつをキチンととらせてくれました（4回? 5回くらい）。などでした。（70歳代以上 女性）
- 今回の手荷物荷下ろしからのエリア誘導は個人のボランティアの人数も少なく高齢の方も多く交替時間も十分とれず、体力的に大変でした。担当者からの集合時間が遅れ、指示も十分な時間もとらなくて、ほとんど説明もおろされることなくスタートされた。そのため個人ボランティアの方々に十分な指示をする時間もほとんどできないままだったので常に不安な状態のボランティアになりました。（60歳代 女性）
- 集合時間（8時30分）までに到着したのに（8時20分頃）、来られたから既に配置場所とかを説明していた。参加の名前も告げたのに参加者名簿もなく、出欠の確認もされなかった。本来なら、集合時間時に参加者の出欠状況を名簿で確認し、それから当日の活動状況を配置を含めて説明するのが筋だと思えます。（70歳代以上 男性）

団体ボランティア（高校）

○満足群

- 天気に恵まれた。ランナーの方に大体はありがとうと言われた。（50歳代 女性）
- マラソンを普段見る機会がないので新鮮で面白かった（10歳代 男性）
- 初参加でしたが、想像以上に楽しかった（30歳代 男性）
- ランナーの皆さんの感謝が伝わってきたから（10歳代 男性）
- あれほどスケールの大きいイベントを体験できたことは有意義であった。（30歳代 男性）
- 色んな人と協力してとてもいい経験になったと感じたから。（10歳代 女性）
- 大きなイベントに関わったことやランナーの方の助けになれたことで達成感を得られたため。さらに、部活動の生徒たちにもいい経験になったと感じた。ただ、本部スタッフ（黒ジャンパー）や競技役員（オレンジジャンパー）の方の指示がほとんどなく、ボランティアリーダーとして判断が難しかった部分もあった。（40歳代 男性）
- 最初に予定していた人数よりも当日の部活動の試合や体調不良等で人数がすくなくなりました。それによって作業がかなり忙しかった。（40歳代 男性）

●不満足群

- 効率が悪かったから（10歳代 女性）
- ボランティア団体への指示系統が確立されていない様子で現場判断が多かった。また、ブースの数に対してボランティア人数が少なく、業務に支障が出ていた。（40歳代 男性）
- トイレ担当だったが、屋外トイレが一時的に混雑する場面があった。その時、「屋外トイレ混雑中、屋内へ」というラミネートした紙があるとランナーも声出しするボランティアもありがたいと感じた。空いている場合、屋外トイレは5つしかなく、案内をしても一気に混雑する場面があるので、その必要はない。また、屋外トイレが使用中かどうかわかりづらいので、「使用後は扉を開けたままお願いします」の用紙が必要だと思う。（40歳代 女性）
- ワールド記念ホールでの荷物積み下ろしと整理が非常に大変。毎年行われているのに、ボランティアだけに作業が任されていて、非常に作業効率が悪い。リーダー的な人がいて、全体に指示が出るともっと効率よく進むと思う。（50歳代 女性）

団体ボランティア（大学）

○満足群

- とても楽しかったため（20歳代 女性）
- トラブルなどなかったから（10歳代 女性）
- 顔も名前も知らない大人の方々と声だけでなく目を合わせてハイタッチをするなどして繋がることができたことに喜びを感じた。また、初めは関わり方に不安と緊張があり難しいと思ったが、応援したいという気持ちが自然と自分なりの人とのコミュニケーションを作り上げていたことに驚き、おもしろいと感じた。（20歳代 女性）
- 仕事の説明が的確で非常にやりやすかった（10歳代 女性）
- グループで同様の場所で活動できた。（70歳代以上 女性）
- ボランティアをしていてランナーからもありがとうや頑張ってるの声を聞いて実際にボランティアをしてよかったと思ったから（20歳代 男性）
- 団体の人とのコミュニケーションの場の一つとなり満足している。（20歳代 回答しない）

●不満足群

回答なし

団体ボランティア（一般）

○満足群

・楽しさ、達成感、満足感

- 非日常の経験が出来た。(60歳代 女性)
- 楽しかった(50歳代 女性)
- 楽しむことができた(60歳代 回答しない)
- 頑張っているランナーの役に立ててとても満足感がありました(50歳代 男性)

・交流、ランナーとの接点

- グループで協力して活動する事ができた(50歳代 女性)
- マラソン走者とボランティアの人ふれあいが楽しい。(70歳代以上 男性)
- ランナーから勇気と元気をもらえる。(60歳代 男性)
- 参加ランナーの気持ちに寄り添えた。(70歳代以上 女性)
- ランナーからお礼を言われると、少しでも役に立ててるのかと思えるから(60歳代 男性)
- 少しでも役にたてたという実感を得たので(40歳代 男性)
- スタッフの皆さんに良くして貰ったし 私自身ランナーなのでボランティアをしてくださる皆さへの有難さが良くわかった(60歳代 女性)
- ランナーへの応援ができたことと大会参加してる時のボランティアの方の大変さがわかり良かったです。(50歳代 女性)
- ランナーにありがとう、と言われたから(50歳代 女性)
- 仲間と一緒に愉しく活動出来た為。(70歳代以上 男性)
- ランナーから感謝の声がある(50歳代 女性)
- ランナーの方の頑張りに自分が勇気もらったこと。ランナーの方たちの姿に感動。(60歳代 女性)
- チーム丸団結となって活動できた。(40歳代 男性)
- 頑張ってるランナー達を応援できるから(50歳代 女性)
- ランナーの力走に共感できる(50歳代 男性)
- 人の役に立ったと感じた(70歳代以上 男性)
- 十分なスタッフ数があり、個々の負担が少ない(30歳代 男性)
- 参加者への応援含め、イベントを盛り上げる事への一端を担えたと感じたため。(30歳代 男性)
- 活動・応援を通じて一緒に盛り上がった(70歳代以上 男性)
- 市民応援者と一体となって活動出来る。(70歳代以上 男性)
- ほかのボランティアの人達と交流したい。(60歳代 男性)
- 団体ボランティアで、荷物返却し返却時のありがとうの言葉でやって良かったと思いました。(50歳代 男性)
- ランナーの皆さんに声をかけたり手を振ったりすることだけでも応援になり、皆さん笑顔で応えてくれることが分かった。(60歳代 女性)

・経験

- 疲れたが新しい経験ができた(60歳代 女性)
- 初めて間近でマラソンを見ることができて新鮮であった(20歳代 女性)
- 神戸マラソンに参加出来たと実感出来た(50歳代 男性)
- 参加させていただくことは色々な面で良い経験だが、会社としては負担(交通費等の支給や準備業務)のある中でどこまで継続できるかは未定。(40歳代 女性)

・貢献

- 人の役に立てた(60歳代 男性)
- 社会貢献出来た(40歳代 男性)
- 神戸市の一市民として、神戸市のイベントにいくらかでも貢献できた(自己満足?)。(50歳代 男性)
- 自分の活動によって、ランナーの安全が確保されていると感じたため。(40歳代 男性)
- 社会貢献が出来たという満足感(70歳代以上 男性)
- 一定の役割を果たすことができた。(60歳代 男性)
- 今回も無事に役目を果たすことができて、ホッとしております。(40歳代 男性)
- 今回はスタッフの方々とスムーズに1日を終えることができました。(50歳代 女性)
- 役に立てたと感じるから(60歳代 男性)
- イベントに参加できたという実感(60歳代 男性)

・運営、業務内容

- 予定時刻より早く終わったため。(30歳代 男性)
- 水を与えるとありがとうといわれるから(40歳代 男性)
- 活動内容がわかりやすかったから(30歳代 女性)
- 誘導の流れを経験できた事と大会の空気を感じれた事は良かった。(40歳代 男性)
- ボランティア16人グループのリーダーだったがトラブルも無く終わったので。(70歳代以上 男性)
- 短時間でのボランティア活動(60歳代 男性)

- 無事に終わって良かったです (40 歳代 女性)
- 天候も含め、特に大きなトラブルがなかったこと (60 歳代 女性)
- トイレが近くにあれば 腰掛けられて休憩できる場所があれば 非常に満足 (60 歳代 男性)
- トラブルなく終了できたこと (60 歳代 男性)
- 特にランナー及びボランティア間で問題がなく活動できた (70 歳代以上 男性)
- 多くの人の参加を体感できた。(70 歳代以上 女性)
- 依頼を受けて人選したメンバーが揃って参加してくれた事かな (70 歳代以上 男性)
- 一日、何事もなく、無事に終わったから (60 歳代 男性)
- トラブルなく終えられたこと (60 歳代 男性)
- 時間どおりに集合して、活動できて、無事に帰れる。これが満足。(50 歳代 男性)
- 無事に成功した。(50 歳代 男性)
- 配置場所も良く、スムーズだった。(50 歳代 女性)
- テキパキと給水の仕事を完遂できた。(60 歳代 男性)
- 人を案内、誘導することでの達成感 (60 歳代 男性)
- 日常、いくつかのボランティア団体に所属して、定期的に活動していますが、今回の活動では更にスキルアップが出来ました。個人的には、スポーツボランティアに非常に関心をもっていますので、今後も多方面で参加したいと思います。(60 歳代 女性)
- コースの沿道整理のボランティアという名目ですが、ランナーさんを応援するのがメインでした。走行中のランナーさんも応援に応じて一緒に頑張っている気持ちになりました。前日ランナー受付したランナーさんが私に気づいて合図してくれた時は感動してしまいました！ (50 歳代 女性)
- 午前中に終わったため。(70 歳代以上 男性)
- 毎年同じ所なので慣れてる (60 歳代 男性)
- 特に問題なく責務を終了できた (70 歳代以上 男性)

・その他

- 神戸の、大きなイベントの一助になれた嬉しさ。(70 歳代以上 男性)
- 雨も持ちこたえ、大きな問題もなく終える事が出来たため。(50 歳代 女性)
- 沿道からの声援 (60 歳代 女性)
- 誘導の流れを経験できた事と大会の空気を感じれた事は良かった。(40 歳代 男性)
- 短時間でのボランティア活動 (60 歳代 男性)
- 今回は今までよりも時間がかかりすぎたかな?? (60 歳代 女性)
- 今年は、気温が高く、ボランティアジャンパーの中が汗だくになってしまいました。何か対策を考えて頂けると良かったです (60 歳代 女性)
- 大きなイベントに参加することができ、頑張っている方々をサポート出来たことは良かったです。(50 歳代 女性)
- 無償 (60 歳代 女性)
- 特段のトラブルが無かったため。(60 歳代 男性)
- 大きなトラブルはなかった (50 歳代 男性)
- 死者がでなかった。重篤な患者がでなかったから (40 歳代 回答しない)
- トラブル無く終わる事が出来た。(60 歳代 男性)
- 天気が良かった。(60 歳代 男性)
- 案内を比較的スムーズに行えた。少し曖昧な案内もあった (60 歳代 男性)

●不満足群

- 本来の役割以外の用務をさせられた。あまりにもボランティアをこき使いすぎ。(60 歳代 男性)
- 説明会の説明不足と実務との違いが大きい (60 歳代 女性)
- 5で活動しました。そこの大会スタッフの女性がかかなり勉強不足で頼りなかった。(50 歳代 女性)
- 区長、集合時間遅刻に始まり、指示が全て曖昧。特にコーン撤収の際「ボランティアで1箇所を集めて在庫確認してください」と指示されたが、警備員に制止され「帰ってください」と言われた。連携が全く来ていないと感じた。来年からの参考にまでに。コーンの位置は予め沿道に目印(チョークなどで)つけてほしい。多数配置の場合、資料地図だけではわかりにくい。改善が必要。(60 歳代 女性)
- 神戸マラソン自体にはとても満足しています。しかしながら、事前に連絡の無かったランナー手荷物仕分けを当日言われた上、「ボランティアだからするのは当然」という態度をスタッフが取った事が許せないです。(50 歳代 男性)
- 大会役員のカードを首から掛けている人が役に立っていなかった。(70 歳代以上 男性)
- ボランティアと警備員の役割分担がよくわからなかった。(30 歳代 男性)
- 昼食休憩時間が、少ない (60 歳代 女性)
- メンバーの集合時間の遅刻、スタッフウェアを脱いで活動しているメンバーがチーム内から数名出してしまった。ルール厳守とは言ってましたが自身の力不足です。(50 歳代 男性)
- 参加が今回初めてであった事もあり、どの程度の活動をすればいいのか、これで役に立っているのか戸惑うことがあり、他人の見よう見まねであった。(60 歳代 男性)

- 移動の交通費。選手が走っている間何もすることが無い。(70歳代以上 女性)
- 体力的な問題(60歳代 女性)
- ボランティアの数が多し。(40歳代 男性)
- 毎回同じ場所なので、別の活動にも興味ある(50歳代 女性)

オフィシャルスポンサー

○満足群

・楽しさ、充実感

- 楽しくできた。(50歳代 男性)
- 楽しかった(40歳代 女性)
- 楽しかった(40歳代 男性)
- 単純に大きなイベントでボランティアとして参加できた気持ちよさ(40歳代 男性)

・交流、協力

- ボランティアのウェアの色で識別してもらえるのかランナーにボランティアありがとうございますと感謝の言葉を言ってもらえることが意外と多い。(50歳代 女性)
- ボランティア同士の声の掛け合い、ランナーからも優しい言葉を掛けて貰い、心の栄養を頂きました(50歳代 女性)
- ボランティアリーダーの方が大変良くして頂いてチームの皆さんも良い方ばかりで楽しく過ごせました。(70歳代以上 女性)

・貢献、役割

- 大会を支えることに携われたことは、良いことしたなと思うから(50歳代 男性)
- 職場の行事の一環として、役目は果たしたと思う(50歳代 女性)
- プラス面 ランナーの方々に喜んでもらった実感あり。マイナス面 気温が暑くて、水な供給が間に合わなくて足りない場面があった。(50歳代 女性)
- 達成感があるため(40歳代 男性)

・運営、業務内容、スタッフ

- フィニッシャータオルかけのボランティアでしたが、ランナーの方々のやり切った感や「ありがとう」というお礼の言葉に胸が熱くなりました(50歳代 男性)
- 例年の給水位置が若干変更になり、予想以上に忙しく、充実感があつた為。(40歳代 男性)
- 活動(フィニッシャータオル)自体には充足感がありよかったが、1班2班のタオルの割り振りが不適當だったり、片付けの時に待ち時間が発生したりしたところを改善してほしい。(40歳代 男性)

・その他

- 昼間が暑かったので、服装を失敗したのが反省点です。(50歳代 女性)

●不満足群

- ボランティアリーダー集合時、活動時、活動終了時に区長や本部スタッフとの顔合わせや引き続きや活動指示が一切ない。②それぞれの担当(警備員、トラック)の調整不足や認識不足の多さ。③カゴ代車への説明。④競技役員(オレンジ)が皆5で「給水所の総括」からの指示系統は一切ない。⑤特にすることも無いのに集合時間の早さ。⑥ゴミ箱に使用する段ボールの少なさ。(30歳代 男性)
- 拘束時間が長すぎる(60歳代 男性)

8. 自由記述

【再参加意図の理由】

団体ボランティア(個人)

○参加したい

・楽しさ、充実感

- 今回のボランティアにとっても満足したから。(10歳代 女性)
- とても楽しかったから。(10歳代 女性)
- 今年楽しかったから(20歳代 男性)
- 大変だったけど楽しかった(50歳代 女性)
- ボランティア活動から得られる達成感をまた味わいたいから(50歳代 女性)
- 大変なことも多かったけど、やりがいを感じたから。(20歳代 女性)
- 楽しかったからです。(30歳代 男性)
- 楽しかったから。次は給食給水のボランティアがしたい(50歳代 女性)

- 新しいコースになり楽しみだから (50 歳代 女性)
- 新しいコースで、積極的にサポート出来ることを楽しみにしています。 (50 歳代 女性)
- 今回、楽しかったから。 (30 歳代 女性)
- 今年はいい経験でした (30 歳代 女性)
- 今回参加してよかったと思ったので、都合が合えば是非参加したい。 (20 歳代 女性)
- 楽しかったし、メンバーにも満足感が感じられたから (60 歳代 男性)
- 楽しい (70 歳代以上 男性)
- 楽しかった (70 歳代以上 女性)
- 楽しく参加出来ました (60 歳代 男性)
- 身体は疲れたが、楽しかった (40 歳代 女性)
- この一大イベントに携われた満足感が得られた。 (40 歳代 男性)
- 楽しかったです。 (40 歳代 女性)
- ずっと神戸マラソンを楽しみながらサポートしたいと思います (50 歳代 女性)
- 疲れはしましたが、最終的にはよい思い出となったため (50 歳代 女性)
- とても有意義だったから (50 歳代 女性)
- 良い体験をした為です。 (60 歳代 男性)
- イベントを楽しみたい。 (60 歳代 男性)
- ボランティア、スタッフ、選手、一人ひとりの行動にとっても感動したから (60 歳代 女性)
- グループの中に自由に発言する方がいたものの、ランナーとのふれあいによって得た満足感が大きかった。担当した場所の見学応援者はマナーも良かったので助かりました。 (60 歳代 女性)
- 感動を体感したい (60 歳代 男性)
- とても有意義な活動だったので来年もぜひさせていただきます！ (60 歳代 女性)

・交流

- 様々な方と交流できることが魅力的で活動が非常に楽しかったから (30 歳代 女性)
- 今回、一緒に活動した方が良い方ばかりだったため。 (40 歳代 女性)
- 私は 4 回目ですが初めての方とも仲良く活動ができて、また来年も来てくださいと声掛けすると笑顔でまた来ますと返事をもらえて、誰もが参加できるボランティア活動は素晴らしいです。 (60 歳代 男性)
- 友人と一緒に参加したいから (50 歳代 男性)
- やりがいを感じるし、ランナーさんとのふれあいが楽しい (50 歳代 男性)
- 1 番近くでランナーの方の力になりたい。 (50 歳代 男性)
- 元気を貰える感じがするから (50 歳代 女性)
- また今回と同じメンバーさんと一緒にできるならぜひ参加したい。 (50 歳代 女性)
- 人との交流 (50 歳代 女性)
- ランナーからも力をもらったり、感謝されたりする。 (50 歳代 女性)
- ボランティアの方々とも知り合いになれば、ランナーの方々との交流もとてもいい経験になったため (50 歳代 女性)
- ひとを応援出来るのが嬉しい (50 歳代 女性)
- とにかく楽しかったのと、今回の反省点を活かして、もっと質の高い活動をしたい (60 歳代 女性)
- 頑張る人を応援したいから。神戸マラソンを盛り上げたいから。 (60 歳代 女性)
- ランナーとの出会いが嬉しい (70 歳代以上 男性)
- ランナーの方への応援と他のボランティアとの関わり。 (60 歳代 女性)
- とても楽しく活動でき、ランナーの方々からたくさんパワーをもらうことができたので。 (60 歳代 女性)

・応援

- 活気あふれたランナーの姿を見るのが楽しかったし、元気をもらえたから (10 歳代 女性)
- ランナーを応援できることにやり甲斐を感じます。 (50 歳代 女性)
- ランナーさんとの心暖まるふれ合い (50 歳代 女性)
- もう少し変わって欲しい。その変化を見ていきたいし、自分なりに楽しみたい。いろんな人とのコミュニケーションを楽しみたい。 (50 歳代 女性)
- また応援したいと思った (50 歳代 女性)

・経験

- 今年の経験を生かして来年もやりたい (50 歳代 女性)
- 良い経験になるため (50 歳代 男性)
- 日常と違う経験をしたいから (60 歳代 女性)

・貢献、役割

- 人の役に立ちたい。 (50 歳代 男性)
- 地元開催の大会であり、地域貢献できればと思う。また今回参加してみて活動できるとわかったので、日程が許す範囲で参加したい。 (60 歳代 女性)

- 地域のスポーツイベントを盛り上げるのに貢献できる (50 歳代 女性)
- 社会貢献したいから。 (30 歳代 男性)
- 地域の役に立てて嬉しかった。人的ネットワークが広がった。 (20 歳代 女性)
- マラソン大会に貢献したいから (50 歳代 男性)
- 来年も、神戸マラソンの役に立ちたい! (50 歳代 女性)
- 地域、社会へ貢献したい (60 歳代 男性)
- 神戸市民として役に立ちたい (70 歳代以上 男性)
- 地域のボランティアは興味ある (60 歳代 女性)

・運営、業務内容、スタッフ関連

- もっとボランティアに慣れたいと思ったから。 (10 歳代 女性)
- 去年はあまり成果が得られなかったように思うが、慣れてきてだんだんやり方を理解し、自分で行動出来るようになったため。 (20 歳代 女性)
- 要領がある程度わかったので、今回は効率よく携わりたい。 (30 歳代 男性)
- 大会の運営に参加したい。 (70 歳代以上 男性)
- 今回もボランティアをちゃんとできたから (50 歳代 男性)
- 運営する側になってみて感じたことなどを次回に生かしたいです。 (50 歳代 女性)
- 新しくなる予定のコースに興味がある (70 歳代以上 男性)
- 毎年参加しており、新コースでの開催を見守りたい。 (70 歳代以上 男性)
- 今回とは違う活動をしたい (50 歳代 女性)
- 別のボランティアもしてみたいと思ったから。 (50 歳代 女性)
- スタート/ゴール周辺でのボランティアを希望する (50 歳代 男性)
- トイレ前の列の誘導と、参加者が信号がかわりいっせいに公園に入ってくる人の波が重なりゴチャゴチャした時もありましたが声を出し誘導する事で解決出来ました。今回の体験を次に繋げたいと思います。 (50 歳代 女性)
- お役に立てるならば時間と都合が合えば。休日なので、家の近所ならありがたい。 (50 歳代 女性)
- 経験をいかして次も同じ場所で参加したいです。 (50 歳代 女性)
- 息子が神戸にすみ始めて、神戸の街に恩返しをしたい (60 歳代 女性)
- 社会に貢献と自己満足と神戸が大好き (60 歳代 女性)
- 今年とは違う役割でランナーを支えたい。 (70 歳代以上 男性)

・マラソンやボランティア、神戸への愛着

- 地元の神戸で開催される大会だから。 (70 歳代以上 女性)
- 神戸マラソンのボランティアの魅力をもっと高めてよくしていきたい。 (60 歳代 男性)
- 神戸マラソンが成功してほしいから (60 歳代 男性)
- 神戸の街がとても魅力的だったから (40 歳代 女性)
- 走る意味を教えてくれたのが神戸マラソンです。沿道から「ありがとう!」と声援を頂けるのは神戸マラソンだけです。お年寄りの方から「代わりに走ってくれてありがとう」「走る勇気見せてくれてありがとう」と言ってくれた事があります。涙がとまりませんでした、こんな遅いランナーなのにそんな言葉を言ってくれてくれるなんて、こんな自分でも走る意味があるんや! って思わせてくださったのが今も走っている大きな理由です。ランナーとして当選したらランナーでの参加をさせていただきますが、落選したらボランティアに参加します。どんなかたちでも良いから神戸マラソンには参加したいです。ほんとに大切な大会だからです。 (50 歳代 男性)
- 他のマラソン大会にエントリーしています。そのため、年に一度はマラソンのボランティアとして恩返ししようと思っています。神戸マラソンは大好きな自分の街を多くの人に知ってもらいたい機会なので、ぜひ、ボランティアとして参加したいです。 (50 歳代 女性)

・その他

- 帽子やウエアなどももらえてやりがいがあるから。 (40 歳代 男性)
- ボランティアとしてもマラソンに参加したいので。(今回ランナーとしてのエントリーは落選) (40 歳代 男性)
- ランナーに外れたらやります。 (40 歳代 男性)
- ランナーとして参加しない場合は神戸マラソンのために裏方として関わりたい (50 歳代 男性)
- 1年に1度の夫婦での参加の恒例の行事にしていきたい。 (40 歳代 女性)
- 私がランナーから元気をいただくから。 (40 歳代 女性)
- 第一回目からボランティア参加 (50 歳代 男性)
- 違ったボランティアも経験したい (50 歳代 男性)
- 今回もランナー兼ボランティアをしたが、貢献したい。 (50 歳代 男性)
- また選手の応援し神戸マラソンを盛り上げたい。 (50 歳代 男性)
- 応援する側もされる側もエネルギーをもらえて自分にとって非常に有意義な活動だった (50 歳代 男性)
- ランナーでもありますので、当たれば走るかと… (50 歳代 男性)
- 過去にランナーとして数回参加したので、恩返しのつもりで数年はボランティアとして参加したい (50 歳代 男性)
- 半日だけが楽しかったから。 (50 歳代 女性)

- 私自身は走れないのでランナーの方々が無事完走できるようにお手伝いが出来ればと思います (50 歳代 女性)
- ほぼ皆勤で参加していますが、説明会からマニュアルから毎年改善、ステップアップしてる状況が分かること。また感謝と友情のテーマ通りの神戸マラソンは、スタート時のセレモニーも黙祷からしあわせ運べるように、ひまわりと、毎年このシーンが特に心にしみみます。神戸という名の兵庫マラソン！沿道の方もマナーがいいので安心してボランティア活動もでき応援しながらランナーさんからの笑顔をつぶりいただける、本当にいつも楽しみにしてる日です。スタッフの皆さん、いつもありがとうございます。また来年も楽しみにしています??? (50 歳代 女性)
- 予定が合えば参加したい (50 歳代 女性)
- もともとランナーだが怪我リスクで長い距離は走れない。せめてボランティアで神戸マラソンを支えたい気持ち (50 歳代 女性)
- 今回得られた課題を次回に対応して、よりランナーFIRSTの活動を目指したい (60 歳代 男性)
- 出来なくなる時間が迫っている (60 歳代 男性)
- 今回の反省を活かしたい (60 歳代 男性)
- 何となくやりがいを感じる (60 歳代 男性)
- 走るかボランティアかどちらかで参加したい (60 歳代 男性)
- もともとこれまで 10 回このマラソンを走ってきたので、その恩返しのためです。ただ、走る方に当選したならそちらを優先します。 (60 歳代 男性)
- いろいろチャレンジしたいから (60 歳代 男性)
- ランナーの為に出来ることをしたい。 (60 歳代 男性)
- 良い神戸マラソンになることを「縁の下の力持ち」的な立場で協力できたらと、思います。 (60 歳代 男性)
- スケジュールが合えば参加したい (60 歳代 男性)
- 断る理由が無い (60 歳代 男性)
- 1 回目から参加しているので体力が続くうちはやりたいです (60 歳代 女性)
- ランナーとしては一旦卒業したが、関わっていたい (60 歳代 女性)
- 職場が、神戸市だが、上司が、休日を受け入れてくれたら参加予定 (60 歳代 女性)
- 神戸が好きだから (60 歳代 女性)
- ランナーのパワーを直に感じ自分のエネルギーにして行きたい。 (60 歳代 女性)
- 落選によりランナーとして神戸マラソンに参加出来なくても、ボランティアとして参加する事で大会を応援したいからです。 (60 歳代 女性)
- 私も以前ランナーだったので恩返しをしたい。快晴の中 無事に終える事が出来て満足しています。 (70 歳代以上 男性)
- 前回同様 (70 歳代以上 男性)
- 毎年参加しているから (70 歳代以上 男性)
- 本来はランナーとして参加したいが体力的にむりなため何らかの形で関わっていききたい。 (70 歳代以上 男性)
- 以前ランナーとしてお世話になった恩返しが少しでもできれば (70 歳代以上 男性)
- お手伝いが好きだから、走る姿を、じかでみるのがだいすき。 (70 歳代以上 男性)
- 自宅付近以外で少し自分の啓発が出来ればと思います。 (70 歳代以上 男性)
- 次週にもボランティアの誘いがあるので、2 日間立ちっぱなしでは無理なので、半日とかにして来年は参加したい。 (70 歳代以上 男性)
- 神戸マラソンに何らかの形で参加したい (70 歳代以上 男性)
- ランナーを応援したい (70 歳代以上 女性)
- 私自身神戸マラソン第一回大会に参加出来ました。偶然にも新聞に載り以来地域の元気者として知られ、健康に気をつけてその喜びを持ち続けています。 (70 歳代以上 女性)
- 出来るだけ毎年ボランティアに参加したいと思っています。 (70 歳代以上 女性)

●参加したくない

- ランナーに感謝してもらい、満足したので、1 度でよいと思ったから。 (10 歳代 女性)
- 十分だと思ったから。 (20 歳代 男性)
- ランナーとして参加するほうが有意義だと感じました。 (40 歳代 男性)
- ランナーとして参加したいので (40 歳代 男性)
- 単に労働を提供してるだけにおもえた。参加した経験として、プラスになったことがほとんどなかった。ボランティアの、ランナーに対する言葉遣いで気になるものもあったりした。ランナーが着替える場所があるのに、駐車場や、荷物置きエリアで着替えるのが気になった。 (50 歳代 女性)
- もういい。 (50 歳代 女性)
- ランナーとしてはいつかチャレンジしたいけど、ボランティアに対しては、残念な気持ち。もう少し手厚くすべきだとも思う。 (50 歳代 女性)
- ボランティアをもっと大切に。水分補給提供したら。雨対策も。沿線ボランティアさんにカップを。 (70 歳代以上 男性)

△わからない

- ・ 予定、日程、事情

- 11月はレジャーシーズンなので都合がつかない可能性もある(40歳代 女性)
- 予定が不明なため。(10歳代 女性)
- 日程的な理由。(50歳代 男性)
- 来年の予定がまだ不明なので。(50歳代 女性)
- 来年の予定が未定(60歳代 男性)
- あまりにも忙しく、ハードだったので(50歳代 女性)

・運営、業務内容、スタッフ

- もっと一体感ある現場を想像していたがそうではなかった。(10歳代 女性)
- きちんと指示がもらえるならやりたいと思う。あと希望の作業を聞いてもらえたらもっと良い。(40歳代 女性)
- 受付会場の担当があまり芳しくなかったから。(60歳代 男性)
- 担当エリアが駅から遠くて行き着くまでもかなり歩いた上に、トイレの場所も遠くて、休憩時間がトイレの往復だけで終わってしまい、ずっと立ちっぱなしで座って休憩ができず、想像していたよりも疲れてしまった。(60歳代 女性)

・別の役割

- 来年はランナーとしてエントリーする予定です。外れたらボランティアとして役に立てたらいいなと思っています。(20歳代 女性)
- ランナー参加を検討している(60歳代 男性)
- もしかしたらランナーになるかも。(60歳代 女性)
- ほかのボランティアとも思う(60歳代 女性)
- マラソンに参加するかもしれないので。(60歳代 女性)
- ランナー当選しなければボランティアさんかします(40歳代 男性)
- 次はランナーとして参加を考えている(40歳代 男性)
- ランナーとして出場したかったり、ボランティアという形以外でも応援をしたいから。(40歳代 男性)
- 次回はランナーとして参加したい気持ちもあるので(40歳代 女性)
- ランナーとして走りたいから(40歳代 女性)
- 来年は走る方に挑戦したいと思い始めているため。(40歳代 女性)
- 友人、知人がランナーとして参加する場合は、大会をお手伝いしたいという気持ちが湧くと思います。(40歳代 女性)
- できればランナーで参加したいが、叶わなかった場合はボランティアで参加したい。(40歳代 回答しない)
- ランナーとしてを優先するから(50歳代 男性)
- 今度は、マラソンを走ってみたい。(50歳代 女性)
- 新しいコースも気になるのでランナーとして参加するかもしれないから。(50歳代 女性)
- ランナーとして参加する予定(50歳代 女性)
- 可能性は低いですが、できればランナーとして参加してみたい(70歳代以上 男性)

・その他

- やはり自宅からの距離(50歳代 男性)
- 走りたいから(50歳代 男性)
- 達成感があるから。一度きりと思って参加した(20歳代 女性)
- 友達がボランティア以外で一緒に応援したいとの事です(60歳代 女性)
- 体力や気力によると思う(50歳代 女性)
- 個人参加ではみんなで成功させようという方向が感じられない。個人ボランティアは、人としてみていないように思う。何かあったら報告をというだけで具体的に動きがない、無料奉仕で運営側の手伝いに来ている人への対応でない。困っていても助け合いがない、前は力仕事(他の班は男性がしている)、台車で荷物を運ぶなど女性2人(高齢)にスタッフから指示されましたが動かさなくても知らない顔です。今回も配置人数の不一致があり、休憩している人がいるのでスタッフにも声がけしましたがお互いの助け合いもなく、スタッフも団欒していてボランティアの趣旨から離れているイベントに感じ、価値がなく思う。(50歳代 女性)
- 問8-1で答えたような事例があったから(50歳代 女性)
- もっと改善されれば参加を考える(50歳代 女性)
- 改善の余地が多々ある。(50歳代 女性)
- 今回のアンケートから、吸い上げた意見について改善してほしい。(50歳代 女性)

団体ボランティア(高校)

○参加したい

- とてもいい機会だったし楽しめたから。(10歳代 女性)
- また新たな発見がしたい。(30歳代 男性)
- 自分自身の成長にもつながるし、指導する部活動の生徒の経験や成長にもつながると感じたから。(40歳代 男性)
- 生徒が参加したいと思うので。マクドナルドのドリンクカードは嬉しかったようです。(40歳代 女性)

- 長年、3団体で携わらせて頂いており、生徒からも人気があるから。(50歳代 女性)

●参加したくない

- 疲れるから(10歳代 女性)

△わからない

- 就職しているため(10歳代 男性)
- 家が遠いから(10歳代 男性)
- 職場や環境でどうなるか分からない(30歳代 男性)
- 来年度、団体としてボランティア人数が集まるか不明だから。(40歳代 男性)
- 神戸マラソンボランティアに参加できる部署、3にいるかどうか分からないため(50歳代 女性)

団体ボランティア(大学)

○参加したい

- 楽しかった。(10歳代 女性)
- やりがいがあったから。(20歳代 男性)
- 笑顔の絶えない時間をたくさん過ごすことができたから。(20歳代 女性)
- 今回やりがいを感じたから(20歳代 女性)

●参加したくない

回答なし

△わからない

- 参加する理由が見つかったら参加する予定(10歳代 女性)
- 来年は大学を卒業し、無事内定をもらえたら就職しているため、就職先の企業によっては参加できるかどうか変わってくるため。(20歳代 女性)
- 来年度の忙しさによります。(20歳代 回答しない)
- リーダーの負担が大きい。(70歳代以上 女性)

団体ボランティア(一般)

○参加したい

・楽しさ、充実感

- 今回のボランティアが楽しかったため(20歳代 女性)
- 初参加だったが、非常に楽しく参加できたため。(30歳代 男性)
- 活動することが楽しい。(40歳代 男性)
- 楽しい。(50歳代 女性)
- 楽しいから(50歳代 女性)
- 楽しかったから(50歳代 女性)
- 想像以上に楽しかったので(50歳代 回答しない)
- けっこう楽しかった。(60歳代 男性)
- やり甲斐を感じた(60歳代 女性)
- 楽しく充実した時間、体験を持てたから。(60歳代 女性)
- 毎回参加させてもらってますがランナーさん達のありがとうって言う言葉が気持ち良く応援してて良かったと思います(60歳代 女性)
- イベントに参加できたという実感を得られるから(60歳代 男性)
- エネルギーをもらいたいから(60歳代 女性)
- 毎年楽しみにしているイベントの一つなので(60歳代 女性)
- 充実感がある(60歳代 回答しない)
- 楽しかった(70歳代以上 男性)
- やりがいを感じる(70歳代以上 男性)
- 日常体験出来ない事が出来るから。(50歳代 男性)
- ランナーから元気がもらえる。(60歳代 男性)

・貢献、やりがい

- 微力ながら貢献したい(30歳代 男性)
- 微力ながらも力になりたい。(60歳代 女性)
- 人のお役にたてるため(50歳代 女性)
- 地域活性化になれば(40歳代 男性)
- 神戸市の役に立ちたい、地域貢献をしたいため。(40歳代 男性)
- 役に立てる(60歳代 男性)

- ボランティアとして貢献できる満足感 (60 歳代 男性)
- 自分の出来ることで、多少お役に立てる嬉しさ。(70 歳代以上 男性)
- 地域行事に貢献したい (70 歳代以上 男性)
- ボランティアとして社会貢献 (70 歳代以上 男性)
- 社会貢献の継続 (70 歳代以上 男性)
- 人の役に立つ活動がしたいから。(70 歳代以上 女性)

・所属団体との関係性

- 社内のインフォーマル活動として初回から参加させていただいており、来年以降も是非とも参加させていただきたく考えております。よろしくお願ひいたします。(40 歳代 男性)
- 仕事上参加しないといけないので (40 歳代 回答しない)
- 会社行事として活動している (60 歳代 男性)
- 所属団体 (ボーイスカウト) の地域貢献の一環として (60 歳代 男性)
- 今回は、団体登録で参加しましたが、来年は個人ボランティアでの参加で、違う活動場所を検討したいと思います。(60 歳代 女性)

・応援、励まし

- 自分は走ることができなくても、ランナーの方を少しでも応援できると嬉しいです。(50 歳代 女性)
- ランナーから勇気と元気をもらえる。(60 歳代 男性)
- ランナー応援を楽しめた。ランナーからもたくさんのお礼と元気をもらえた。(60 歳代 女性)
- 活動・応援を通じて一緒に盛り上がった (70 歳代以上 男性)
- ランナーの応援が楽しかった。応援する人のトラブルもなかった。(60 歳代 女性)
- 友人達との再会 (70 歳代以上 男性)

・その他

- 神戸が盛り上がるのは好きだから (40 歳代 男性)
- 神戸マラソンが継続して開催されてほしいので (40 歳代 男性)
- 同じエリアであれば (60 歳代 男性)
- 毎年参加したいです (50 歳代 男性)
- 神戸マラソンを盛り上げるため (50 歳代 男性)
- いつも通り参加することになると思う (50 歳代 男性)
- 自身がランナーで恩返ししたい (50 歳代 女性)
- 神戸マラソンがランニングの原点だったから (50 歳代 女性)
- 負担に思う事が無いので。(60 歳代 男性)
- 今回の経験をもとに、次回はもう少し積極的な活動が出来ればと思います。(60 歳代 男性)
- ボランティアがランナーのためになるので 神戸マラソンが継続されるため (60 歳代 男性)
- 例年参加しているため (60 歳代 男性)
- 神戸マラソンに関わりたいため (60 歳代 男性)
- 年中行事の一環になっているため。(70 歳代以上 男性)
- 体力的に元気なら参加したい。(70 歳代以上 男性)
- 神戸マラソンの成功に寄与出来るのであればご協力します (70 歳代以上 男性)
- ボランティアが苦ではない (70 歳代以上 男性)

●参加したくない

- ボランティアの数が多し。(40 歳代 男性)
- 先に記載した通り、「ボランティアだから事前についてない仕事もして当然」という態度をスタッフが取らなれば参加したいとは思いません。(50 歳代 男性)
- 本来の役割以外の用務が多すぎる。その説明もないし、スタッフはやるのは当然という態度が気に食わない。スタッフたちは、サラリーをもらってやっているはず。(60 歳代 男性)
- 体力の限界 (60 歳代 女性)

△わからない

・日程

- 予定が空いていれば参加したい (30 歳代 女性)
- その時の状況次第 (40 歳代 女性)
- 人手不足ならお手伝いさせてもらいたいと思います (40 歳代 女性)
- 当日の予定次第 (50 歳代 男性)

・役割変換

- 受験勉強があるため (10 歳代 女性)

- 職場が変わるので。(50 歳代 女性)
- 職場を離れるから(60 歳代 男性)
- 仕事などが入るかも。(50 歳代 男性)
- 仕事(50 歳代 男性)
- ランナーとして、神戸マラソンを走るかもしれないから。(30 歳代 男性)
- 毎回ランナーとしてエントリーしているから(30 歳代 男性)
- 来年は、ランナーとして参加したいので(60 歳代 女性)

・業務内容、スタッフ関連

- 今回のボランティア活動内容が煩雑で中途半端な活動貢献となった。信頼できる大会スタッフがいなかった。(50 歳代 女性)

・体力、年齢

- 何回もしているため次世代に譲る時期かと思っています(50 歳代 女性)
- 腰の持病があるため(60 歳代 男性)
- 年齢的な事もあり、どこまで参加出来るかは分からない(60 歳代 男性)
- 団体の年齢(60 歳代 女性)
- 高年齢での体力的問題(70 歳代以上 男性)
- 自分の体力の問題(70 歳代以上 女性)

・その他

- 依頼が来たら参加しないと人数足りない(60 歳代 男性)
- マラソン沿道沿いに住んでいるので家族や友達と毎年応援しています。それも楽しいしボランティアも充実してるしで迷います。(50 歳代 女性)
- 参加要請があれば考える(60 歳代 女性)
- 無償(60 歳代 女性)

オフィシャルスポンサー

○参加したい

- 楽しかったから(70 歳代以上 女性)
- 楽しかったので(40 歳代男性)
- 楽しい(50 歳代 男性)
- 8-1 で感じたことをできるだけ多くの人にシェアしたいので(50 歳代 男性)
- みなさんと一緒に活動するのが好きだから。ランナーに元気をもらえるから(50 歳代女性)
- 人が足りないと大変だと思うので、少しでもお役に立てればと思います。(50 歳代 女性)
- 毎年の恒例行事のため(40 歳代 男性)

●参加したくない

- 給水主任・競技役員が全く機能していないため(30 歳代 男性)
- 来年は新コースとなり、神戸マラソンに出場を目指す為(40 歳代 男性)

△わからない

- 拘束時間が長すぎる(60 歳代 男性)
- その他の予定との兼ね合い(40 歳代 男性)
- 天候にも左右する(40 歳代 女性)
- 日程調整が大変だから(50 歳代 男性)
- 立ちっぱなしがきつかった(50 歳代 女性)
- 私側の問題で、、、体力の低下で翌日くたくただったので来年の参加は迷っています。(50 歳代女性)
- ランナーでエントリーする可能性がある(50 歳代 女性)

8. 自由記述

【全体的な感想や意見】

団体ボランティア(個人)

・感謝、満足、今後への期待

- これまでのコースが最後となる今年、このコースを走るのも 8 回目となった父と一緒に走ることは叶いませんでしたが、ボランティアとして神戸マラソンに参加でき、嬉しく思います。(10 歳代 女性)
- ほかのボランティアさんとも協力しながら業務に取り組みたので良かったです。ありがとうございました。(20 歳代 男性)

- やりがいを感じる素晴らしいボランティアだなと思いました。(20歳代 女性)
- ランナーに向かって頑張れって言ったりして温かい声援をおくることが出来て良かったです。(30歳代 男性)
- 来年は明石まで延びるので、より地元への貢献に寄与したい。(40歳代 男性)
- 無事終わりましたね。お疲れさまでした。また来年も楽しみにしています！(40歳代 女性)
- 想像以上に体力が必要と思った。神戸マラソンが愛されている大会だということ強く感じて、誇りに思った。(40歳代 女性)
- 班のリーダーや、さらにその上のスタッフさんなど、皆さんの取り組む姿勢に学ぶものがありました。私たちの質問や問い合わせをしっかりと聞き、その内容を正しく把握して下さいましたし、すばやく正確に対応されていて素晴らしいと思いました。(40歳代 女性)
- 多くの人にこの楽しさを伝え、多くの人にも興味を持って参加してもらえようになりたい。(40歳代 女性)
- ボランティアリーダーが病欠となったため、もともと希望していたリーダーの役割をさせていただきました。ありがとうございました。(70歳代以上 男性)
- 初めて参加しましたが、とても良かった。これからも機会があれば参加したいです。(50歳代 男性)
- 皆さんお疲れ様でした。(50歳代 男性)
- 他のボランティアの方の奉仕心、熱心に感心した。(50歳代 男性)
- 楽しいひとときでした(50歳代 男性)
- ランナーにありがとうと言われて嬉しかった(50歳代 女性)
- 楽しかったです、ありがとうございました！(50歳代 女性)
- よい経験になりました。(50歳代 女性)
- 良い体験が出来たと思う(50歳代 女性)
- ランナーの方の中にも、ボランティア活動に参加されている方がいることに、驚きでした。来年度も健康第一で、参加させていただきたいと思います。(50歳代 女性)
- 今回は大変良いメンバーに恵まれました。良い雰囲気でしたと思います。ありがとうございました。(60歳代 男性)
- 初ボランティアでしたが、班長さんがとても細やかにアシストをしてくださって、スムーズに仕事が出来た。(50歳代 女性)
- 楽しかった(60歳代 男性)
- 楽しく参加出来ました(60歳代 男性)
- ボランティアもリーダーも安定していると感じる(60歳代 男性)
- ブロック内の希望区も選べたり、ボランティア内容も選んでみたい。(50歳代 女性)
- 来年度も宜しく願います(60歳代 男性)
- 次回も参加出来る事願っています。(60歳代 女性)
- 息子が足の故障で閉門にひっかかりそうになったとき、ボランティアの「諦めるな」の声に励まされた、ボランティアは偉大だと言ってました。一緒に活動したみなさんにお礼を言いたい。(60歳代 女性)
- とても有意義な1日でした。ありがとう(60歳代 女性)
- とても楽しく活動が出来ました。ウェアと帽子はここ数年変わっていないので次回もボランティアをする人は再利用したらいいのではないかと思います(60歳代 女性)
- 非常にいい経験をさせてもらえたと感謝。大会スタッフの皆様、お疲れ様でした！担当エリアも、自宅の近くとかもっと細かく希望させてもらえたら、更に参加したいと思うのですが(60歳代 女性)
- ボランティアリーダーと地区長さん次第で不安・不満無く活動出来る事を実感しました。また、ボランティアがクーポン券を頂けたのは初めてです。ささやかな事でもボランティアを大切にしてくれると感じる事が出来ました(60歳代 女性)
- 来年は、選手に参加賞配布の作業を経験したい(60歳代 女性)
- 担当区域のボランティアさんは皆協力的で気持ちよく活動できた。ウィンドブレーカーの素材がシャカシャカ音のしないものが良い。(70歳代以上 男性)

・運営、業務内容に関する感想や意見

- もしかすると、担当区のリーダーの方が既に報告されているかもしれませんが、私が担当した区では、歩道と車道を区切るはずのコーンを、警備員の方が結構多めに取って行かれて、その結果コーンが足りず、一部区間でボランティアが手でテープを持って区切ることになりました。そのため、次回からはコーンなど資材の量を見直すか、警備員の方が設置する分は別で資材を用意するなど、足りなくなることがないように調整をお願いしたいです。また、コーンが足りないというので対応を始めた時点で、かなり最初のランナーが近づいてきていたので、不測の事態があってももう少し余裕を持って対応できるように、資機材配置のための時間をもう少し長くすることも考えていただきたいです。もちろん、その分交通規制の時間が長くなるので、地域住民の方により迷惑がかかってしまうことが考えられますが、準備が完了しないままランナーが通過するのはリスクもあると思います。この2点以外については、特に問題もなく、順調に進められたのはよかったですと思います。(10歳代 男性)
- 用意された食品等が大量に残っていた。食品ロスや廃棄される配布物に心が痛んだ。(10歳代 女性)
- ポジションによって、大変さが変わることや、同じ作業を何時間もすることに飽きてしまった。(10歳代 女性)
- 給水・給食場所からゴミ箱までの距離が遠く、ボランティア中に何度もゴミ箱の場所を聞かれたり、ゴミ箱までの路上に捨てていいのか疑問に感じているランナーが多く見受けられたように思う。足に捨てられた紙コップが絡ま

り走りにくそうにしていたり、後片付けの時に濡れた紙コップの紙がなかなか道路から取ることができずとても汚くなっており、カラスもそのゴミに群がろうともしていた。ゴミ箱を給水場所からすぐ、5m先、10m先のようにいくつか作る。もしくは給水場所から10m先まで歩道に沿ってネットをJの字に設置し、どこでも捨てられるようにすればランナーも捨てやすくなる感じた。(10歳代 女性)

- トイレはそれぞれのドアの前に並ばせるのではなく、1列に並ばせるべきだと思いました。(20歳代 女性)
- 封入作業の時、指を舐めて紙をとっている人がいたのが不快だった。(20歳代 女性)
- 初めての参加で不安もありましたが、多様な年代の方々と協力してランナーをサポートする中で達成感を感じることができました。今回の活動では、予定の6割ほどのメンバーしか集まりませんでした。リーダーの声かけのもと、一人一人が大きな声でランナーをサポートすることができました。特に、信号から渡って来られる方とトイレの列が重なったり、男女兼用トイレを希望される方に空きが出た際、他の個室も一斉に開いた場合は案内の声が届きにくく、男性(小)トイレに並んでいた方が途中で割り込むなど、列の整理や順番案内に難しさを感じました。また、当日は自然と列ができた際にその流れに合わせて対応しましたが、臨機応変に動くことが多かったため全員で協力しスムーズに案内する重要性を感じる一方で、ボランティアがそれぞれ離れた場所で案内をしている中で、共通認識を持ちながら活動することの難しさも実感しました。今回は、限られたメンバーで声を出し合いランナーサポートをすることが出来ましたが、今後トイレの整列位置や信号から来られる方が荷物を預けるまでの動線を事前に決めておくことで、混乱を減らすことができると感じました。人の動線や列の整備方法について、過去の事例を事前に共有いただき、配列方法や動線に関する共通認識をメンバー間で持つことができれば、よりスムーズに対応できたと感じました。(20歳代 女性)
- 手荷物返却を担当したが、かなり体力を使う内容だった。ランナーだけでなくボランティアにも給水が欲しかった。(30歳代 男性)
- 日曜日にランナーサポートを担当しました。女子トイレは洋式を希望される方が多かったので増やしてもよいと思います。コーナーボックスは箱ごと捨てられるものにした方が衛生的だと思います。男子トイレは小使用は目隠しのようなものがあつた方がよいと思いました。男性で個室を希望される方に場所を質問されたので案内があつたほうがよいと思います。金曜日にゼッケンの受け渡しも担当しました。QRコードで読み込んだゼッケン番号が会場音声や音楽で聞き取りづらいと思いました。読み込んだ数字が受付の裏側でゼッケンを探す人から見やすい場所に表示されたいのと思いました。(30歳代 女性)
- 朝の受付が最初なく、どうしていいかわからなかった。何となく始まり何となく終わった。(40歳代 男性)
- 自主走路員でしたが、車道か歩道側にどちらかに立てば良いのか分かりづらかつたので、次回からはより詳しいマニュアルを要期待(40歳代 男性)
- 説明会、資料などがデジタル化されておらず遅れていると感じました。また帽子、ウェアもペラペラで以後使えません。捨てるクオリティなのであればもったいない、SGDeSではないと感じました。他のシティマラソンのように高価にできないのであれば、費用削減で帽子を無くしてもいいように感じました(40歳代 男性)
- 24区を担当したが、目的地までの地図がわかりにくかつた。他のボランティアさんも半分以上間違えて遅刻していました。(40歳代 男性)
- 運営の致命的なミスが目立ちました。袋がなかつたり荷物がなかつたり、誘導がイマイチだつたり…来年はきちんとしてほしいです。(40歳代 男性)
- ゴミ箱を絶対して欲しいです。バナナの皮を捨てるのに困ってました。ランナーの方がフィニッシュした時の、トイレ場所が少なかつた。(40歳代 女性)
- 15日のランナー受付にもボランティアとして参加しました。集合場所の受付スタッフの方の対応が良くなかつたです。私が名前を名乗り何処に整列すればよいかと尋ねたら忙しかつたのかも知れませんが自分で探してくれとややキレ気味でした。モヤモヤして残念な気持ちになりましたが反面教師にして頑張ろうと気を取り直しました。(40歳代 女性)
- 4回目のボランティアです。平磯付近で活動しましたが、応援する観客が少ない所なので、できるだけ多くの方に声かけしながら活動しました。私自身もランナーなのでコールドスプレーやゴミ袋など必要と思われるものを持参して参加したが、多くの方に喜んでもらえた。ジェルや塩あめの袋バンドエイドが道路にたくさん落ちていたので、世界一マナーの良い大会を目指すならボランティア自らゴミ袋を持ち、ランナーが道に捨てなくて済むよう回収するような仕組みを作っていくべきだと思います。また帽子とジャンパー、手袋は来年以降も再利用すれば経費削減に繋がると思う(40歳代 女性)
- トイレ誘導の班だつた。本来10名のチームだつたが当日4名が来ず、6人で全てを見ることになつたのが大変だつた。当日欠席が多かつた場合のリカバリがあればよいと思う。(40歳代 女性)
- 語学は日常会話レベルなのに、通訳のビブスをつけるのはおかしい。シールがあれば不要。場所を案内するための大きめの会場地図を準備してほしい。様々な問い合わせがある場所なので担当スタッフには経験者を置くべき。(40歳代 女性)
- 事前の説明会はリモートでも良いのでは？(帽子などの受け取りをどうするかという問題はあつたが)(40歳代 回答しない)
- 意見を書く前に一言。長文が書きづらい。改行出来るフォーマットを望みます。今回、初めて参加させて頂きました。そこで感じたことは以下の通り。A:ボランティアについて①団体ボランティアと個人ボランティアとの連携が希薄。本来ブロック長・副ブロック長が全体を纏めるのが主な役割のはずが出欠の点呼と記念撮影しかしていない。②加えて当日のボランティアリーダーは事前に頂いた資料とは違う方が担当、しかもスタッフウェアも着ずにキャップのみ。作業開始してからようやく着用するが名札シールは貼らないまま、代理なのかどうか説明もないまま

リーダーとなったとしても自覚がない。恐らくその方は団体ボランティアリーダーであると思われる、コミュニケーションは終始グループ内だけだった。また、そのグループ内に2名ほど(男性)ウェアを全く着用せずにいかにも関係者ズラでグループ仲間と談笑、傍から見れば不審者その者しか見えない。③コーンの設置についてもリーダーが要領が分かっておらず、結局こちらで設営業者の責任者に確認を取って進めた。作業量的には設置業者がほぼ全体の設置が終了していたので、あえてボランティア用にコーン設置作業を残す必要性があるのか疑問。B:33区でのランナーサポートエリアに問題点について ①観戦者エリアを区切っている、一般通行者や違う観戦エリアに移動する応援者がどうしてもサポートエリアを横切る為、救護やトイレ休憩を求めるランナーとの接触する危険性を孕んでいる。本来は通訳サポートとして参加していたが、居ても立っても居られず終始通行人のコントロールを行った。中には理解して頂けない通行人もいて文句を言われた。②簡易トイレの設置数が少ない。2台だけでは捌き切れないし、せめて4台に増やしその内1台を女性専用に戻すべきである。(50歳代 男性)

- 8-1記載の通り 問5は当日は不参加(50歳代 男性)
- 休憩時間がほとんどなく 適宜休憩してくださいと言われても、他の人が活動中は休めない。タイムスケジュールなど作って交代で休憩を入れて欲しい。昼食も食べれなかった。(50歳代 男性)
- グループで参加されているボランティアの方々がイニシアチブを取られるのはいいのですが個人参加されている方がやや置いてきぼりにされている感があるので初めての方には特に丁寧なサポートを期待します(50歳代 男性)
- 集合場所が明確でなかった。駅からどちら方向へ行くのか?休憩をリーダーが強制的に取らせる様にした方が良い。(50歳代 男性)
- できれば、参加案内パンフレットを送って欲しい。それか参加募集メールを送って欲しい(50歳代 男性)
- 休憩時間をとりにくいのは今後課題にはなるなと思います。(50歳代 男性)
- ボランティアのウェア再利用はしないのでしょうか?(50歳代 男性)
- 沿道のボランティアでしたが、手袋をするとランナーさんの応援で手をたたいても音がでないので、手袋は任意にした方が良くと思いました。(50歳代 男性)
- 天気予報は、自己確認・責任。思ったより暑かったですね。(50歳代 男性)
- 自分が走っていた時もそうでしたが、途中でゴミを捨てる所が給水所だけだったので、今回ゴミ袋を持って立っただけで2袋も貯まった。マナーアップを図るなら今後は沿道ボランティアの各地区に1人はゴミ袋を持ってもらってはいかがでしょう。(50歳代 男性)
- 警備員との進行内容の相違があった(50歳代 男性)
- 前年のボランティア経験者枠の神戸マラソンエントリーを検討して欲しい。(50歳代 男性)
- ボランティアに対して行動など事前注意がありますが、運営側は貴重な時間を無料で来ている人たちに気持ちよく働いてもらう配慮がされているのか。2名いるはずのリーダーがひとりいない、欠席が班内に3名出てもスタッフは3名欠席ですと報告だけで、補充をリーダーがお願いして1名追加されました。配置は運営側で決められているなら欠員が出たとき、ボランティアからお願いするのでなく事前に配置調整してあげてほしいと思いました。整列が終わっていてもトイレに並んでいる人、整列中に行きたくなって列を離れたら一番最後に回られる人、元に戻る人などもっとわかりやすくアナウンスしてあげたら親切なのだと思います。男性トイレに扉がない時は整備は男性にお願いしてほしいです。または目隠しなど配慮下さい。(50歳代 女性)
- 意見を書いても、あまり改善がないと聞いた。それなら、アンケートを取る必要がないように思う。封入作業の時、マクドの無料券が2種類あったが、枠の色が同じで、まちがえそうになった。枠の色を違う色にしていたら良かった。集合の時、メンバーはリーダーを探さないといけないので、リーダーを整然と途並ばせておいてほしい。(50歳代 女性)
- スタッフはもっと知識を入れてきて欲しい。②貴重品に限り警察を介して落とし主に連絡を入れることは出来ないのか? 落とし物をした人に連絡するのがだめなら理由を知りたい。③5センターの場所がわかりにくいと思う。一度、看板や場所を考えて欲しい(50歳代 女性)
- 担当者は5?何も出来ないやる気もない何の為に居るのか分からない。ボランティア同士が手探りで頑張るしか術がなかった。リーダーと言う年配の方も初めてなので何の役にも立たない。(50歳代 女性)
- 第4給水の5ボランティアさんたちも頑張っていたと思いますが、往路が終わってから片付けして終わった後に余った菓子やバナナを持ち帰って良いと言われたのかも知れませんが、往路の道路上で復路のランナーさんから丸見えの状態で大きな声で喋りながらバナナや菓子を食べていた。ランナーさんも視線がいつてるのがよく分かったくらいでした。指導者さんもいらっしゃった様ですが 印象はよくないと思います。緊急車両の音が聞こえても路上で写真取ったりもしていた。担当の活動中ウェアを着用していない人も多かった。(50歳代 女性)
- 警備員の方々とボランティアとの認識の違いがあるのでそれは無くして欲しい(50歳代 女性)
- 後半、足がつって動けなくなったランナーがあり、すぐ救護班が区長に連絡するよう解散前にオリエンテーションがあれば良かった(50歳代 女性)
- 手荷物の返却場にいましたが、荷物が少なくなってきたら、入り口あたりにまとめて返却してはどうか。疲れたランナーを、奥まで歩かせることはないと思います。(50歳代 女性)
- トイレの故障は無かったです。簡易トイレなので仕方ないですが水が流れにくい声を聞きました。(50歳代 女性)
- 沿道でランナーのゴミを回収する袋は、取替用を含めて、用意する枚数を増やしてはいかがでしょう。(50歳代 女性)
- ボランティアウェアの毎年支給をやめて欲しい。姫路マラソンのように持参にすれば経費削減になるし、スポンサー問題があるなら名札のようにスポンサー名も貼るタイプに変更すれば繰返し使うことでSDGSの大会アピールにもつながり神戸の知名度が上がる。駅のゴミ箱に捨てて帰る人も居て 良くない(50歳代 女性)

- ボランティア活動をするのが初めてでした。ランナーと直接関わることができて、とてもやり甲斐を感じました。一方で、何度もボランティア参加されている方や団体で参加されている方は、固まって活動したり、勝手に活動したりして、初めて参加したものにとってはとっつきにくく感じました。また、安全への考慮も必要だと感じました。兵庫県知事選と日が重なり、投票の入口とランナーのトイレ休憩の入口が重なり、衝突しそうになっている場面もありました。応援をしている観客の整理とランナーへの誘導、さらに一般の生活している方々への誘導など、考慮が必要だと感じました。次回参加したら、今年感じたことを生かしたいと思います。(50歳代 女性)
- お疲れさまでした。ありがとうございました。今回「3号館手荷物返却」担当でしたが、以前からそうなのですが、集合してから活動場所へ行く迄の待ち時間の長さの意味がわからない。もったいない。あの時間があればリーダーや運営からの活動内容の説明や自己紹介等もっと早くから活動意識を高めたり、相互のコミュニケーションが取れたりできるはず。ボランティア皆さんが朝早くから時間を作ってこの活動のために来ているのだから、そのせっかくの意欲や覇気を下げるようなことはして欲しくない。リズムや臨機応変さが必要だと思う。リーダーの底上げが絶対必要だと思う。「このリーダーいいな。ついていきたい」と思えるリーダーに会ったことがない。運営側ももっとリーダーにある程度任せるといった自主性を育てて欲しい。運営側からの指示待ち、自分からは動かない(運営からそう言われてるのか?)、メンバー間のコミュニケーションが取れるような空間作りをしない等、メンバーとは違うもう一つ上のリーダーを作って欲しい。3号館の順路がランナーから全然わからない。毎回誘導が全くできていない。何故出入口表示をしない?手荷物対応したランナーほぼ全員に出口を聞かれた。説明するのに表示がないので説明しにくかった。ランナーは余裕もある人もいるけど、ほぼ皆さんなるべく移動距離を最短にしたいはず。迷わず一目でわかる誘導をお願いしたい。(50歳代 女性)
- 新長田駅に行けないことを、警備員さんが丁寧に説明されてたのが、印象的でした。近くにオレンジとグリーンのジャンパーを着た人もいましたが、ずっと2人でしゃべってました。(50歳代 女性)
- ボランティアウェアは回収してリサイクルするなどした方が良いのではと思いました。毎回もったいないです。(50歳代 女性)
- ボランティア活動でジャンパー、帽子、手袋が毎年新しい物が配られると聞きました。何とか再利用できるといいなと思います。(50歳代 女性)
- 本人確認の際 QR コードのみスキャンしてる方が何人かいてなかなか名前まで画面に出せずパニックになってる方がいた。もう少し説明した方がいと思う。(50歳代 女性)
- 金曜日の活動時間について、設定は12:15から20時すぎまでだけど、半分ずつの活動時間に設定して、希望者は、とおしでという設定もいいのではないかと思います。連日活動したい人は、疲れがたまると金曜日は、金曜日は短時間でもいいのではないかと思います。(50歳代 女性)
- ボランティア同士協力し合って和やかに活動できて楽しかった。残念なのはリーダーの発言(問8-1)スタッフやリーダーなどへの啓もうが必要だと思います。東京マラソンボランティアを経験してもらおうとよいと思います。(50歳代 女性)
- 初めて受付をしました。画面をスキャンされ、QRで再度受付画面を用意していただくことが多くなりました。受付の机にも、QRコードをおいてたらランナーさんも並びなおさなくていいかと思いました。(50歳代 女性)
- ボランティアのウェアも回収して欲しい。何故なら普段着れない色だったので!(50歳代女性)
- 今回、沿道のコーンが足らなくて、テープを手持ちすることとなった。地域の方が前に乗り出さないようにご協力くださったのでよかったです。コーンが十分あればいいことなしたと思いました。(50歳代 女性)
- 区長の指示が全然だったので、その指導はちゃんとしてほしい(50歳代 女性)
- トイレならんでいただく方法を決めたほうが良い。うちは一列に並んでいただく方法で大きな混乱は回避。ただ、男女共有と女性専用がくっついており、男性が混んで来たら女子専用を男女共有にスイッチさせられるように対応すべきと思った。その辺の柔軟性は確保したい(50歳代 女性)
- 混んできた時の並ばせ方や、ボランティアの立ち位置をあらかじめ決めておくとよい。男女兼用と女性専用トイレは少し離れた方がわかりやすい。男性専用で扉が無いことに驚いた。せめて通る人から見えないように、大きな板等で遮るなど配慮が必要。この状態では担当したくない。青のウェアスタッフは質問にもすぐに対応してくれて、非常に安心感があつた。(50歳代 女性)
- 国際展示場3号館のランナー動線がよくない。入口に戻ってくるランナーが沢山いました。手荷物返却ボランティアが、出口(更衣室側)をきちんと案内すべき。(60歳代 男性)
- ボラしたい人が応募している訳ではないことが垣間見えた。(60歳代 男性)
- 出口へ向かうランナーと車椅子が交差するのは無理がないでしょうか。突然立ち止まるのは負担になるランナーが多いのではないですか。実際そういうランナーがいました。(60歳代 男性)
- 大会当日は別として準備や受付で、繁閑に応じて座れたほうが休憩時間が少なくなる。ウェアは毎年同じであれば、全員に配布しなくともいいかも知れません。新規、または希望者だけでいいかも知れません。(60歳代 男性)
- アスリートピブス引渡し場所にデジタル掲示板の設置(60歳代 男性)
- 須磨 B21 区ですが警備員の活動がボランティア側とかみ合わずマニュアル通りと違う行動で不満が残りました。具体的には緑コーンを警備員が勝手に動かして、両隣のブロックに合わせたコーン移動したときにはだれの指示で動かしたのか偉そうな態度で文句を言われました。マニュアルとは違うなら説明をしてもらいたいです。(60歳代 男性)
- マニュアルがイマイチ(60歳代 男性)
- できれば、簡単な食事を出して欲しい。(60歳代 男性)
- リーダーはやりたい人だったら誰でもいいわけではなく、それなりの資質を持っている人に限定してほしい。(60歳代

男性)

- 希望するボランティア活動が出来る体制が出来る体制をお願いしたい。(60歳代 男性)
- 沿道のコーン配置の中で警備会社が行う業務とボランティアが行う内容と手順をわかり易く明記してほしい。最終ランナーが通過後の撤収開始のタイミングをわかり易く明記してほしい。(60歳代 男性)
- 他の場所も経験したいと思います。もう少し活動時間を短くしてもらえればいいんですが(60歳代 男性)
- ウェアを腰に巻いてのボランティアはだらしなくイメージ悪いと思いますがOKなのですか？(60歳代 女性)
- ウェアの名前シール、ニックネームでOKとのことでしたが、年配・ベテランのボランティアさんに「がんちゃん」といった愛称で呼び掛けるのは気がひけて、お名前を呼ぶことができませんでした。何のために名前シールをつけるのか、再考をお願いしたいです。(60歳代 女性)
- リレーランに携わった。リレーランのゴール目前と出発してすぐのところのコースはとても危なかった。道を横切る一般市民がたくさんいて、特に高齢者は渡るのが時間がかかるため走者とぶつからないか心配になった。走者の切れ目で横断者を促したが、来年は再考願う。また、リレーランのコースにフルの走者がまじっていた？かも知れない様子があった。同時にリレーランの走者が本当にこのコースで合っているのか不安そうにしている、実際に走っている走者に確認された。何かしらのコース看板が必要だと思う。コーンだけでは不安だと推察します。(60歳代 女性)
- 沿道の整理の他に、ランナー受け付けの本人確認を担当しました。机の並びとランナーの列が一直線で、手を挙げても空いた所が見えにくく、スムーズに流れない場面が多くありました。真っ直ぐ平行に配置するのではなく、斜めに並行すれば見やすいのではないかと思います。複数回参加の場合、支給されたジャンパー等のデザイン変更がない場合は支給が必要か否かの登録をすることで経費の節減になり、またボランティアのほうも複数枚を所持しなくて済むので助かります。何枚も持ってますという方が周りにたくさんいらっしゃいます。(60歳代 女性)
- 【Tシャツ引換】①Tシャツを事前に購入したか忘れてる方が多かったので、ビブスの受付やソックスの所での、お声かけの必要性を強く感じた【ビブス受付】①例年、1割ほどの方が受付に来られないと言うことを、事前にアナウンスして欲しかった(ビブスがたくさん残っていたので、まだまだ来られると思って待っていた)②終盤、荷物袋が足りなくて、大勢のスタッフが走り回り、受付に来られたランナーの方々を何人も待たせたりしたのに、責任者の方は上の階から降りて来られず、何の説明や慰勞の言葉も聞けなかったのが今回一番の残念です【コース沿道】①終盤、足がつる人が多く、転倒される方とかも居たのですが、その場で簡単に対応できる最低限の物を用意しておきたかったし、そういう事態が起こる可能性が高いにもかかわらず、どう対処すればいいか何も説明がなかった(救護所まで遠い場合や、そこに行くまでもない程の場合、その場で出来ることを教えて欲しい(60歳代 女性)
- ゼッケン渡しの際の、荷物預けのチラシ封入袋が足りないずさんさ。ありえません。その事に対して、ランナーさんを待たせたこと、断りもない事、ゼッケン渡しのボランティアさんはみなさん協力的だった反面、海外対応のビブスを着ていたボランティア、最低です。(60歳代 女性)
- 毎回ジャンパーを頂きますが 洗濯してそのまま残しています それを再利用できればと思います(60歳代 女性)
- 黄色のジャケット、デザインは変わらないので、持っている人は不要では？スポンサー名が必要なら、その部分だけステッカーを貼り替えればいいのか？キャップも同様。手袋は配ってもいいかも(60歳代 女性)
- ボランティアの絶対人数にもよるかと思いますが、もう少し休憩時間が欲しいなあ、と。私も企業ブースや食事の催し物などにゆっくり参加したかったです(60歳代 女性)
- 何度もボランティアをすると黄色のジャケットがたまってきます。他に使い道もなく、もったいなあと感じています。ボランティアの申し込みをするときに、ジャケットの 必要の有無を記載して、持っている人はそれを使うとようにしたらどうでしょう。経費節減、エコにもつながると思います。(60歳代 女性)
- 当日のトイレ誘導だった。簡易トイレは12個あったが、スタートぎりぎりまで選手が列をなして、せめて20個あれば待ち時間が少なくなったのではないかと？前日の参加賞渡しの午前部の部に参加したが、午後部のボランティアリーダーがとても失礼な人だった。私たちのグループはスムーズに活動していたが、大変細かな点を私たちの目の前で自分のグループに指摘し「このグループはダメ！」と大きな声で(その場にいる選手にも聞こえるぐらい)言われ、皆大変不快な思いをした。その方は必ず名前とサイズを確認してビブスとソックスをセットして渡すというマニュアル通りの説明をされていた。しかし、当日押し寄せる選手に対し重要点はサイズ間違いがない点(名前はビブス渡しの段階で確認しているはず)であり、臨機応変な対応で大変スムーズに活動出来ていたにもかかわらず、そのような言葉をかけられた。マニュアル通りにそのグループがすることはご自由にしてもらいたいと思うが、それを嫌みな言葉で他のボランティアの気持ちをそぐような行為はいかがかと思う。私が参加した金曜日ビブス渡し窓口10番と土曜日午前部の部ソックス渡しM/L、当日のランナーサポート5班のボランティアリーダーはどの方もしっかりとされたリーダーでした。また、当日マラソンに参加された方から聞いたことですが、当日はマラソンにしては気温が高かったようで足がつる人がけっこうおられたそう、給水ポイントでのアクエリアス等塩分補給数が少なかったと感じたそうです。(60歳代 女性)
- たまに交代で水分を取る程度だったので、15~20分くらいでもいいので交代で休憩が欲しかった。(60歳代 女性)
- 今回は 快晴でしたが 大雨等の対応や対策を考えます。少し不安もあります。(70歳代以上 男性)
- 前日に行う「ランナー受付当日」に飲物の配布を希望します。(70歳代以上 男性)
- ランナー受付で参加証配布を担当いたしましたでしたが、マニュアルに記載してある人員配置と当日の人員配置及び、担当が分かりづらく休憩表を作成したが役に立たず、今後の活動にはもっと分かり易くして頂きたい。当日はランナーサポートを担当いたしました。欠席者が多く(10名中4名欠席)列の整理に苦労いたしました。ランナーからクレームが来なかったのが不思議というぐらいの状況でした。(70歳代以上 男性)

- 立ちっぱなしで休憩する場所がなかった (70 歳代以上 男性)
- ボランティアのトイレも、1 個でも良いので、お願いしたいです。宜しく???? (70 歳代以上 男性)
- 今回参加賞は、くつしたでしたがサイズ S・M・L と分けていましたがフリーサイズにすべきでした。(70 歳代以上 男性)
- 帰りの電車があんなに混むのは予想できなかった。説明会で教えてほしかったです。それと、マクドのクーポンが大阪で使えないとは知らなかったです。これも教えてほしかったです。(70 歳代以上 男性)
- スタッフジャンパー、使い回しにしましょう (70 歳代以上 男性)
- 大勢のマラソン選手は思った以上 (70 歳代以上 男性)
- 折返し点のトイレが少なく、時間をロスされたランナーがおられました。(70 歳代以上女性)
- スタートブロックの 6 時半～の活動、各部所のプラカード、リーダーの方は一列に並んで下さると分かりやすいです。パラパラに立っていたので探しました。(70 歳代以上 女性)
- 新長田 JR 高架当たりの担当になりましたが、理解しにくい言葉の指示メモを通行人に示すよとの任務でした。地下鉄を含む通路使用についてのメモでしたが、現場を理解出来てないと思われる印刷物でした。責任者の方にその旨を伝えました。(70 歳代以上 女性)

・リーダー関係

- 区長が集合時間におらずリーダーが困っていた。それに伴ってリーダーの指示が曖昧だった。救護者が隣の区で発生したが、隣の区のボランティアメンバーが遠くで固まっている、かつ応援に夢中になり気づいていなかった。そのため担当エリアではないが救護フォローに応じた。医師・看護師・救急の方が複数来てくださったが安全面に不安あり。(30 歳代 女性)
- 問 5 は当日のボランティアをしていません (14 日のみ) が選択しないとアンケートが完了しなかったので選びました。ボランティアリーダーによって活動内容の把握や指示に差がある。(50 歳代 女性)
- 【意見】 ①リーダーが業務内容を正確にわかっていなかった。誤った情報を度々伝えられメンバーが混乱した。ちゃんと指示してほしい。②マニュアルがないのでメンバーは仕事のイメージがしにくい。ましてやその仕事が初めての人だと勝手もわからずただ不安でしかないようだった。③トイレのドアの表に番号を貼り、ボランティアやランナーにとって視認性を良くする。ボランティアが「右から (左から) ○番目が空きました！」と長いフレーズを言わなければならなかった。「○番、どうぞ！」これで済む。ランナーも分かりやすい。④2 年にも言いましたが、トイレの列は 1 列に作る方がよい。ブルーのジャンパーを来たスタッフに「トイレのドアの前に並んでもらうように」途中で言われたが、私は断った。当日並んでいるランナーにも聞いたら「絶対一列。トイレごとに並んだら大混乱するよ」と言われた。スタッフいわく「1 列の列が流すぎる」と言う事であったが、次回より列が長くなっても大丈夫のように再発防止策を考えて欲しい ⑤このアンケートの間 10 のスペースが小さくて書きにくいので大きくしてほしい。【提案】当日のボランティアの様子をスタッフ (または専門業者) が動画で撮影しておく【期待できる効果】 ①ボランティア内容の現状や課題が見える ②アンケートに書いたメンバーの意見、要望が事務局に伝わりやすい【理想】 動画を用いたマニュアルを作成 ①ボランティアリーダーの教育に使用 →リーダーもメンバーに仕事の説明がしやすい ②メンバーの事前教育に使用 →事前に動画配信しておく事で当日効率的に動ける (50 歳代 女性)
- リーダーの資質により、メンバーの今後の活動が続けられるかが変わってくるので、リーダーの育成に力を入れていただきたいです。最後はみんなが笑顔で挨拶でき、またどこかで一緒に活動できたらと話せたら大成功だと思います。ぜひ、参加されるボランティア全員がそのようになることを望んでいます。(50 歳代 女性)
- ボランティアリーダーさんのばらつきがないようにしてもらえるとありがたいです。沿道スタッフは希望しますが、自宅住所をできれば考慮いただきたいと思います (毎年、かなり遠い位置に配置されます)。(50 歳代 女性)
- 正直に言うとリーダーは名ばかりでした。リーダーとなる方は、経験数、その場所を過去に担当したことがある方が行方いいと思います。トラックからの荷下ろしも端から行えばスムーズでしたが、経験者がいなかったため、無駄な作業が増えました。また、荷物返却の中に、荷物が少なくなると座っていました。それ自体は長時間であり悪いこととは思いませんが、自分のブロックのランナーが帰ってきても座ったままなのは、あまり気持ちのいいものではありませんでした。(50 歳代 女性)
- 休憩の取り方や順番について、当日リーダーさんから説明が詳しくあると思ったが、各自取ってください的な言い方で具体的にどうすればいいか分からなかった。結局 6 時間休憩なしでぶっ通しだった。(50 歳代 女性)
- 休憩時間、場所の確保を来年は考えていただきたい。ボランティアリーダーは気配りやサポートしながらとても良く頑張っていて感謝している (50 歳代 女性)
- 須磨の沿道を担当しました。リーダーさんの指示は的確で気持ちよく活動させていただきました。1 点。エネオスでトイレを借りれるかどうか、開始前の説明では「わからない」とのこと。実際に行ってみたら「スタッフとボランティアの方は OK」と言って貸していただけました。できれば事前にリーダーさんがお店の人と話を私たちに知らせておいてもらえたら、より安心でした。(60 歳代 女性)
- フィニッシュの後半場所、リーダー不在。カメラ撮影多数、怪我人対応、チップ対応、英会話? 等休憩ほとんど行けず困惑?? (60 歳代 女性)
- 給食班で初めて参加させて頂きました。リーダーがベテランの方で気配りを良くして頂き安心して活動出来ました。気になったのは青カラーのスタッフの方の指示が二転三転する場面が多くありボランティア達が困惑することがありました。リーダーもスタッフの方の指示を待っているのにはっきりしないことや、青スタッフ同士の目立つ私語など違和感もありました。給食を配るところで、チップを各自外すようアナウンスをされるのでランナーは給食受

け取りとチップ外しを同時にしないと行けなくなり、気の毒でした。その為混雑も起こりました。いつもはランナー側ですが改めてボランティア活動の大切さを知ることが出来ました。フィニッシュされたランナーの姿に感動です。いい経験が出来ました。ありがとうございました。(60歳代 女性)

- リーダーからの適切な指示を仰ぎたい (70歳代以上 男性)
- ボランティアリーダーさんが探しても見つからなくて、友達が休憩をとれずにしんどそうにしていたので、わかりやすいところに居ていただきたいです。(10歳代 女性)
- ボランティアリーダーの方が事前の勉強ともう少し当日の的確な指示があればと思いました (70歳代以上 男性)
- ボランティアリーダーの指示がはっきりしないところがあったので的確な指示が欲しかった。(70歳代以上 男性)
- ボランティアリーダーさんのレベルアップをお願いしたいです。(70歳代以上 女性)
- スタッフとの連携が旨いかず結果的にメンバーが直接スタッフに問い合わせを行い、リーダーとしての孫崎間がなくなってしまった。(70歳代以上 男性) ボランティアリーダーさんが少し適当でしたが、集合時点で、テープやコーンをある程度ご準備してくださって助かりました。(40歳代 女性)
- 皆さん色々な動機で参加されていて面白かったし、勉強になりました。しかし、リーダーとなっている方が非常に頼りなくて、明確な指示のもと働きたかったです。あとエキスポをゆっくり堪能したかった。水1本ぐらい出してもらってもばちは当たらないような気がしました。(40歳代 女性)
- 先にも書かせて頂きましたが、もう少しそこに立つ意味が分かっている方をリーダーにした方が良いと思います。出欠も言われないと取らない、配置場所も好きに行ってください、あとは適当に応援してください。あと、話しかけて来られても、昔は交通費が出た食費も出たことがあるとか、全く必要の無い情報ばかりで挙げ句の果てには、一斉に休憩行ってくださいって言って回られ出たのですが、このエリア誰もいなくなっているのか？って意味が分かりませんでした。私は残りますとお伝えしてランナーさんからのゴミを受け取ったり、28キロ地点なのでキツくなって歩いているランナーさんに声がけしたりしていました。文句ばかりでほんとうにすいません。地域の迷惑やトラブルにならないように、いろいろ確認しながらその場所に立たせてもらっているのは最低限で、ほんとうにやらなくてはならないのは参加されているランナーさん達に一生忘れられない思い出を持って帰ってもらう事だと思います。あまり厳しいとボランティアが集まらないのは分かりますが、神戸マラソンのボランティアはめちゃくちゃ楽しい！ってイメージづくりをされてはどうでしょうか。他と比べてはダメだとは思いますが、東京マラソンのボランティアに参加されていた方達は皆さん楽しそうでした。えらそうに書いて申し訳ありませんが、楽しく雰囲気づくりができるリーダーが必要なのではないでしょうか。何回も参加されてリーダーをやられていても何のためにそこに立っているのか、立っているだけでなくどうすればボランティアグループとしても楽しく盛り上げられるのかを考えられる方をリーダーにされた方が良いかなと思います。ボランティアの方達が楽しく活動されてたり、楽しく盛り上げてくれる姿見たら、めちゃくちゃしんどい時でも笑顔になれたり、一歩前に進む事が出来ます。勝手な事ばかり書いて申し訳ありません。引き続き神戸マラソンをよろしくお願い致します。(50歳代 男性)
- 誰でも彼でもリーダーにするのは疑問を感じる。(自覚・レベルが低すぎる。) グループと個人を混合にする場合は特にリーダーの資質を考慮すべき。(50歳代 男性)
- ボランティア参加させて頂きありがとうございました。本日、ゴール後のエリア誘導を担当しましたが、気がついたら解散してるという感じでした。リーダーさんが声かけたり、集合の号令をするものではないでしょうか？リーダーさんの役割・責務をしっかりとお願いしたいです。また、マニュアルによく聞かれる質問を載せておくのも良いと思います。(40歳代 男性)

団体ボランティア (高校)

- 楽しかった (10歳代 男性)
- スタッフの方もとても優しく活動しやすかった。(10歳代 女性)
- ボランティア参加者が次回もボランティアとして参加したいと思えるようなイベントにしてもらえるようにお願いします。(40歳代 男性)
- トイレ担当だったが、屋外トイレが一時的に混雑する場面があった。その時、「屋外トイレ混雑中、屋内へ」というラミネートした紙があるとランナーも声出しするボランティアもありがたいと感じた。空いている場合、屋外トイレは5つしかなく、案内をしても一気に混雑する場面があるので、その必要はない。また、屋外トイレが使用中かどうかわかりづらいので、「使用後は扉を開けたままでお願いします」の用紙が必要だと思う。(40歳代 女性)
- 一緒に作業して下さった日通の方が楽しい声を掛けてくださり、生徒も私も楽しかったです。明るさとコミュニケーションを学ばせて頂きました。(50歳代 女性)
- 正規スタッフ(?)の態度が悪く、不愉快でした。毎回思いますが、ランナーのモラルも低い人が少なからずいて、対応する高校生がかわいそうです。(50歳代 女性)

団体ボランティア (大学)

- 今回のボランティアの場所が神戸大橋であったため、水分が無くなった時に自分たちの分を買いに行こうにも行くことができなかったのでボランティア用にもう少し飲み物があってもいいと思いました。(20歳代 男性)
- 休憩とトイレは、事前に無理なくとれるようにしてほしい。今回、4時間後の昼食になり、体力消耗した。リーダーの方は、取れてなかったのも、お気の毒でした (70歳代以上 女性)

団体ボランティア (一般)

- ・感謝、満足、今後への期待

- 盛会の一助になれて幸せです (30 歳代 男性)
- ランナーから感謝され、とても嬉しかった。(30 歳代 男性)
- すごく楽しくて、気持ちが良かった。(40 歳代 男性)
- 神戸のイベントに携わっている感じがいいです (50 歳代 女性)
- たくさんの仲間と楽しい時間を共有出来たことは何よりの財産になった。(60 歳代 女性)
- 区長、警備員のお人柄の良さが良かった。(70 歳代以上 男性)
- 多くの人達で成し遂げられるプロジェクトの、一員になれた嬉しさ。(70 歳代以上 男性)
- トラブルなく終了出来て良かった (70 歳代以上 男性)
- 仲間と協力して活動出来た事 (70 歳代以上 男性)
- 神戸を盛り上げるイベントを沢山やって欲しい出来るだけ関わって行けたらな?と思う。(70 歳代以上 男性)
- 仮設トイレが苦手な女性ボランティアが施設内のトイレを使用したときに注意された。マニュアル内の地図に使用できるトイレを明記してもらいたい。(70 歳代以上 男性)
- 微力ながらお手伝いさせて頂きました、お疲れ様でした。(70 歳代以上 男性)
-

・運営、業務内容に関する感想や意見

- 気温が高かった影響か足をつるランナーが多かったように感じる。(30 歳代 男性)
- ボランティアの数が多。(40 歳代 男性)
- ゼッケンGもピンクにして欲しい。手荷物を預ける人を誘導する際に、アルファベット以外に色でも判別したい。多くのランナーはゼッケンのアルファベットを見えるようにしてくれない。誘導したくない指揮の方は知らないと思いますが、現場がスムーズになるようお願いしたい。(40 歳代 男性)
- たったの 200 メートル程度のコース整理でしたが、大変な人員が必要だと感じた。ボランティアの意義を多くの人に知ってもらいたい。(40 歳代 男性)
- 今回は 70 名弱で参加させていただきました。参加者から出た意見をまとめてご報告いたします。基本的には参加して良かったという前向きな感想ばかりでしたが、ここではあえて事務局様にぜひ共有しておくべき bad ニュースのみ報告いたします。①ルール・要領を守らないで独自にセッティングした団体がいて、他の団体に負担がかかった。②給水所の場所について、歩道と車道が隣接しているところにしてほしい (花壇等があって導線が複雑になった)。③隣の給水島との距離をもう少し広めにとってほしい (ランナーの渋滞を和らげるため)。④坂道上での給水島設置は難しい。(坂道は避けてほしい) ⑤黄色の手袋が小さい。⑥ビニール手袋が少ない。⑦滑り止め付の手袋にしてほしい。⑧自身のペットボトルに水を入れてほしいというランナーがいた。(入れていいのか迷ったが、とりあえず入れた) ⑨受け取った段階で壊れている備品 (ポール) があった。⑩コップを二段重ねにする時に使うダンボールは水に強いものが良い。(40 歳代 男性)
- 給食ボランティアをしましたが、気温が急激にあがった事もあり、チョコが溶けてしまった。バナナのナイフが切りにくく、早くに切れれば黒くなるし、待ちすぎると補給が間に合わないし、一本じゃ多すぎるとランナーに言われるし、難しいなと思いました。ハサミの方が半分にしやすいかな、検討してください。(40 歳代 女性)
- 参加すると、頑張るランナーを間近に見ればこちらも元気をもらえます。団体としては交通費程度でも支給があればボランティアも募りやすいです。(40 歳代 女性)
- ランナー受付に盛り上がりが無かったと感じた。(50 歳代 男性)
- 配布されたウィンドブレーカーが暑かった (50 歳代 男性)
- 長田御蔵小3のトイレの担当でしたがコースからグランドに入るところと出るところの人数を増やした方がよい(何度か通行人とぶつかりそうになった)。トイレに番号が張ってあったら案内がしやすい「○番空いています」という感じですよ (50 歳代 男性)
- 荷物返却の集合場所で、荷物を降ろしたトラックが出る時、ボランティアが退かないと出られなかったので集合場所がトラックと被らない方がよいと思いました。(50 歳代 男性)
- ボランティアは、各自が高い意識をもって活動しており、良かったと思う。一方で、警備会社のアルバイト員(単発 1 万円/日)が何もわかっておらず役に立っていない。警備会社へのお金のばらまきとも思える。(50 歳代 男性)
- 5 の内容は、拾得物と遺失物と行き先案内が主でした?? 大きな地図を掲示しておく?? 遺失物に関してはどこまでフォローアップするかを明確にした方がよいと思いました。(50 歳代 女性)
- スタート後のフラワーロードの清掃の担当などはっきり決めておいた方がよいと思いました (50 歳代 女性)
- 神戸新聞社の方が親切に対応くださり気持ちよく働く事が出来ました。ありがとうございます。(50 歳代 女性)
- スタート地点近くのトイレの数が少なく、ランナーの長蛇の列が出来ていた。もう少し増やせないものかと思った。(昨年より数が少なかったように感じました) (50 歳代 女性)
- こんなやり方では、ボランティアは集まらない。(60 歳代 男性)
- 担当区域によって、状況判断が違ふと思われそうですが、今回は沿道の応援者、通行人がすくない区域であったことや、同僚のランナーへの対応ができていたので助かりました。(60 歳代 男性)
- 応援ランナー対応でしたが、更衣室と休憩室となっており、更衣が終わっても休憩室にもなっているため混雑。トイレの数が少ない。更衣室の時計が止まったため時間の混乱を排除するため外して対応。(60 歳代 男性)
- スタッフジャンパーが毎年支給されるが、それまでのものを持っていけば、それでいいのではないか。また帽子はいらない。もったいない。SDGs の観点からもそぐわない。費用を節約した方がよい。(60 歳代 男性)
- アンケートの項目の多さにうんざりです。(60 歳代 男性)

- 喫煙を認めるなら喫煙所を設置すべき。(60 歳代 男性)
- ランナーに対して声援 応援の範囲の例があれば良いのでは？ また沿道でランナーがコースを外れた時 外れそうな時の具体的なジェスチャー方法が不明瞭である (60 歳代 男性)
- 今回、名札が届いていなかったの、多く持っていた他の団に分けて頂いた。(60 歳代 男性)
- 外国からの参加者が増えているので、各部署意外にも通訳出来る人を増やして欲しい (60 歳代 男性)
- 配布グッズの企業名が後で消えるようにしてほしい (60 歳代 男性)
- ランナーからの一般的な質問に対する Q&A (60 歳代 男性)
- 大阪や岡山などに比べて ボランティアウェアが安っぽいと毎回感じます。無報酬なので、そこは近隣の大規模大会と同等にしてもらえれば。ランナーの参加賞も安っぽく感じます。(60 歳代 男性)
- 国道が狭いのでランナーの安全に気がつけた。(60 歳代 男性)
- 往復路応援は体力的に大変なので、午前と午後に分けるほうがベストだと思います。(60 歳代 女性)
- 自転車で道路を横断したい人が多くて、自転車を歩道橋を担いで移動することが多々あった。大変な業務なので、なんとかして欲しい。(60 歳代 女性)
- どんどん募集してください。(60 歳代 女性)
- 須磨ブロック 11 区の担当、最初トイレが 500m 先の市民しかない、と言われた。それでは困るので駅のトイレを使えないか交渉してもらい、使用できた。舞子駅は、はじめから使用可能だったので、最寄り駅は、はじめから使用可能にしてほしい。(60 歳代 女性)
- 初めの手順は上手く行きましたが終わりの手順が少し遅くなったのがちょっと (60 歳代 女性)
- 仲間と楽しく活動でき、自分なりに神戸マラソンを盛り上げることができたと思っています (60 歳代 女性)
- 活動終了後の撤収作業について：毎回ですが、各台車、ゴミ等の回収場所の案内がわかりにくいので、行ったり来たりしているチームをよく見かける。(60 歳代 女性)
- ランナーの皆さんが礼儀正しく、きちんとゴミを渡してくださることに驚いた。(60 歳代 女性)
- 交通費程度は出して欲しいですね (60 歳代 女性)
- グループの平均年齢が高齢であったため、当初の計画より当日の参加人数が随分と少なくなり、スタッフの皆様にはご迷惑をおかけしました。ただ、事前の連絡をしていたにも関わらず、当日の出欠表にメンバーとして記載されており、その為に少ない人数での活動となり大変でした。情報の共有をしっかりして頂きたいと思います。(60 歳代 女性)
- 現場でのやること説明があまりなかったので現場での説明の充実 (60 歳代 回答しない)
- ボランティアの名前を書くシールが直ぐに剥がれた。(70 歳代以上 男性)
- 区域の境目の担当をもう少しはっきりとしてほしい。(70 歳代以上 男性)
- スタート場所の案内板に目印の建物や手荷物トラックの場所を表示する必要がある場所を表示 (70 歳代以上 男性)
- 活動中にトイレの確保が出来ないことが不安。(70 歳代以上 女性)

オフィシャルスポンサー

- 第 3 給水所水①でボランティアリーダーを務めておりましたが昨年以上にボランティア活動に対する指示系統がなく各リーダー判断となる場面が多く、判断に困る場面が多数ある中での活動は正直残念に思った。来年度は当社内で検討してボランティア参加可否を判断したいと思う。(30 歳代 男性)
- 気候はどうしようもないが暑かった。(40 歳代 男性)
- 活動前のスタッフ集合(給水主任、リーダー)の、時間や場所が明確ではないので、場所と時間は事前に周知して欲しい。／ほかボランティアグループの人から運営方法が芳しくない旨、指摘があった。但し、各チームごとで物品数や人数など各種状況も異なっているので、あまり口出しをしないで欲しい。当然、違反をしているようであれば真摯に受け止めます。／「神戸は応援が良い」「ありがとう！」と声を掛けてくれる人が多く、いつもながら温かい大会だと感じました。出場とボランティアのどちらかで毎年関わっていますが、このまま続けて欲しい。／ランナーの立場としては、新コース楽しみにしています。(40 歳代 男性)
- 楽しくボランティアすることができました (40 歳代 女性)
- スタッフの対応もバラバラで、命令口調の方もいた。説明されていないことを、あたかもこちらができていないかのように言われて、腹を立てるメンバーもいた。フィニッシュタオルの担当だったが、机のセッティングが随分内側になっていて、例年よりもランナーの通り道が狭くなっていたし、すべての机がつなげて設置されていたため、とても活動しにくかった。私が現場にいれば修正できたが、命令口調のスタッフに他の持ち場の荷物を運ぶように指示され、その対応をしている間にセッティングされており、同じ持ち場の反対側との箱数合わせもできないまま活動がスタートし、途中でランナーを横切ってタオルの受け渡しをしないといけなくなった。自分の持ち場が完了してから他の持ち場を手伝うならいくらでも手伝うが、自分の持ち場をスタッフの対応によって活動しにくくされたことには少々、憤りを感じる。またカメラマンさんがタオルと給水の間写真を撮られていて、列ができていた。ただでさえ通路が狭くなっているのに人が詰まって、ランナーが詰まっていた。こちらからお声がけをして、流していたが、これこそスタッフや給水担当の方が声をかけてランナーを進ませるべきだったのではないのでしょうか？そして机のセッティングが内側過ぎたことにより、座り込むランナーが私たちの活動エリア内(机の内側)で座り込んでしまう光景を何度も目にした。危険だし、活動もしにくく、メンバーも困った様子だった。机の撤収もずいぶん早くからさせられたことも、ランナーが内側に入り込む原因である。スタッフの指示のせいで活動がしにくくなる場面が今年は本当に多かった。(40 歳代 女性)

- 給水所の案内に関する看板はわかりやすいものを用意すべきかと。奥にも給水所あるよと声掛けするとありがたいと返ってくる。スムーズにノンストレスで走れるような環境にする工夫はまだまだできる。(50歳代 男性)
- スタッフ??ボランティア間の連携が上手くいかない場面がありました(スタッフ間で情報が統制できていない、何かあっても理由までは教えてくれない)(50歳代 男性)
- 個人の服や荷物を地面に置くことになるので、必要に応じてシートの持参を促すのもいいかもしれません(50歳代 女性)
- フィニッシャータオルを私担当だったのですが、タオルを持っての写真撮影(プロ)の列が酷い時は両側ふさいでしまってランナーが前に流れなくなった。写真撮影の場所を変更するかこっち側が写真希望者とかわかるようにする等なんらかの工夫が必要かと思った。(50歳代 女性)
- ゴールでタオルを配っていたが、タオルを配った少し先の道の真ん中で、プロのカメラマンさんが販売用の写真を一人ずつ撮り始め、先に進んだ人が戻ってきて道に並んでしまったため、混雑して大変でした。個人個人が写真を撮るのは構いませんが、道の真ん中で、並ばせて売る用の写真を撮るのはとても邪魔だと思いました。(50歳代 女性)
- マナーの良い大会だと思います(50歳代 女性)
- 拘束時間の短縮(60歳代 男性)

以上

【参考資料】

『神戸マラソン 2024』語学対応ボランティアに関する調査結果

概要

1. 目的

神戸マラソンに外国人参加者が年々増加しているため、語学対応ボランティアの充実が必要だと考えられる。本調査では、「神戸マラソン 2024」に参加した語学対応ボランティアに対し、参加動機、活動状況、満足度、再参加意図などを中心に分析を行い、今後のスポーツイベントにおける語学対応ボランティアのマネジメントに有用な基礎資料となることを目的とする。

2. 内容

- 1) 属性：性別、国籍、年代、職業、居住地
- 2) 本大会におけるボランティア活動について：
応募形態、情報源、担当業務、担当言語、対応機会、参加動機、ボランティア参加後の全体的な満足度
- 3) 次回大会への参加意図とこれまでの活動状況：
来年の神戸マラソンボランティアへの参加意図、これまでの神戸マラソンボランティア活動の経験
- 4) 満足度の理由：自由記述
- 5) 来年の活動参加への理由：自由記述
- 6) 参加後の感想、意見、要望：自由記述

調査項目

要因群	項目	カテゴリー
属性	回答者の属性	1.性別 2.国籍 3.年代 4.職業 5.居住地
参加の情報	情報源	1.友人 2.職場 3.学校 4.職場・学校以外の団体 5.新聞・雑誌 6.テレビ・ラジオ 7.地域の広報誌 8.ポスター・ちらし 9.神戸マラソンホームページ 10.SNS 11.その他
応募形態と 担当業務	応募形態	1.個人ボランティア 2.団体ボランティア
	担当業務	1.コース沿道整理 2.手荷物預かり・返却 3.インフォメーション
	担当言語	1.英語 2.中国語 3.韓国語 4.その他
	対応機会	1.0回 2.1-5回 3.6-10回 4.11回以上
動機	参加動機 (6項目)	1.全く当てはまらない 2.あまり当てはまらない 3.まあ当てはまる 4.非常に当てはまる
満足	全体的な満足	1.全く満足していない 2.あまり満足していない 3.まあ満足している 4.非常に満足している
参加意図	来年の神戸マラソン	1.参加したい 2.参加したくない 3.わからない
これまでの参加状況	ボランティア参加	1.初めて 2.2~4回目 3.5~8回目 4.9回目以上
活動後の感想	満足度の理由	自由記述
	参加意図の理由	自由記述
	ボランティア活動後の 感想、意見、要望	自由記述

3. 対象

母集団：「神戸マラソン 2024」において活動した語学対応ボランティア

登録ボランティア数：101名（個人ボランティア 31名、団体ボランティア 70名）

4. 回収方法

活動前に二次元コードを記載した用紙を郵送し、活動後に web での回答を依頼した。最終的に 2025 年 1 月 14 日（火）までの期間に収集したデータを分析した。

5. 回収結果

有効回答数：10名

個人ボランティア：1名

団体ボランティア：9名

6. 研究組織

1) 組織

兵庫体育・スポーツ科学学会 ひょうご地域スポーツ振興プロジェクト

2) 『神戸マラソンボランティア調査グループ』メンバー

常行泰子（神戸市外国語大学）、松村浩貴、土肥隆、伊藤克広（以上：兵庫県立大学）、
船越達也（京都光華女子大学）、山口志郎（流通科学大学）、谷めぐみ（摂南大学）、
與那覇秀勲（流通科学大学）、三浦敬太（関西大学）

3) 連絡先

〒651-2187 神戸市西区学園東町 9-1

神戸市外国語大学 常行泰子研究室

E-mail : tsuneyuki@inst.kobe-cufs.ac.jp

7. 調査協力

神戸マラソン実行委員会事務局

結果の要約

1. 性別は、有効回収数（10名）のうち、男性2名、女性7名、回答しない1名であった。国籍は、日本国籍を有する参加者9名、中国籍1名であった。年代は、10歳代2名、20歳代8名であった。職業は、「大学生」9名、「大学院生」1名であった。居住地は、神戸市在住8名、神戸市以外の兵庫県内1名、兵庫県外1名であった。
2. 応募形態は、「団体ボランティア」9名、「個人ボランティア」1名であった。
3. 情報源は、「学校」が8件と最も多く、「友人」3件、「神戸マラソンのホームページ」「ポスター・ちらし」各1件であった。
4. 担当業務は、「手荷物預かり・返却」9名、「インフォメーション」1名であった。
5. 担当言語は、「英語」9名、「中国語」1名であった。
6. 対応機会は、「1-5回」と「0回」がそれぞれ回答者の半数ずつ（5名）であり、活動頻度の低さが伺える。
7. 語学対応ボランティアに参加した動機は、「自分の能力を活かしたい」「日常では得られない経験ができる」が3.8点/4.0点と高い値を示した。「外国の方と交流したい（3.7点）」「現在や将来の仕事に役立つ（3.3点）」「社会的な視野が広がる（3.3点）」「日本や外国の文化に興味がある（2.9点）」と続いた。
8. 語学ボランティア全体を通しての満足度は、「あまり満足していない」が8名、「非常に満足している」と「まあ満足している」が各1名であった。
9. 来年の神戸マラソン語学対応ボランティアへの参加意図をもつ人は3名であり、参加したくない人は1名、わからないと回答したい人は6名であった。
10. 神戸マラソンボランティア活動の経験は、「初めて」が9名であり、「2~4回目」が1名であった。

「語学対応ボランティアの満足度に対する理由」(自由記述)

- あまり通訳の機会が得られなかった (20 歳代 男性)
- 早朝からのボランティアにもかかわらず、ほとんど立っただけで対応したのは、2、3名の日本人参加者。ボランティア自体への意義が薄く、参加の交通費も負担されず、マクドナルドのドリンク S のチケットはいただいたが、参加のメリットは無いに等しかった (20 歳代 女性)
- 海外ランナーの方と交流できなかったため (20 歳代 女性)
- 仕事が無かった (回答しない 10 歳代)
- このスポーツを愛して (女性 20 歳代)
- マラソンの雰囲気を楽しめたり、ボランティア同士で仲良くなったのは良かったけれど、やることや仕事がほとんどなく、英語を1度も使わなかったから。そもそも海外からの参加者がいなかったように思う (20 歳代 女性)
- 入り口に立っている語学ボランティアの方が全て対応されていて、荷物トラックの周りにはいる学生ボランティアの出番がほとんどなかったから。(20 歳代 女性)
- 実際に英語を話す機会が少なかった (20 歳代 女性)
- ボランティアの助けを必要としている外国の方が非常に少なく、活動の中で1度も英語を話す機会がなかった。(10 歳代 女性)

「来年のボランティア参加についての理由」(自由記述)

- 来年のボランティア運営の改善状況次第。(20 歳代 女性)
- 留学に行くから (20 歳代 女性)
- 予定が未定 (10 歳代 女性)
- このスポーツを愛して (20 歳代 女性)
- しっかり任される仕事があつて、語学対応をする機会が十分にあれば参加したい。(20 歳代 女性)
- 来年神戸に住んでいないから (20 歳代 女性)
- 来年の予定が未定のため (20 歳代 女性)

「語学対応ボランティア活動を終えての感想、意見、要望」(自由記述)

- 仕事がないならわざわざ準備の時間を割き早朝から交通費をかけ参加しなかった。人員を集めるならその適切な配置など、管理もきちんと運営側で行ってほしい。(20 歳代 女性)
- あまりにも多く、これは書くことができない、愛はすべて来年参加したいです (20 歳代 女性)

『神戸マラソン 2024』
ボランティアに関する調査報告書
(Research report on a study of volunteers at Kobe Marathon 2024)

2025年1月発行

編集 兵庫体育・スポーツ科学学会
ひょうご地域スポーツ振興プロジェクト
「神戸マラソン 2024 ボランティア調査グループ」

発行 神戸マラソン実行委員会事務局